

紀 要

第 14 号

＜平成17年度＞

茅野市八ヶ岳総合博物館



発刊によせて

今年度当館では、没後80年「島木赤彦遺墨リレー展」が企画され、初公開のものも含め多数の遺墨が展示されました。その締めくくりとして、アララギ派歌人、ヒムロ元編集発行人、第1回島木赤彦文学賞受賞者の北澤敏郎先生による『赤彦を語る』をご講演いただきました。お話は赤彦の若き青年教師の頃から、壮年期、静子との恋が赤彦の歌へ及ぼした意味、そして壮年後期などお話は盛りだくさんでした。

先生はご高齢でいらっしゃって、もう二度とお聞きできない話かもしれない貴重なご講演でした。そこで、当館ではテープを起し、ご講演記録としてまとめました。それがこの紀要に掲載され、今後の赤彦研究に大きく貢献することになるだろうと自負しております。

合わせて、展示した全ての作品について展示資料目録を掲載いたしました。

また、昨年は諏訪へ鉄道が通るようになって100年にあたる記念すべき年でした。「中央本線青柳駅・茅野駅開業100周年記念 茅野の鉄道」の特別展が行われたゆえんです。これの展示に使用した展示資料目録もここに掲載することができました。

その他、寄贈図書目録の公開、当館の平成17年度事業報告をいたすこととなりました。

これらの事業を行うことができたのは、大勢の市民の方々、そしてその方面に長けた方々の応援とご指導、並びにご協力をいただいたおかげでした。1年を終わるにあたり、ここに紀要を発行し、いささかの御礼の気持ちを表したいと思います。

平成18年3月15日

茅野市八ヶ岳総合博物館

茅野市八ヶ岳麓文芸館

館長 茅野 靖 夫

弔 悼

「紀要」のまとめを脱稿した直後の平成18年3月25日、当館専門委員として長年ご尽力をいただいた北澤敏郎先生は、93歳にてこつ然と急逝されました。辞世を詠んだ先生の歌（絶筆）を記し、つつしんでご冥福をお祈り申し上げます。

足立たず食も進まずああ遂に九十三の命迫れり

平成18年3月23日 北澤 敏 郎

目 次

- ・茅野市の鉄道 展示資料目録 ----- 大谷 勝己 (1)
- ・寄贈図書目録 1993年から1995年まで ----- 笠原 郁子 (12)

文芸部門

- ・赤彦遺墨リレー展 講演会記録 ----- 講師 北澤 敏郎 (九)
- ・赤彦遺墨リレー展 展示資料目録 ----- 吉田 一雄 (一)

年 報

- ・平成17年度事業報告 ----- (34)

平成17年度特別展
茅野・青柳駅開業100年記念 茅野の鉄道
展示資料目録

期間：前期 平成17年7月16日（土）～9月19日（月）

後期 平成17年10月1日（土）～12月4日（日）

明治38年（1905）11月25日に中央東線茅野・青柳駅が開業した。中央東線は、当時、生糸や寒天の輸送に一翼をにない、また、開業以来100年の間には、幻の佐久諏訪電気鉄道の敷設計画や北山から茅野まで鉄鉱石を運び、今はビーナスラインとなった通称鉄山鉄道など様々な鉄道があった。さらに、将来にむかつては、リニア中央エクスプレスの計画がある。

この特別展では、茅野・青柳駅が開業を記念して、鉄道からみた茅野市の近代化の歴史を主な構成でおった。

- 1 中央本線の開業
- 2 青柳駅・茅野駅今昔
- 3 再開発
- 4 中央線を走った列車
- 5 佐久諏訪鉄道
- 6 諏訪電気鉄道
- 7 鉄山鉄道
- 8 茅野市民館の建設
- 9 未来の鉄道 中央新幹線

期間中は、展示解説を4回、鉄道模型に触れたり、クラフトで鉄道模型を作る「鉄道模型で遊ぼう」という企画、撮影会「鉄道写真を撮ろう」講演会「茅野の今昔」「茅野の鉄道史跡を歩こう」「ロビー展示 市民のつとめた鉄道写真展（平成17年11月5日～12月4日）」とさまざまなイベントを開催した。

* 展示した資料は次のとおりである。



諏訪みやげ（当館蔵）



鉄道記念切符内ファイル(当館蔵)

コーナー	展示資料		年代	所蔵	前期	後期	コピー
エントランス	複製 東京名所之内 新橋ステーション蒸気車鉄道図 複製 新撰東京名所図会 芝区の部新橋停車場之図 町及村田畑山林一筆限地引絵図		1901 (明治34) 年	交通博物館提供 交通博物館提供 塚原林野利用 農業協同組合蔵 松本市立博物館蔵 松本市立博物館蔵 国立公文書館提供 個人蔵 茅野市農林課蔵 交通博物館提供 交通博物館提供 JR東日本提供 交通博物館提供	○	○	
	甲信鉄道 信尾濃鉄道目論見 公文類 第11編 甲信鉄道会社 航空写真 航空写真 写真 甲武鉄道免許状 写真 甲武鉄道線路略図 写真 中央線鉄道建設概要 写真 甲武鉄道 市ヶ谷付近における汽車と電車のすれ違い 写真 甲武線電車 水道橋付近 国有化後 写真 ハニフ1号	市川家文書 市川家文書 起業目論見書 茅野駅周辺 茅野駅周辺 松本市内に現存する車両	1888 (明治21) 年 1887 (明治20) 年 1948 (昭和23) 年 1985 (昭和60) 年 1888 (明治21) 年 1889 (明治22) 年 1921 (大正10) 年	交通博物館提供 交通博物館提供 個人蔵 茅野市農林課蔵 交通博物館提供 交通博物館提供 JR東日本提供 交通博物館提供 交通博物館提供 松本市立博物館蔵	○	○	
中央本線の開業	写真 開駅記念 複製拡大写真 開駅記念 地籍鉄道用地丈量図 鉄道用地潰地調書 中央東線鉄道関係公文書 4冊 茅野平出線路用地図 複製 停車場設置願 写真 松本駅蚕種郵便物積込風景 写真 判任官 写真 茅野駅の寒天輸送の風景 写真 開駅当時の職員 写真 開駅当時の職員 思い出のアルバム 茅野・富士見・原村 写真 茅野駅職員記念撮影 写真 茅野駅職員記念撮影 写真 茅野駅職員記念撮影	後部は駅舎と蒸気機関車 後部は駅舎と蒸気機関車 鉄道用地の買い上げ関係の書類 明治4年～8年に使用した 郷土出版社 発行	1905 (明治38) 年11月25日 1905 (明治38) 年11月25日 1906 (明治36) 年 1902～(明治35～37) 年 1904 1902 (明治35) 年 1894 (明治27) 年 1910 (明治43) 年7月 1905 (明治38) 年撮影 1905 (明治38) 年撮影 1981 (昭和56) 年発行 1946 (昭和21) 年1月1日撮影 1951 (昭和26) 年1月1日撮影 1955 (昭和30) 年撮影	個人蔵 個人提供 当館蔵 当館蔵 長野県立歴史館蔵 長野県立歴史館蔵 東西茅野林野利用 農業協同組合蔵 松本市立博物館提供 交通博物館提供 当館蔵 JR東日本提供 個人提供 当館蔵 個人提供 個人提供 個人提供	○	○	
	姥塚古墳 写真 現在の姥塚古墳の標石 写真 現在の犬射原社 茅野市史上巻 原始・古代 日本学術論業11 信濃諏訪地方古墳の地域的研究 姥塚古墳からの出土品	 茅野市 編集発行 藤森栄一著 伊東書店発行 4箱	 2005 (平成17) 年9月9日 撮影 2005 (平成17) 年撮影 1986 (昭和61) 年発行 1944 (昭和19) 年発行 2005 (平成17) 年9月9日 撮影 2005 (平成17) 年撮影 1986 (昭和61) 年発行 1944 (昭和19) 年発行	当館蔵 当館蔵 当館蔵 茅野市尖石縄文 考古館蔵 塚原林野利用 農業協同組合蔵	○	○	
中央線今昔	写真 電化開通の祝賀列車の発車式 写真 甲府―松本間電化完成の祝賀会風景 写真 複線工事 写真 御柱祭 写真 中央本線にデビューした特急あずさ号 写真 塩嶺ルート開通 写真 諏訪―茅野線路沈下防止工事 写真 JR東日本の新制服 写真 岡谷駅構内着氷状態 写真 架線が切れている 写真 カッター車	 雨の中、岡谷駅で 「あずさ3号」の出発式 (茅野駅) 着氷を落とす	1964 (昭和39年7月1日) 撮影 1965 (昭和40年7月1日) 撮影 1969 (昭和44) 年頃撮影 1974 (昭和49年5) 月4・5日 撮影 1966 (昭和41) 12月12日 撮影 1983 (昭和58) 年7月5日 撮影 1979 (昭和54) 年5月撮影 1985 (昭和63) 年撮影 1969 (昭和44) 年1月撮影 1969 (昭和44) 年1月撮影 1969 (昭和44) 年1月撮影	JR東日本提供 JR東日本提供 茅野市企画課提供 JR東日本提供 JR東日本提供 JR東日本提供 JR東日本提供 交通博物館提供 JR東日本提供 個人提供 個人提供	○	○	
	青柳駅・茅野駅今昔 写真 茅野駅前広場 写真 本町商店街 写真 茅野駅 写真 昭和30年代の茅野駅 写真 昭和30年代の茅野駅 写真 茅野駅 写真 蓼科観光協会案内所 写真 茅野駅 写真 複線 写真 茅野駅前 写真 多い通勤通学者 写真 特急「あずさ」 写真 茅野駅構内と「特急あずさ」	第1教育隊への入営の様子 茅野駅に年間停車	1928 (昭和3) 年頃撮影 1955 (昭和30) 年頃撮影 1935 (昭和10) 年撮影 1955 (昭和30) 年頃撮影 1955 (昭和30) 年頃撮影 1953 (昭和28) 年撮影 1953 (昭和28) 年撮影 1955 (昭和30) 年頃撮影 1969 (昭和44) 年頃撮影 1965 (昭和40) 年頃撮影 1965 (昭和40) 年頃撮影 1969 (昭和44) 年10月1日 撮影 1970 (昭和45) 年撮影	個人提供 当館蔵 当館蔵 茅野市企画課提供 JR東日本提供 当館蔵 当館蔵 茅野市企画課提供 茅野市企画課提供 茅野市企画課提供 茅野市企画課提供 茅野市企画課提供 茅野市企画課提供	○	○	

コーナー	展示資料		年代	所蔵	前期	後期	ロビー
	写真 茅野駅にみどりの窓口		1973 (昭和48)年4月11日撮影	JR東日本提供	○		
	写真 みどりの窓口内部		1973 (昭和48)年4月11日撮影	JR東日本提供	○		
	写真 多くの観光客が訪れる茅野駅		1975 (昭和50)年頃撮影	茅野市企画課提供	○		
	写真 茅野駅前商店街		1975 (昭和50)年頃撮影	茅野市企画課提供	○		
	写真 朝のラッシュ風景		1980 (昭和55)年頃撮影	茅野市企画課提供	○		
	写真 上諏訪―茅野 路線沈下防止工事		1979 (昭和54)年5月撮影	JR東日本提供	○		
	写真 青柳駅		1955 (昭和30)年頃撮影	茅野市企画課提供			
	写真 出征兵士を見送る	青柳駅頭にて村民に見送られて出発	1943 (昭和18)年11月撮影	個人提供	○		
	写真 青柳駅	鉄道荷物が個人の家まで届けられるようになった時の記念に作られた		個人提供	○		
	写真 原村の出征兵士を見送る行列	青柳駅で撮影	1940 (昭和15)年頃撮影	個人提供	○		
	写真 現在の青柳駅		2005 (平成17)年撮影	当館蔵	○		
跨線人道橋	写真 跨線人道橋新設記念	橋の利用により旭町が賑やかになる	1931 (昭和6)年4月26日撮影	個人提供	○		
	写真 茅野駅での記念撮影		1945 (昭和20)年頃撮影か	個人提供		○	
	写真 現在の跨線人道橋			当館蔵	○		
	写真 跨線人道橋をくぐる「あずさ」			個人提供	○		
	複製 土木学会建築工事画報	第3巻2号	1927 (昭和2)年撮影	土木学会 土木図書館所蔵		○	
	複製 土木学会建築工事画報	第3巻2号	1927 (昭和2)年撮影	土木学会 土木図書館所蔵		○	
上川鉄橋	写真 上川鉄橋	栗沢橋ではないかとの説もある	1904 (明治37)年11月撮影	個人提供	○		
	複製 絵葉書(諏訪名勝)	茅野鉄橋の景 上川を渡るB6	1931 (昭和6)年撮影	白土貞夫提供		○	
	写真 上川を渡るD51			個人提供		○	
	写真 上川を渡るD51			個人提供		○	
	写真 上川鉄橋架け替えの様子	6枚		個人提供		○	
時刻表など	路線図 鉄道路図(鉄道開通50年記念)三松屋	8点		松本市立博物館蔵	○		
	諏訪みやげ 複製			当館蔵	○	○	
	諏訪みやげ	中央東線時刻表が印刷されている	1908 (明治41)年	当館蔵	○	○	
	ダイヤグラム		1986 (昭和61)年11月1日	松本市立博物館蔵	○	○	
	時刻表	複製		個人蔵	○		
	時刻表	複製		個人蔵	○		
鉄道部品	ダッチング			個人蔵		○	
	客車に使用した温度計			個人蔵	○	○	
	客車に使用した温度計			個人蔵		○	
	鉄道用懐中時計			個人蔵		○	
	鉄道用懐中時計			個人蔵		○	
	鉄道用懐中時計			松本市立博物館蔵	○	○	
	バッテリーケース			松本市立博物館蔵	○	○	
	バッテリーケース			松本市立博物館蔵	○	○	
	ガスランプ			松本市立博物館蔵	○	○	
	ケース			松本市立博物館蔵	○	○	
	カンテラ			松本市立博物館蔵	○	○	
	帽子			個人蔵	○	○	
	カンテラ			個人蔵	○	○	
	小型合図灯			個人蔵	○	○	
	旧型合図燈			松本市立博物館蔵	○	○	
	タブレット			個人蔵	○	○	
	ハンドル			個人蔵	○	○	
	腕章	機関士		個人蔵	○	○	
	胸章	機関士		個人蔵	○	○	
	帽章	4個		個人蔵	○	○	
	鍵	2個ついている		個人蔵	○	○	
	時刻表	2枚		個人蔵	○	○	
	かばん			個人蔵	○	○	
	ハサミ			個人蔵	○	○	
	ハサミ			当館蔵	○	○	
	ちょうちん	裏に鉄道省の文字がある		個人蔵	○	○	
	写真 C56蒸気機関車	後ろは建設中の茅野市民会館		個人蔵		○	
	プレート	写真C56蒸気機関車のもの		個人蔵		○	
	国有鉄道線路図	取り壊された青柳駅の休憩所にあったもの		個人蔵		○	
	スコープ			個人蔵		○	
	ホイッスル	電気機関車部品		個人蔵	○	○	
	客車プレート			松本市立博物館蔵	○	○	
	車両用尾灯			松本市立博物館蔵	○	○	
	タイフォン	軌道車部品		個人蔵	○	○	

コーナー	展示資料	年代	所蔵	前期	後期	ロビー
	普通列車行先表示板	南小谷－新宿 (裏は 南小谷－松本)	松本市立博物館蔵	○		
	普通列車行先表示板	松本－新宿 (裏は 南小谷－新宿)	松本市立博物館蔵	○		
	普通列車行先表示板	糸魚川－新宿 (裏は 新宿－松本)	松本市立博物館蔵	○		
	普通列車行先表示板	新宿－白馬 (裏は 新宿－松本)	松本市立博物館蔵	○		
	普通列車行先表示板	茅野行(裏は 上諏訪行)	個人蔵		○	
	普通列車行先表示板	大月行(裏は 長野行)	個人蔵		○	
	普通列車行先表示板	富士見行(裏は 辰野行)	個人蔵		○	
	急行天竜行先表示板	茅野－長野 (裏は 上諏訪－長野)	個人蔵		○	
	急行アルプス行先表示板	新宿－松本 (裏は 新宿－信濃森上)	松本市立博物館蔵	○		
	急行アルプス行先表示板	新宿－松本(辰野経由) 裏は 新宿－信濃森上)	松本市立博物館蔵	○		
	サインボード	きそ	個人蔵	○		
	サインボード	しなの	個人蔵	○		
	サインボード	天竜(裏は のべやま)	個人蔵	○		
	サインボード	急行	個人蔵	○		
	サインボード	アルプス	個人蔵	○		
	サインボード	特急	個人蔵	○		
	サインボード	あずさ(裏は とき)	個人蔵	○		
	サインボード	Lあずさ	個人蔵		○	
	サインボード	たてしな(紙製)	個人蔵		○	
	サインボード	パノラマ エクスプレス アルプス	個人蔵		○	
	サインボード	あずさ銀嶺	個人蔵		○	
	特急名前板	急行アルプス	個人蔵	○	○	
レール	レール 各種	30kg、37kg、40kgN、50kgN レール	個人蔵	○		
	レール・大釘各種	保線作業で使う道具の一部	個人蔵		○	
	双頭レール ほかに3点	アプト式ラックレール含む	個人蔵		○	
	写真 ロングレール	茅野駅に初めておろされる	個人提供		○	
	写真 ロングレールの設置の様子		個人提供		○	
	写真 ブラッサ	保線作業車	個人提供		○	
	写真 ブラッサの運転室の様子		個人提供		○	
記念品	ヘッドマーク	茅野市民号	個人蔵	○		
	オルゴール	茅野駅開駅70周年記念	個人蔵	○	○	
	弁当の包み	岡谷駅開駅70周年記念	個人蔵	○	○	
	記念切符	岡谷駅開駅70周年記念	個人蔵	○	○	
	あずさオリジナルベルトウオッチ	新型[あずさ]登場記念	個人蔵	○	○	
	記念バッチ	スーパーあずさ	個人蔵	○	○	
	記念バッチ	E257試乗会	個人蔵	○	○	
	記念ネクタイピン	つばめのマーク	個人蔵	○	○	
	辰野駅開駅80周年記念品	レール2種	個人蔵	○	○	
	記念メダル	鉄道100年記念 3個	個人蔵		○	
	記念プレート	D51824保存協力会	個人蔵		○	
切符	いつもむつまじいふうう	茅野駅	1981 (昭和56)年11月22日	個人提供	○	
	いつもむつまじいふうう	青柳駅	1981 (昭和56)年11月22日	個人提供	○	
	普通入場券 料金10円	茅野駅	1964 (昭和39)年8月16日	個人提供	○	
	普通入場券 料金20円	茅野駅	1967 (昭和42)年2月20日	個人提供	○	
	普通入場券 料金30円	茅野駅	1970 (昭和45)年9月7日	個人提供	○	
	普通入場券 料金60円	茅野駅	1978 (昭和53)年6月25日	個人提供	○	
	普通入場券 料金100円	茅野駅	1980 (昭和55)年8月25日	個人提供	○	
	普通入場券 料金100円	茅野駅	1980 (昭和55)年11月22日	個人提供	○	
	普通入場券 料金110円	茅野駅	1981 (昭和56)年7月8日	個人提供	○	
	普通入場券 料金120円	茅野駅	1983 (昭和58)年6月29日	個人提供	○	
	普通入場券 料金120円	茅野駅	1985 (昭和60)年1月9日	個人提供	○	
	普通入場券 料金140円	茅野駅	1986 (昭和61)年11月19日	個人提供	○	
	普通入場券 料金140円	茅野駅	1989 (平成1)年2月3日	個人提供	○	
	普通入場券 料金140円	茅野駅	1990 (平成2)年2月2日	個人提供	○	
	普通入場券 料金140円	茅野駅	1989 (平成1)年1月8日	個人提供	○	
	普通入場券 料金140円	茅野駅	1989 (昭和64)年1月7日	個人提供	○	
	普通入場券 料金30円	茅野駅	1957 (昭和32)年2月25日	個人提供	○	
	普通入場券 料金100円	茅野駅	1981 (昭和56)年5月21日	個人提供	○	
	普通入場券 料金20円	茅野駅	1969 (昭和44)年5月10日	個人提供	○	
	さよなら茅野駅舎記念入場券	茅野駅	1985 (昭和60)年7月16日	個人提供	○	
	中央本線青柳駅・茅野駅・上諏訪駅・下諏訪駅・ 岡谷駅開業100周年記念入場券		1942 (昭和17)年11月25日	個人提供	○	
	茅野駅改築落成記念入場券	茅野駅	1986 (昭和61)年3月28日	個人提供	○	
	岡谷駅開業80周年記念0番線初乗り通行手形	岡谷駅	1985 (昭和60)年3月14日	個人提供	○	
	第114回鉄道記念茅野駅入場記念	茅野駅(ペナント付き)	1986 (昭和61)年10月14日	個人提供	○	
	いつもむつまじいふうう	茅野駅	1982 (昭和57)年11月22日	個人提供	○	
	鉄道博士号運転記念	岡谷・青梅鉄道公園	1984 (昭和59)年10月14日	個人提供	○	

[illegible]

コーナー	展示資料		年代	所蔵	前期	後期	ロビー
	写真 豊平山寺に残る橋台			個人提供	○	○	
諏訪電気鉄道							
	複製 諏訪電気鉄道線路 写真 中央鉄道の路線図	予測平面図		国立公文書館提供 東西茅野林野利用 農業協同組合提供 東西茅野林野利用 農業協同組合提供		○	
	写真 電車停車場設置ニ関スル特別日誌			諏訪市近現代史 研究紀要 第1号 1970諏訪郡史 編纂部著から		○	
	複製 諏訪湖畔電気鉄道予定図			諏訪市近現代史 研究紀要 第1号 1971諏訪郡史 編纂部著から		○	
鉄山鉄道							
	複製 記事 鉄量大増量だ 茅野花蒔間第二次開通記念	毎日新聞長野版	1944 (昭和19)年7月12日付 1948 (昭和23)年3月21日	毎日新聞社提供 個人提供	○	○	
	写真 茅野駅近くに残る路線跡	右側のコンクリート台は 信号機の基礎で、今はない 朝の訓辞か? 鉱石の積込場		個人提供	○	○	
	写真 学童の労働奉仕			個人提供	○	○	
	写真 索道の始点			個人提供	○	○	
	写真 女子青少年団の労働奉仕か?			個人提供	○	○	
	写真 鉱石の露天掘りの状況			個人提供	○	○	
	写真 鉄山鉄道の敷設風景			個人提供	○	○	
	写真 鉄山鉄道敷設工事	米沢塩沢 上川の鉄橋橋脚		個人提供	○	○	
	写真 索道での作業風景			個人提供	○	○	
	写真 トラックへの鉱石積込施設			個人提供	○	○	
	写真 学童の労働奉仕			個人提供	○	○	
	写真 花蒔の集鉱所			個人提供	○	○	
	写真 花蒔の集鉱所	石遊場より索道にて集鉱 ここよりトラックにて茅野駅へ 石遊場より索道にて集鉱 ここよりトラックにて茅野駅へ トラックは茅野駅まで運ぶ		個人提供	○	○	
	写真 鉱石をトラックに積み込むところ			個人提供	○	○	
	写真 状況不明			個人提供	○	○	
	写真 状況不明			個人提供	○	○	
	写真 状況不明			個人提供	○	○	
	写真 花蒔の鉱石積出所	戦時中ここより鉄道にて 茅野駅まで運搬		個人提供	○	○	
	写真 現在の豊平鬼場付近					○	
	写真 鉄山道路	上川の河原の石を敷き つめたという		個人提供	○		
	写真 石遊の湯			当館蔵	○		
	写真 米沢塩沢上の線路敷跡			個人提供	○		
	写真 豊平鬼場に残っていた専用トンネル	現在は解体されて何もない 近年、東口駅前に移動された		個人提供	○		
	写真 茅野駅付近(旧市民会館前)に保存されていた 蒸気機関車			個人提供	○		
	写真 茅野駅付近の曲線部分	現在も道路として使われて いる		個人提供	○		
	写真 かつての米沢付近			個人提供		○	
	写真 米沢塩沢の小河川を渡る			個人提供		○	
	写真 鉄山鉄道の橋台	右隣は中央本線。 現在はない		個人提供	○	○	
	写真 鉄山鉄道の橋			個人提供	○	○	
	写真 蓼科有料道路開通	観光への茅野へ第一歩を 踏み出す	1963 (昭和38)年5月15日 撮影	茅野市企画課提供	○	○	
	写真 茅野有料道路(トンネル)が開通		1984 (昭和59)年撮影	茅野市企画課提供	○		
	写真 C12蒸気機関車	茅野駅付近(旧市民会館前) に保存されていたが、 近年、東口駅前に移動した		個人提供		○	
	諏訪鉄山の地形及び鉱床図	GHQ SCAP ESS文書から 合成		国立国会図書館 提供	○	○	
	諏訪鉄山の地形及び鉱床図	GHQ SCAP ESS文書から 合成		国立国会図書館 提供	○	○	
	諏訪鉄山の地形及び鉱床図	GHQ SCAP ESS文書から 合成		国立国会図書館 提供	○	○	
	永明村役場 メモ・諏訪鉄山 月がのぼるまでに	庶務書類 松谷和男 著 武田鉄矢 作 黒井健 絵 小学館発行	1944 (昭和19)年 2005 (平成17)年発行 1991 (平成3)年発行	茅野市庶務課蔵 当館蔵 個人蔵	○	○	
茅野市民館の建設							
	写真 ワークショップの様子		2002 (平成14)年7月8日	茅野市中心市街地 活性化推進室提供		○	

コーナー	展示資料		年代	所蔵	前期	後期	ロビー
	写真 ワークショップの様子	模型を見ながら	2002 (平成14)年8月28日	茅野市中心市街地活性化推進室提供		○	
	写真 建設直前の茅野駅東口の様子		2002 (平成14)年8月撮影	茅野市中心市街地活性化推進室提供		○	
	写真 着工前		2003 (平成15)年7月29日撮影	茅野市中心市街地活性化推進室提供		○	
	写真 市民館 建設中		2004 (平成16)年1月7日撮影	茅野市中心市街地活性化推進室提供		○	
	写真 蒸気機関車C12の移動		2004 (平成16)年2月23日撮影	茅野市中心市街地活性化推進室提供		○	
	写真 現場見学会の様子		2004 (平成16)年7月5日	茅野市中心市街地活性化推進室提供		○	
	写真 市民館 建設中		2004 (平成16)年9月10日撮影	茅野市中心市街地活性化推進室提供		○	
	写真 市民館 完成まぎわ		2005 (平成17)年3月25日撮影	茅野市中心市街地活性化推進室提供		○	
	写真 市民館 完成		2005 (平成17)年7月撮影	株式会社 地域文化創造提供		○	
	写真 建設中の旧市民会館			個人提供		○	
	写真 建設中の旧市民会館			個人提供		○	
	パンフレット		2005 (平成17)年	株式会社 地域文化創造提供	○	○	
	ポスター	2枚		株式会社 地域文化創造提供	○		
未来の鉄道 中央新幹線							
	イラスト 超伝導リニア MLX-01			JR東海提供		○	
	写真 山梨実験線		2005 (平成15)年撮影	個人提供		○	
	ポスター	3枚		JR東海提供	○	○	
	パネル	パンフレットを拡大複製 7枚		JR東海提供	○	○	
	パネル	第一編成車両模型 1/100		JR東海提供	○	○	
	模型 山梨リニア実験線	JR東海 MLX01		JR東海提供	○	○	
	チョロキュー			個人提供	○	○	
	扇子			個人提供	○	○	
	パンフレット			当館蔵	○	○	
	下敷き(下敷き入れ)		2004 (平成14)年	当館蔵	○	○	
	案内ビデオ		2005 (平成15)年	VHSビデオ	○		
	案内ビデオ			VHSビデオ		○	
市民のつとめた鉄道写真							
	写真 183(189)系	青柳駅	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 E257系	特急あずさ 茅野駅	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 115系	茅野駅	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 E351系	スーパーあずさ	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 きつぷ運賃表	青柳駅	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 青柳駅		2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 E351系	スーパーあずさ 上川鉄橋付近	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 茅野駅東口		2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 茅野駅に残る側線		2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 だるま転轍機	茅野駅	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 185系特急はまかいじ	木舟付近	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 183(189)系	青柳駅	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 115系	茅野駅	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 E257系	特急あずさ 茅野駅	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 115系	茅野駅	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 E257系	特急あずさ 茅野駅	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 E351系 183(189)系	青柳駅	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 E257系	特急あずさ 茅野駅	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 183(189)系	青柳駅	2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○
	写真 茅野駅東口		2005 (平成15)年10月9日撮影	個人提供			○

コーナー	展示資料		年代	所蔵	前期	後期	ロビー
写真	青柳駅 列車発車時刻	青柳駅	2005 (平成15)年10月9日 撮影	個人提供			○
写真	茅野駅 列車発車時刻	青柳駅	2005 (平成15)年10月9日 撮影	個人提供			○
写真	タクシーのりば	茅野駅西口	2005 (平成15)年10月9日 撮影	個人提供			○
写真	新立場川橋梁を渡るE257	坂室付近	2004 (平成16)年3月撮影	個人提供			○
写真	上川橋梁を渡る183(189)系		2004 (平成16)年3月撮影	個人提供			○
写真	スーパーあずさE351系		2004 (平成16)年5月撮影	個人提供			○
写真	富士見の立場川を渡るお召し列車		1978 (昭和53)年10月16日 撮影	個人提供			○
写真	あさま色189(183)系		2001 (平成13)年4月撮影	個人提供			○
写真	D51の貨物列車	上原付近	1963 (昭和38)年春撮影	個人提供			○
写真	電化完成の電気	機関車入線試験 前)トヨベツクラウン 後)マツダR360クレー	1964 (昭和39)年頃撮影	個人提供			○
写真	D51の交換	貨物列車用電気機関車 練習運転のため後ろに 蒸気機関車がいる	1965 (昭和40)年頃撮影	個人提供			○
写真	EF60		1965 (昭和40)年頃撮影	個人提供			○
写真	旭町踏切	複線工事中	1965 (昭和40)年頃撮影	個人提供			○
写真	架線試験車	車両後ろに渡線車	1965 (昭和40)年頃撮影	個人提供			○
写真	複線工事突き固め	茅野駅にて	1965 (昭和40)年頃撮影	個人提供			○
写真	特急電車の試運転を見送る子供	暖房車から煙が出ている 茅野駅にて	1966 (昭和41)年8月撮影	個人提供			○
写真	EF13		1965 (昭和40)年頃撮影	個人提供			○
写真	祝賀電車	181系特急あずさ	1966 (昭和41)年12月12日 撮影	個人提供			○
写真	循環急行	すわ号	1965 (昭和40)年頃撮影	個人提供			○
写真	急行たてしな号	岡谷一新宿間	1964 (昭和39)年頃撮影	個人提供			○
写真	急行たてしな号	岡谷一新宿間	1964 (昭和39)年頃撮影	個人提供			○
写真	木船信号場	1967(昭和42)年以前は木船 信号場まで複線であった	1965 (昭和40)年頃撮影	個人提供			○
写真	木船信号場	1967(昭和43)年以前は木船 信号場まで複線であった	1966 (昭和41)年頃撮影	個人提供			○
写真	木船信号場	1967(昭和44)年以前は木船 信号場まで複線であった	1966 (昭和41)年頃撮影	個人提供			○



茅野駅 (7月7日撮影)



青柳駅 (9月9日撮影)



資料調査の様子 (9月13日 東西茅野区西藏にて)



撮影会「鉄道写真を撮ろう」(10月8・9日開催)



展示会の様子（エントランス）



展示会の様子
（模型・昭和38年頃の茅野駅を中心に）



展示会の様子（切符を中心に）



展示会の様子（未来の鉄道 中央新幹線）



ロビー展示「市民のとした鉄道写真展」



展示解説の様子（10月2日開催）



「鉄道模型で遊ぼう」(8月6日開催)



講演会「茅野の今昔」(10月22日開催)



「茅野の鉄道史跡を歩こう」(10月23日開催)



「茅野の鉄道史跡を歩こう」(10月23日開催)



Figure 1. [Illegible text]

Figure 2. [Illegible text]



Figure 3. [Illegible text]

Figure 4. [Illegible text]

寄贈図書目録 1993年

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1993-001	諏訪市博物館所蔵品展 展示図録- 92		諏訪市博物館
1993-002	21世紀こども地図館		監修/織田武雄
1993-003	21世紀こども地図館ビデオ ドラえもん地球大探検		小学館メディアミックス編集部
1993-004	不思議!なぜ?大図鑑 宇宙編		石川孟子
1993-005	長野県の地名その由来		松崎岩夫
1993-006	信州発「生活科」の実践	「生活科」を核とした合科的な指導の展開	清水毅四郎
1993-007	赤嶽山神社再建の記		赤嶽山神社氏子会・泉野地区区長会
1993-008	山と博物館 第37巻 第12号		大町山岳博物館
1993-009	藤村記念館だより		島崎緑二
1993-010	Museum Data No.20		(株)丹青総合文化研究所
1993-011	地域文化 Vol.23		(財)八十二文化財団
1993-012	企画展示 科学の目でみる文化財		国立歴史民俗博物館
1993-013	企画展示 弾・吹・打	日本の楽器とその系譜	国立歴史民俗博物館
1993-014	塩尻市史 第3巻 近代・現代		塩尻市史編集委員会
1993-015	あなたと博物館 No.70	松本市立博物館ニュース	松本市立博物館・日本民俗資料館ほか
1993-016	博物館だより 第12号		大津市歴史博物館
1993-017	ほりのうち No.14	考古・歴史博物館ニュース	市立市川考古・歴史博物館
1993-018	ほりのうち No.15	考古・歴史博物館ニュース	市川市立考古・歴史博物館
1993-019	市立市川考古博物館年報 第18号	平成元年度	市立市川考古博物館
1993-020	市立市川考古博物館年報 第19号	平成2年度	市立市川考古博物館
1993-021	堀之内貝塚資料図譜	市立市川考古博物館研究調査報告 第5集	市立市川考古博物館
1993-022	博物館研究 Vol.27 No.12		(財)日本博物館協会
1993-023	絹の文化史		篠原昭ほか
1993-024	理科の自由研究ヒント集		米山正信
1993-025	理科の自由研究と工作	小学4・5・6年 すぐに役立つおもしろ テーマガイド	川口久彦
1993-026	ふるさどを感じるあそび事典	したいさせたい原体験300集	山田卓三 原体験教材開発研究グループ
1993-027	ジュニア朝日年鑑 1993年版 社会		佐藤栄邦
1993-028	岩出町民俗資料館報1	平成元・2年度	岩出町民俗資料館
1993-029	歴史を調べる (ビデオ)		株式会社共立映画社
1993-030	星座の観察 中学2年 (ビデオ)		神奈川県
1993-031	縄文時代の人々 (ビデオ)		
1993-032	板橋の遺跡	企画展 ー近年発掘された板橋の遺跡とその成果ー	板橋区立郷土資料館
1993-033	山と博物館 第38巻 第1号		大町山岳博物館
1993-034	伊那谷の自然 第45号	いま南アルプスの中央構造線がおもしろい	伊那谷自然友の会
1993-035	資料館だより No.82		茅ヶ崎市文化資料館
1993-036	近代日本の女性と政治特別展展示目録	婦人参政権への歩み	憲政記念館
1993-037	北方民族館だより 第7号		北海道立北方民族博物館
1993-038	第5回特別展 マヤ	歴史と民族の十字路	北海道立北方民族博物館
1993-039	平成3年度 年報		北海道立北方民族博物館
1993-040	博物館研究 Vol.28 No.1		(財)日本博物館協会
1993-041	三郷文化 43 1993 冬		三郷村教育委員会・郷土研究会
1993-042	野鳥の図鑑 水の鳥②		中村登流
1993-043	星空ガイド1993		藤井旭
1993-044	教材名人 一太郎・花子版(パソコンソフト)		
1993-045	山と博物館 第38巻 第2号		大町山岳博物館
1993-046	博物館実習報告 第8号(1992年度)		お茶の水女子大学 学芸員課程委員会
1993-047	長野県の文化財 追補累積版 (昭和62年4月～平成4年3月)	長野県文化財総合目録	(財)八十二文化財団
1993-048	浦幌町郷土博物館報告 第40号		浦幌町郷土博物館
1993-049	浦幌町郷土博物館 第41号		浦幌町郷土博物館
1993-050	石川れきはく 第26号	新春特別展 産育	石川県立歴史博物館
1993-051	ハーモニー No.2		兵庫県立人と自然の博物館
1993-052	博物館だより 第13号	大北斎展を開催	大津市歴史博物館
1993-053	博物館準備だより		相模原市教育委員会博物館建設事務所

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1993-054	環境百科	危機のエンサイクロペディア	市川定夫 ほか
1993-055	森の珍獣ヤマネ	冬眠の謎を探る	中島福男
1993-057	小宇宙としての湖		西條八束
1993-058	おとしぶみ	ゆりかごをつくるちいさなむし	岡島秀治
1993-059	小さな雑木林のたんけん		柴田敏隆
1993-060	菅江真澄の信濃の旅	現代口語訳 信濃古典読み物叢書	信州大学教育学部附属長野中学校 創立記念事業編集委員会
1993-061	理科の自由研究のまとめ方(基本編)		高梨賢英・馬場勝良
1993-062	富士見市遺跡群X	富士見市文化財報告第42集	埼玉県富士見市教育委員会
1993-063	歴史の質問箱	原始から弥生時代まで	富士見市立考古館
1993-064	縄文の人々		西田正規
1993-065	水子貝塚海と村の生活	縄文の人々Ⅱ	麻生優
1993-066	富士見市立考古館考古館友の会だより 第6号		考古館友の会
1993-067	富士見市の指定文化財		富士見市教育委員会
1993-068	考古館だより第29号	平成4年度考古館事業	富士見市立考古館
1993-069	考古館だより第30号	考古館資料の活用を	富士見市考古館
1993-070	考古館だより第31号	水子貝塚発掘ニュース	富士見市立考古館
1993-071	富士見市考古館		埼玉県富士見市立考古館
1993-072	考古館だより第32号	鶴瀬小学校郷土資料室に農家を再現	富士見市立考古館
1993-073	埼玉県入間東部地区の佛像	入間東部地区文化財調査報告書第一集	入間東部地区文化財保護連絡協議会
1993-074	常設展示ガイドブック	時間・自然・信仰	諏訪市博物館
1993-075	資料館だより 第9号		各務原市歴史民俗資料館
1993-076	博物館研究 Vol.28 No.2		(財)日本博物館協会
1993-077	THEORIA コクヨミュージアムレポート テオリアVol.2	都市公園で20世紀美術と出会う 愛知県美術館	
1993-078	信州寒天業発達史	銀河グラフィック選書	矢崎孟伯
1993-079	世田谷諸家文書目録		世田谷区立郷土資料館
1993-080	旧荏原郡上野毛村名主田中家文書目録		世田谷区立郷土資料館
1993-081	都指定有形文化財世田谷代官大場家 文書目録		世田谷区立郷土資料館
1993-082	博物館の友 No.19	地域文化の向上に県博協の指命は大きい 島崎副会長あいさつ	長野県博物館協議会
1993-083	碌山美術館 VOL.3		(財)碌山美術館
1993-084	博物館準備だより 1993.1	地質資料の現況と調査から	相模原市教育委員会博物館建設事務所
1993-085	一民家を造る職人ー 茅葺き師		世田谷区教育委員会社会教育部管理課 民家園係
1993-086	諏訪年代便覧		諏訪史談会
1993-087	養蚕の起源と古代絹		布目順郎
1993-088	江戸東京大工道具職人		松永ゆかこ
1993-089	テンはロッジのお客さん	あかねノンフィクション3	今井万岐子・今井國勝
1993-090	環境と開発		宮本憲一
1993-091	日本の自然史博物館		糸魚川淳二
1993-092	新訂図解実験観察大辞典 生物		小泉貞明・水野丈夫
1993-093	新訂図解実験観察大辞典 地学		歌代 勤・海野和三郎
1993-094	『ミュージアム・データー』第21号	学校と博物館	(株)丹青総合研究所・文化空間研究部
1993-095	たくさんのふしぎ	ヤマネはねぼすけ?	湊 秋作・中川雄三
1993-096	ネイチャーストーリー(ビデオ)	残したい日本の自然	(財)日本自然保護協会
1993-097	小島バスと自然談議		小平萬榮
1993-098	山と博物館 第38巻 第3号	山岳博物館展示改修 特集号	大町山岳博物館
1993-099	博物館準備だより 1993.3		相模原市教育委員会博物館建設事務所
1993-100	浜松市博物館館報 V		浜松市博物館
1993-101	浜松市博物館だより Vol.11-3 通巻40号		浜松市博物館
1993-102	浜松市博物館だより Vol.11-4 通巻41号		浜松市博物館
1993-103	旧高山家住宅		浜松市博物館
1993-104	浜松市博物館情報 創刊～第12号		浜松市博物館
1993-105	伊那谷の自然 第46号	定点観測のすすめ	伊那谷自然友の会
1993-106	たてはく 第4号	佐伯平蔵手記より	富山県「立山博物館」
1993-107	自然博物館だより Vol.11 No.1		和歌山県立自然博物館
1993-108	和歌山県立自然博物館 館報 平成3年度		和歌山県立自然博物館

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1993-109	科学館ニュース No.320		名古屋市科学館
1993-110	科学館ニュース No.321		名古屋市科学館
1993-111	地質化石館だより No.18		戸隠村地質化石館
1993-112	八ヶ岳連峰	山溪山岳写真選集	近藤辰朗
1993-113	小田原市郷土文化館研究報告 No.29	人文科学 No.15	小田原市郷土文化館
1993-114	駒方津室迫遺跡の構造論的研究	一剥片剥離・石器製作技術の考察と 遺跡の復元一	別府大学附属博物館 橘 昌信
1993-115	諏訪市史研究紀要 第5号		諏訪市史編纂室
1993-116	研究紀要 第3号 1992		飯田市美術博物館
1993-117	美博だより VOL.21	飯田市美術博物館ニュース1993.4.1	飯田市美術博物館
1993-118	星の日周運動と地球の自転 (ビデオ)	第2分野 地学7	日本ビクター(株)
1993-119	雨・雪・霜 (ビデオ)	第2分野 地学7	日本ビクター(株)
1993-120	昆虫の生活 (ビデオ)	第2分野 生物3	日本ビクター(株)
1993-121	生物どうしのつながり (ビデオ)	第2分野生物18	日本ビクター(株)
1993-122	ツキノワグマ	追われる森の住人	宮尾嶽雄
1993-123	鳥学を支えた岳人		林正敏
1993-124	信州 馬の歴史		信州馬事研究会
1993-125	ヤマネのくらし	科学のアルバム98	西村豊
1993-126	野尻湖博物館研究報告 第1号	野尻湖の発掘 6	信濃町立野尻湖博物館
1993-127	92.6縄文からハイテクまで	高一諏訪地方見学レポート集	1992年6月開成高等学校(一年)
1993-128	塩山市史民俗調査報告書 平成4年度	神金の民俗	塩山市史編さん委員会
1993-129	あなたと博物館 No.71	松本市立博物館ニュース	松本市立博物館ほか
1993-130	山と博物館 第38巻 第4号	「梓川」一季節の流れの中で一 穂刈貞雄写真展	大町山岳博物館
1993-131	平成4年度企画展「西相模の古墳」		秦野市立桜土手古墳展示館
1993-132	博物館研究 Vol.28 No.3		(財)日本博物館協会
1993-133	地域文化 No.24		(財)八十二文化財団
1993-134	葵 NO13	徳川美術館だより	徳川美術館広報課
1993-135	富樫庶流旗本坪内家一統系図並由緒(一)	平成5年3月各務原市資料調査報告書 第十六号	各務原市歴史民俗資料館
1993-136	写真記録 信州に生きる 上	生活編	長野県民俗の会
1993-137	写真記録 信州に生きる 下	祭りと伝統行事編	長野県民俗の会
1993-138	黒川金山史料		黒川金山遺跡研究会 塩山市文化財審議会
1993-139	藤木道祖神祭り	『ふるさと地域活動』 (塩山市指定無形文化財・藤木の太鼓乗り) 第1回～第32回企画展	塩山市教育委員会 松里公民館 藤木道祖神祭保存会
1993-140	塩山市中央公民館 歴史民俗資料室総集編		塩山市公民館運営審議会 塩山市教育委員会
1993-141	石川れきはく 第27号	春季特別展 科学技術の19世紀	石川県立歴史博物館
1993-142	Report 7	大磯町郷土資料館だより	大磯町郷土資料館
1993-143	北方民族博物館だより 第8号		北海道立北方民族博物館
1993-144	埋蔵文化財出土品展	企画展	一宮市博物館
1993-145	織りの流れを探る一古墳時代までを中心に	平成4年度企画展	一宮市博物館
1993-146	漢詩人・森春涛の遺墨	平成4年度企画展	一宮市博物館
1993-147	一宮市博物館博物館だより No.14	企画展「織りの流れを探る一機台の発達まで」	一宮市博物館
1993-148	一宮市博物館 博物館だより No.15	漢詩人・森春涛の遺墨	一宮市博物館
1993-149	ハーモニー No.3		兵庫県立人と自然の博物館
1993-150	須沼一中世・須沼氏居館跡の調査一	郷土を知る 1	大町市教育委員会
1993-151	文化資料館調査研究報告1		茅ヶ崎市文化資料館
1993-152	史跡松本城太鼓門枳形	発掘調査・石垣改修工事	松本市教育委員会
1993-153	博物館研究 Vol.28 No.4		(財)日本博物館協会
1993-154	三郷文化 44 1993春		三郷村教育委員会・郷土研究会
1993-155	南アルプスカモシカ保護地域特別調査 報告書 平成3.4年度		静岡県・山梨県・長野県教育委員会
1993-156	本土狐		西村豊
1993-157	高山チョウ	可憐ないきものの記録	堀 勝彦
1993-158	いなかの挑戦	地方行政マンのまちづくりドキュメント	朝野晋平
1993-159	植物記		埴 沙萌
1993-160	グルーミング Vol.4-2		(財)富山市ファミリーパーク公社
1993-161	山と博物館 第38巻 第5号		大町山岳博物館
1993-162	伊那谷の自然 第47号		伊那谷自然友の会
1993-163	博物館研究 Vol.28 No.5		(財)日本博物館協会

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1993-164	瑞浪層群の化石 1. 可児・瑞浪盆地の植物	瑞浪市化石博物館専報 第2号	瑞浪市化石博物館
1993-165	瑞浪市化石博物館研究報告 第19号	糸魚川淳二博士記念号	瑞浪市化石博物館
1993-166	森と遊ぶ	子どもとはじめる自然冒険図鑑1	稲本 正
1993-167	野遊び図鑑をつくる	子どもとはじめる自然冒険図鑑2	本山賢司
1993-168	日本の川遊び	子どもとはじめる自然冒険図鑑3	大塚高雄
1993-169	三郷村の民家		三郷村教育委員会
1993-170	博物館だより 1993.4 第14号	伝説の歌人小野小町展を開催	大津市歴史博物館
1993-171	博物館準備だより 1993.4 NO.140		相模原市教育委員会博物館建設事務所
1993-172	研究報告第2集	博物館の意義と課題	相模原市教育委員会博物館建設事務所
1993-173	相模原市民俗調査報告書古山の 集落と土地利用		相模原市教育委員会社会教育部博物館 建設事務所
1993-174	獅子舞調査報告書第三集 田名の獅子舞		相模原市教育委員会社会教育部博物館 建設事務所
1993-175	総社市埋蔵文化財調査年報2(平成3年度)		総社市教育委員会
1993-176	折敷山遺跡 雲上山11号墳	総社市埋蔵文化財発掘調査報告10	総社市教育委員会
1993-177	藤原北古墳群	総社市埋蔵文化財発掘調査報告11	総社市教育委員会
1993-178	牛飼山古墳群	総社市埋蔵文化財発掘調査報告12	総社市教育委員会
1993-179	すりばち池古墳群	総社市埋蔵文化財発掘調査報告13	総社市教育委員会
1993-180	妙見信仰調査報告書(2)		千葉市立郷土博物館
1993-181	浮世絵にみる曾我物語展	特別展 曾我兄弟仇討ち800年記念	小田原市郷土文化館
1993-182	資料館だより 第10号		各務原市歴史民俗資料館
1993-183	市立大町山岳博物館40年の歩み		市立大町山岳博物館
1993-184	長野県信濃美術館東山魁夷館		長野県信濃美術館
1993-185	長野県信濃美術館美術調書 第3号		長野県信濃美術館
1993-186	研究紀要 2	平成4年	港区教育委員会(港郷土資料館)
1993-187	藤村記念館だより 第70号		藤村記念館 島崎緑二
1993-188	博物館ノート 32号	三ヶ野の どんど焼き 長野県中条村	(財)日本のあかり博物館
1993-189	港区立港郷土資料館だより 第22号	区内に遺る近代洋風建築	港区立港郷土資料館
1993-190	平成4年度港区指定文化財	平成4年10月28日指定	港区教育委員会 社会教育課文化財係
1993-191	松戸市立博物館要覧		松戸市立博物館
1993-192	松戸写真館	カメラがとらえた松戸の人々	松戸市立博物館
1993-193	秦野の文化財 第28集		秦野市教育委員会社会教育課
1993-194	秦野の文化財 第29集		秦野市教育委員会社会教育課
1993-195	博物館準備だより NO.141		相模原市教育委員会博物館建設事務所
1993-196	飯田市美術博物館 年報 第2号	平成2年度 平成3年度	飯田市美術博物館
1993-197	民俗資料選集 21	巫女の習俗 IV 秋田県の巫女の習俗	文化庁文化財保護部
1993-198	古事記祝詞	日本古典文学大系1	倉野憲司 武田祐吉
1993-199	国史大辞典 第14巻	やへわ	国史大辞典編集委員会
1993-200	両生類・爬虫類⑤ リクガメ・ワニほか	動物たちの地球 101	
1993-201	両生類・爬虫類⑥ ヤモリ・カメレオンほか	動物たちの地球 102	
1993-202	両生類・爬虫類⑦ カナヘビ・スナトカゲほか	動物たちの地球 103	
1993-203	両生類・爬虫類⑧ オオトカゲ・ミズトカゲ	動物たちの地球 104	
1993-204	両生類・爬虫類⑨ ニシキヘビ・シマヘビほか	動物たちの地球 105	
1993-205	昆虫	野外観察図鑑1	朝比奈正二郎 ほか
1993-206	両生・はちゅう類	小学館の学習百科図鑑	原 幸治
1993-207	竹と建築	空間演出のバイ・プレーヤー	中村昌生
1993-208	すき・くわ・かま	土に生きるかたち	筑波常治
1993-209	大工彫刻	社寺装飾のフォークロア	伊藤延男
1993-210	日本のタイル		山本正之
1993-211	自然史博物館だより No.10		倉敷市立自然史博物館
1993-212	自然博物館だより Vol.11 No.2		和歌山県立自然史博物館
1993-213	宇野確雄植物コレクション(3)	国外交換標本(3)	倉敷市立自然史博物館
1993-214	倉敷市立自然史博物館研究報告 第8号		倉敷市立自然史博物館
1993-215	磐梯山噴火記念館だより VOL.1		磐梯山噴火記念館
1993-216	あなたと博物館 No.12	松本市立博物館ニュース	松本市立博物館・日本民俗資料館
1993-217	コブラ・マムシ	動物たちの地球 106	鳥羽通久
1993-218	野外探検大図鑑	FIELD-PAL	松尾達英・塩野米松
1993-219	野鳥の観察(ビデオ)	野外探検大図鑑ビデオ	柚木修

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1993-220	博物館準備だより No.142	女性向け特集号	相模原市教育委員会
1993-221	板橋区立郷土博物館年報 第5号	平成3年度版	板橋区立郷土資料館
1993-222	博物館研究 Vol.28 No.6		(財)日本博物館協会
1993-223	山と博物館 第38巻第6号		大町山岳博物館
1993-224	博物館ニュース あかり 第5号		(財)日本のあかり博物館
1993-225	資料館だより No.83		茅ヶ崎文化資料館
1993-226	第32回特別展 宇宙への挑戦	日本の宇宙開発	長野市立博物館
1993-227	まつどミュージアム No.1		松戸市立博物館
1993-228	北海道立北方民族博物館研究紀要 第2号 1993		北海道立北方民族博物館
1993-229	第6回特別展 アラスカ半島の先史文化		北海道立北方民族博物館
1993-230	信濃町立野尻湖博物館 博物館だより No.32	第12次野尻湖発掘	野尻湖博物館
1993-231	ハーモニー No.4		兵庫県立人と自然の博物館
1993-232	Museum Data No.22	博物館アンケート調査	(株)丹青総合研究所
1993-233	日本大学獣医学部 資料館報 No.2		日本大学獣医学部資料館
1993-234	山と博物館 第38巻 第7号		大町山岳博物館
1993-235	博物館準備だより No.143		相模原市教育委員
1993-236	世田谷区史料叢書 第八巻	旧上野毛村田中家文書御用留編八	世田谷区立郷土資料館
1993-237	平成3年度市立市川考古博物館年報 第20号		市立市川考古博物館
1993-238	ほりのうち No.16	考古と歴史の博物館ニュース	市立市川考古博物館・市川歴史博物館
1993-239	長野市立博物館収蔵目録 自然3		長野市立博物館
1993-240	第8回特別展 大地のおくりもの —みちかな鉱物—		長野市立博物館分館 茶臼山自然史館
1993-241	伊那谷の自然 第48号		伊那谷自然友の会
1993-242	たてはく 第5号		富山県「立山博物館」
1993-243	富山県立山博物館年報 1992年第1号		富山県立山博物館
1993-244	富山県立山博物館年報 1993年第2号		富山県立山博物館
1993-245	神奈川県自然資料 14		神奈川県立博物館
1993-246	博物館研究 Vol.28 No.7		(財)日本博物館協会
1993-247	日本アルプスの鳥		中村登流 梓川鳥類生態研究会
1993-248	人間への進化		大島泰朗・八杉龍一
1993-249	地域文化 No.25 1993-7	自然環境と生活	(財)八十二文化財団
1993-250	あなたと博物館 No.73	松本市立博物館ニュース	松本市立博物館・日本民俗資料館
1993-251	美博だより Vol.22		飯田市美術博物館
1993-252	博物館だより 第15号		大津市歴史博物館
1993-253	国府遺跡V	平成4年度国府関連遺跡発掘調査概報	山梨県春日居町教育委員会
1993-254	博物館準備だより No.144		相模原市教育委員会
1993-255	長野市立博物館 紀要第1号		長野市立博物館
1993-256	三郷文化 45 1993 夏	東小倉遺跡の発掘	三郷村教育委員会・郷土研究会
1993-257	森と縄文人 (ビデオ)		(財)東京都教育文化財団 東京都埋蔵文化財センター
1993-258	大磯町における発掘調査の記録Ⅱ	大磯町文化財調査報告書第38集	大磯町教育委員会
1993-259	北中尾横穴墓群	大磯町文化財調査報告書第39集	大磯町教育委員会
1993-260	資料館資料3 大磯の年中行事	—豊かさへの願い—	大磯町郷土資料館
1993-261	なつかしの風景Ⅲ 史蹟と名勝		大磯町郷土資料館
1993-262	神戸市立博物館研究紀要 第7号		神戸市立博物館
1993-263	地層と化石 (ビデオ)		日本ビクター(株)
1993-264	清流の貴族アユ (ビデオ)	山の魚図鑑1	岩波映画
1993-265	溪谷に躍るイワナ・ヤマメ	山の魚図鑑2	岩波映画
1993-266	幻の魚ヒメマス・イトウ (ビデオ)	山の魚図鑑3	岩波映画
1993-267	水辺の環境学	生き物との共存	桜井善雄
1993-268	草花遊び 虫遊び		乙益正隆
1993-269	長岡市立科学博物館研究報告 第28号		長岡市立科学博物館
1993-270	長岡市立博物館報 No.62	生物研究発表特集号	長岡市立科学博物館
1993-271	長岡市立科学博物館報 No.63		
1993-272	自然災害を読む		小島圭二
1993-273	星座学習資料(スライド)		
1993-274	たてはく 第6号	かもしか園の住人達	富山県「立山博物館」

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1993-275	博物館準備だより No.145	倉敷市立自然史博物館	相模原市教育委員会博物館建設事務所
1993-276	自然史博物館だより No.11		
1993-277	自然博物館だより Vol.11 No.3		和歌山県立自然博物館
1993-278	山と博物館 第38巻 第9号		大町山岳博物館
1993-279	Museum Data No.23		(株)丹青研究所
1993-280	伊那谷の自然 第49号		伊那谷自然友の会
1993-281	山と博物館 第38巻 第10号		大町山岳博物館
1993-282	博物館研究 Vol.28 No.9		(財)日本博物館協会
1993-283	グルーミング Vol.4-3		(財)富山市ファミリーパーク公社
1993-284	地域文化 No.26		(財)八十二文化財団
1993-285	浜松市博物館だより Vol.12-1	21世紀への提言	浜松市博物館
1993-286	浜松市博物館だより Vol.12-2		浜松市博物館
1993-287	「ボランティア参加による自然解説活動」の ためのコーディネーター・ガイドブック		今井信五・横山隆一
1993-288	野生動物保護 第1部		NACS-J保護委員会・野生動物保護 小委員会
1993-289	自然観察からはじまる自然保護		(財)日本自然保護協会
1993-290	信州の「野鳥・野生動物」百選		長野県
1993-291	信州の「木」百選		長野県
1993-292	信州の「民家・町並」百選		長野県
1993-293	信州の「史跡」百選		長野県
1993-294	望遠鏡の扱い方と観測法(ビデオ)		神奈川県
1993-295	天体の観察 (スライド)	地学資料 自然を調べる第3集	茨木孝雄
1993-296	日本の色絵 柿右衛門の優雅な世界		小田原市郷土文化館
1993-297	日本の毒キノコ150種		本郷次雄
1993-298	遠き狩人たちの八ヶ岳		堤 隆
1993-299	信州の山城		信濃史学会
1993-300	考古資料の見方		桜土手古墳展示館
1993-301	桜土手古墳展示館だより Vol.5		桜土手古墳展示館
1993-302	桜土手古墳展示館だより Vol.6		桜土手古墳展示館
1993-303	科学館ニュース No.327		名古屋市科学館
1993-304	科学館ニュース No.326		名古屋市科学館
1993-305	北方民族博物館だより 第10号	国際先住民年記念特別展	北方民族博物館
1993-306	長野市立博物館だより 第24号		長野市立博物館
1993-307	博物館研究 Vol.28 No.10		(財)日本博物館協会
1993-308	三郷文化 46 1993秋		三郷村教育委員会・三郷村郷土研究会
1993-309	速報展 '93		松本市立考古博物館
1993-310	科学館ニュース No.328		名古屋市科学博物館
1993-311	科学館ニュース No.329		名古屋市科学博物館
1993-312	山と博物館 第38巻 第11号		大町山岳博物館
1993-313	伊那谷自然友の会報 第50号		伊那谷自然友の会
1993-314	博物館だより No.33		信濃町立野尻湖博物館
1993-315	あなたと博物館 No.75	開発と自然のはざま 日本海側で最大規模のナイフ型石器文化	松本市立博物館・日本民俗資料館
1993-316	博物館準備だより No.146		相模原市教育委員会
1993-317	博物館準備だより No.147		相模原市教育委員会
1993-318	忠生遺跡展		町田市立博物館
1993-319	富士吉田市歴史民俗博物館 博物館だより No.1		富士吉田市歴史民俗博物館
1993-320	ニューズレター 映像と生涯学習 博物館 No.1		孝寿 聡・岡田一夫・牛島 巖
1993-321	ニューズレター 生涯学習 博物館 No.2		孝寿 聡・岡田一夫・牛島 巖
1993-322	ニューズレター 映像と生涯学習 博物館 No.3		孝寿 聡・岡田一夫・牛島 巖
1993-323	ニューズレター 映像と生涯学習 博物館 No.4		孝寿 聡・岡田一夫・牛島 巖
1993-324	ニューズレター 映像と生涯学習 博物館 No.5		孝寿 聡・岡田一夫・牛島 巖
1993-325	ニューズレター 映像と生涯学習 博物館 No.6		孝寿 聡・岡田一夫・牛島 巖

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1993-326	ニューズレター 映像と生涯学習 博物館 No.7.8	企画制作プロセス早見表	孝寿 聡・岡田一夫・牛島 巖
1993-327	ニューズレター 映像と生涯学習 博物館 No.9	映像記録に関する予算の作成	孝寿 聡・岡田一夫・牛島 巖
1993-328	ニューズレター 映像と生涯学習 博物館 No.10.11	望まれる企画・制作を求めてスタッフ座談会から	孝寿 聡・岡田一夫・牛島 巖
1993-329	石川れきはく 第28号	夏季特別展 羅漢	石川県立歴史博物館
1993-330	古墳最盛期の文化	古代科野を中心として	上田市立信濃国分寺資料館
1993-331	描かれた富士の信仰世界		富士吉田市歴史民俗博物館
1993-332	北方民族博物館だより 第9号		北海道立北方民族博物館
1993-333	神戸市立博物館年報 No.7	平成元年度	神戸市立博物館
1993-334	神戸市立博物館年報 No.8	平成2年度	神戸市立博物館
1993-335	神戸市立博物館研究紀要 第8号	1991年3月	神戸市立博物館
1993-336	長野県埋蔵文化財センター年報9	1992	(財)長野県埋蔵文化財センター
1993-337	長野県埋蔵文化財ニュース No.35		(財)長野県埋蔵文化財センター
1993-338	長野県埋蔵文化財ニュース No.36・37	浅間山麓の縄文中・後期遺跡	(財)長野県埋蔵文化財センター
1993-339	博物館ノート No.33	瓦灯	(財)日本のあかり博物館
1993-340	あなたと博物館 No.74	特別展「城と茶室」	松本市立博物館・日本民俗資料館
1993-341	葵 No.14	徳川美術館だより 平成5年秋	徳川美術館広報課
1993-342	浄土信仰の美	浄土へのあこがれ	長野市立博物館
1993-343	小林家文書目録(一)	長野市立博物館収蔵資料目録 歴史1	長野市立博物館
1993-344	疎山美術館報 第14号	新収蔵作品「海鳥を射る」	(財)疎山美術館
1993-345	資料館だより No.84	小学校で文化資料館の民俗資料を活用する	茅ヶ崎市文化資料館
1993-346	石川れきはく 第29号	秋季特別展祈り・忌み・祝い加賀能登の人生儀礼	石川県立歴史博物館
1993-347	博物館だより 第16号	—古代の宮都—よみがえる大津京展を開催	大津市歴史博物館
1993-348	天理参考館報 第6号		天理大学付属天理参考館
1993-349	武田氏研究 第5号	磯貝正義会長喜寿記念特集号	武田氏研究会
1993-350	武田氏研究 第6号		武田氏研究会
1993-351	武田氏研究 第7号		武田氏研究会
1993-352	武田氏研究 第8号		武田氏研究会
1993-353	武田氏研究 第9号		武田氏研究会
1993-354	武田氏研究 第10号		武田氏研究会
1993-355	武田氏研究 第11号		武田氏研究会
1993-356	山梨の経塚	第11回特別展	山梨県立考古博物館
1993-357	山梨県立考古博物館だより No.29	縄文土器づくり教室	山梨県立考古博物館
1993-358	館報		千葉県立郷土博物館
1993-359	千葉ゆかりの武将たち		千葉県立郷土博物館
1993-360	近代洋風建築ウォッチング		東京都港区立郷土資料館
1993-361	港区立港郷土資料館だより 第23号	夏休み学習会土器作りに挑戦	港区立港郷土資料館
1993-362	港郷土資料館館報—11—	平成4年度版	港区立港郷土資料館
1993-363	ふるさとの考古学富士見市の遺跡	よみがえる文化と歴史	富士見市教育委員会
1993-364	埼玉県入間東部地区の歴史の道	入間東部地区文化財調査報告書2集	入間東部地区文化財保護連絡協議会
1993-365	Report 8	初代竹春展	大磯町郷土資料館
1993-366	年報	平成4年度	大磯町郷土資料館
1993-367	浦幌町郷土博物館報告 第42号		浦幌町郷土博物館
1993-368	古地図にみる一宮		一宮市博物館
1993-369	一宮市博物館博物館だよりNo.16	結城紬—地機で織る—	一宮市博物館
1993-370	埋蔵文化財出土展92	企画展	一宮市博物館
1993-371	農家の食	世田谷区宇奈根を中心に	世田谷区教育委員会社会教育部管理課 民家園係
1993-372	世田谷区立郷土資料館だより NO.19	文晁とその門人による模写絵—大場家所蔵絵画資料を中心に	世田谷区立郷土資料館
1993-373	文晁とその門人による模写絵	大場家所蔵絵画資料を中心に	世田谷区立郷土資料館
1993-374	藤村記念館だより 第71号		島崎緑二
1993-375	資料館だより NO.85	湘南茅ヶ崎—その海岸の現状を見る—	茅ヶ崎市文化資料館
1993-376	博物館ノート NO.34	蜜蜂とろうそく	(財)日本のあかり博物館
1993-377	自然博物館だより Vol.11 NO.4		和歌山県立自然博物館
1993-378	和歌山県立自然博物館館報 第11号	平成4年度	和歌山県立自然博物館
1993-379	山と博物館 第38巻第12号		大町山岳博物館

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1993-380	北方民族博物館だより 第11号		北海道立北方民族博物館
1993-381	まんが信州の歴史 1	信濃のはじまり(原始古代)	戸沢充則・監修 山田ゴロ・作画
1993-382	まんが信濃の歴史 2	武士の世の中(中世)	石井進・監修 山田ゴロ・作画
1993-383	まんが信州の歴史 3	大名と百姓(近世Ⅰ)	塚本学・監修 山田ゴロ・作画
1993-384	まんが信州の歴史 4	改革に生きる(近世Ⅱ)	塚本学・監修 山田ゴロ・作画
1993-385	まんが信州の歴史 5	長野県の夜明け(近代)	青木孝寿・監修 山田ゴロ・作画
1993-386	まんが信州の歴史 6	戦争から平和へ(現代)	青木孝寿・監修 蛭田充・作画
1993-387	日本歴史館		
1993-388	塩尻市史 付図	塩尻市地名地図	塩尻市
1993-389	塩尻市史 第四巻	民俗・文化財・史資料等	塩尻市史編纂委員会
1993-390	Museum Data No.24	博物館とボランティア	(株)丹青研究所
1993-391	山と博物館 第38巻 第8号		大町山岳博物館
1993-392	博物館研究 Vol.28 No.8		(財)日本博物館協会
1993-393	上郷考古博物館 展示概説		飯田市上郷考古博物館

寄贈図書目録 1994年

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1994-001	エコロジーキャンプ(ビデオ)	環境教育ビデオライブラリーⅠ	川嶋直
1994-002	おおぞらキャンプ	環境教育ビデオライブラリーⅡ	川嶋直
1994-003	博物館研究 Vol.28 NO.12		(財)日本博物館協会
1994-004	市民のなかの博物館		伊藤寿朗
1994-005	史料館・文書館学への道	記録・文書をどう残すか	安沢秀一
1994-006	古文書入門ハンドブック		飯倉晴武
1994-007	絵でみるたのしい長野県の歴史		(株)学習研究社
1994-008	考古学から古典を読む	季刊考古学・別冊4	斉藤忠・坂詰秀一
1994-009	地域文化 No.27		(財)八十二文化財団
1994-010	ワーズ・ワード		ジャン＝クロード・コルベユ アリアンアーシャンボウ
1994-011	古文書を読んでみよう	生涯学習シリーズ1	(財)八十二文化財団
1994-012	たてはく 第7号	開館2周年を迎えて	富山県「立山博物館」
1994-013	別府大学付属博物館だより No.39		橋 昌信
1994-014	別府大学付属博物館だより No.40		橋 昌信
1994-015	藤村記念館だより 第72号		島崎緑二
1994-016	親と子の自然博物館 ～風と水(流れ)の旅～	和歌山県立自然博物館 展示解説書第11集	和歌山県立自然博物館
1994-017	あなたと博物館 NO.76	松本市立博物館ニュース	松本市立博物館・日本民俗資料館
1994-018	博物館だより 第17号	大津市歴史博物館	大津市歴史博物館
1994-019	荘園絵図とその世界	国立歴史民俗博物館 開館10周年記念企画展示	国立歴史民俗博物館
1994-020	装飾古墳の世界	子どもとはじめる自然冒険図鑑4	国立歴史民俗博物館
1994-021	はじめての野鳥	子どもとはじめる自然冒険図鑑5	長谷川博
1994-022	自然をつくる	ビジュアルディクショナリー2	地球工作所
1994-023	人体	ビジュアルディクショナリー4	Mary Lindsay
1994-024	動物	ビジュアルディクショナリー5	Martyn Page
1994-025	植物		Bryn Walls
1994-026	山と博物館 第39巻 第1号		大町山岳博物館
1994-027	ハーモニー No.5		兵庫県立人と自然の博物館
1994-028	哺乳類	ビジュアル博物館9	Steve Parker
1994-029	植物	ビジュアル博物館11	David Burnie
1994-030	恐竜	ビジュアル博物館12	David Norman / Angela Milner
1994-031	昆虫	ビジュアル博物館17	ローレンス・モード
1994-032	化石	ビジュアル博物館19	Paul D.Tailor
1994-033	魚類	ビジュアル博物館20	Steve Parker
1994-034	結晶と宝石	ビジュアル博物館25	R.F.Syms & R.R.Harding
1994-035	爬虫類	ビジュアル博物館26	COLIN McCARTHY
1994-036	気象	ビジュアル博物館28	Brian Cosgrove
1994-037	火山	ビジュアル博物館38	Susanna van Rose
1994-038	両生類	ビジュアル博物館41	Barry Clarke
1994-039	科学館ニュース No.330		名古屋市科学館
1994-040	科学館ニュース		名古屋市科学館
1994-041	伊那谷の自然 第51号	天竜川との共存	伊那谷自然友の会
1994-042	戸隠村地質化石館だより No.19	シンシュウゾウ発掘10周年	戸隠村地質化石館
1994-043	シンシュウゾウ発掘の記録		戸隠村地質化石館
1994-044	欠		
1994-045	博物館研究 Vol.29 No.1		(財)日本博物館協会
1994-046	博物館準備だより No.148		相模原市教育委員会
1994-047	博物館準備だより No.149		相模原市教育委員会
1994-048	第6回諏訪地区遺跡調査研究発表会		諏訪考古学研究会
1994-049	三郷文化 47		三郷村教育委員会
1994-050	瑞浪市博物館研究報告 第20号		瑞浪市化石博物館
1994-051	大町山岳博物館 総合案内		大町山岳博物館
1994-052	草原の狩人	由井茂也日記抄	白田武正ほか
1994-053	環境を読む	自然景観の読み方12	五百沢智也
1994-054	みどり色のまゆ	ぼくたちが調べたヤマコの一生	穂高北小学校郷土研究会
1994-055	博物館研究 Vol.29 No.2		(財)日本博物館協会
1994-056	自然博物館だより Vol.12 No.1		和歌山県立自然博物館
1994-057	あなたと博物館 No.77	松本市立博物館ニュース	松本市立博物館・日本民俗資料館

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1994-058	碌山美術館 Vol.4		碌山美術館
1994-059	博物館準備だより No.150		相模原市教育委員会
1994-060	博物館準備だより No.151		相模原市教育委員会
1994-061	山と博物館 第39巻 第3号		大町山岳博物館
1994-062	ハーモニー No.6		兵庫県立人と自然の博物館
1994-063	館報 Vol.1 1992		兵庫県立人と自然の博物館
1994-064	いちにの山歩	山を楽しみ自然に学ぶ	小野木三郎
1994-065	ぼくらの自然観察会		植原 彰
1994-066	学校で自然観察		植原 彰
1994-067	伊那谷の自然 第52号	今、なぜオオカミか	伊那谷自然友の会
1994-068	地域文化 No.28		(財)八十二文化財団
1994-069	博物館研究 Vol.28 No.11		(財)日本博物館協会
1994-070	郷土の人物集		諏訪教育会 郷土の人物委員会
1994-071	銀河ロマンガイド〔南信濃〕諏訪	天下の大祭御柱物語	
1994-072	日本史年表 増補版		歴史研究会
1994-073	ニューズレター 映像と生涯学習 博物館 12号	職人映画人なしの映像制作	(財)下中記念財団
1994-074	石川れきはく 第30号	新春特別展 天下の書府	石川県立歴史博物館
1994-075	坂東彦三郎と厚木	博物館収蔵資料展1	厚木市教育委員会社会教育課
1994-076	資料館だより No.86	最近収集された文化資料館資料	茅ヶ崎市文化資料館
1994-077	日本議会政治の歩み特別展 第一回展示目録	議会思想の移入から帝国議会の開設まで	憲政記念館
1994-078	これはなんでしょう? —なつかしの生活用具—		世田谷区立郷土資料館
1994-079	高島秋帆	西洋砲術家の生涯と徳丸原	板橋区郷土資料館
1994-080	博物館実習報告 第9号(1993年度)		お茶の水女子大学学芸員課程委員会
1994-081	長野市立博物館だより No.25	あなたの家から星がよく見えますか?	長野市立博物館
1994-082	長野市立博物館だより No.26	あなたはコペルニクスに勝った?	長野市立博物館
1994-083	長野市立博物館だより No.27	平の道祖神祭り	長野市立博物館
1994-084	古代からのメッセージ 東海大学校地内遺跡とその出土物	秦野市・東海大学提携10周年記念特別展	秦野市立桜土手古墳展示館
1994-085	秦野市立桜土手古墳展示館だより Vol.7	弥生前期壺形土器	秦野市立桜土手古墳展示館
1994-086	眠りからさめた古代	第一東海自動車道遺跡(秦野地区)出土品展	神奈川県埋蔵文化財センター 桜土手古墳展示館
1994-087	眠りからさめた古代 II	第一東海自動車道(秦野地区)出土品展	神奈川県埋蔵文化財センター 桜土手古墳展示館 考古学財団
1994-088	古代からのメッセージ 東海大学校地内遺跡とその出土物	秦野市・東海大学提携10周年記念	秦野市立桜土手古墳展示館
1994-089	山と博物館 第39巻 第2号		大町山岳博物館
1994-090	富樫庶流旗本坪内家一統系図並由緒(二)	各務原市資料調査報告書第一七号	各務原市歴史民俗資料館
1994-091	平成4年度年報	北海道立北方民族博物館 第7回特別展	北海道立北方民族博物館
1994-092	鳥居龍蔵のみた北方民族	アイヌ文化の成立を考える	北海道立北方民族博物館
1994-093	北方民族博物館だより 第12号	アブリミ(鍔)	北海道立北方民族博物館
1994-094	資料館だより 第11号	蘇った加助像	各務原市歴史民俗資料館
1994-095	義民かわら版 第2号	企画展解説シリーズ No.7	貞享義民記念館
1994-096	新収蔵品展	企画展解説シリーズ No.2	(財)日本のあかり博物館
1994-097	あかりの商い	電燈が灯る—長野茂菅発電所—	(財)日本のあかり博物館
1994-098	博物館ノートNo.35.	博物館常設展示のご案内	(財)日本のあかり博物館
1994-099	富士吉田市博物館だより No.2	館蔵品による煎茶展	富士吉田市歴史民俗博物館
1994-100	喫茶往来		板橋区立郷土資料館
1994-101	諏訪市博物館友の会会報 第2号		
1994-102	博物館研究 Vol.29 No.3		(財)日本博物館協会
1994-103	いせはらサイエンスクラブ野外研修報告書 (第2回)	平成5年度	伊勢原市立子ども科学館
1994-104	たてはく 第8号	企画展『マンダラ・ラ・カルト』	富山県「立山博物館」
1994-105	美博だより VOL.24	展示照明について	飯田市美術博物館
1994-106	美博だより VOL.25	新収春草作品讃	飯田市美術博物館
1994-107	山と博物館 第39巻第4号	写真展開催にあたって	大町山岳博物館
1994-108	総社市埋蔵文化財調査年報3	平成4年度	総社市教育委員会
1994-109	森の妖精 ヤマネ(ビデオ)		西村豊
1994-110	山や林の草花		萩原信介 高森登志夫
1994-111	野生動物ウォッチング		田中豊美
1994-112	鳥を描く	日本画の技法3	中野嘉之
1994-113	野の花を描く	日本画の技法1	川島睦朗

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1994-114	グルーミング 第4巻第4号		(財)富山市ファミリーパーク公社
1994-115	小田原市郷土文化館研究報告 No.30	自然科学 No.15	小田原市郷土文化館
1994-116	戸隠村地質化石館だより No.20		戸隠村地質化石館
1994-117	東京都の自然 第20号		東京都高尾自然科学館
1994-118	東京都高尾自然科学博物館研究報告 第16号		東京都高尾自然科学館
1994-119	神奈川県立博物館研究報告 自然科学23号		神奈川県立博物館
1994-120	神奈川自然誌資料 15		神奈川県立博物館
1994-121	神奈川県立博物館自然部門資料目録 7	Gerard Ramon Case 軟骨魚類化石標本目録	神奈川県立博物館
1994-122	博物館研究 Vol.29 No.4		(財)日本博物館協会
1994-123	社寺彫刻	立川流の建築装飾	田畑みなお 平井聖 伊東龍一 日向進
1994-124	神垣外遺跡	団体営土地改良総合整備事業田沢地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 「グリーンヒルズ・ヴィレッジ」住宅団地造成工事に伴う緊急発掘調査	茅野市教育委員会
1994-125	鴨田遺跡	団体営圃場整備事業菅沢地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-126	箒原遺跡	平成3年度県営圃場整備事業柏原地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-127	上ノ段遺跡	平成3年度県営圃場整備事業堀地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-128	床滑遺跡	県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-129	珍部坂A・B遺跡	平成3年度県営圃場整備事業堀地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-130	尖石遺跡	保存整備事業に係る試掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-131	中原遺跡	平成3年度県営圃場整備事業槻木地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-132	水尻遺跡	平成3年度県営圃場整備事業堀地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-133	城遺跡	平成3年度県営圃場整備事業堀地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-134	出頭遺跡	国道256線道路改良事業に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-135	稗田頭A遺跡	平成4年度県営圃場整備事業槻木地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査概要報告書	茅野市教育委員会
1994-136	中ッ原遺跡	県営圃場整備事業芹ヶ沢地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査概要報告書	茅野市教育委員会
1994-137	中ッ原A遺跡	平成4年度県営圃場整備事業堀地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-138	中ッ原B遺跡	平成4年度県営圃場整備事業堀地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-139	阿弥陀堂遺跡	埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-140	天狗山遺跡	「金沢住宅団地」宅地造成に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-141	尖石遺跡	保存整備事業に係る試掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-142	夕立遺跡	平成4年度県営圃場整備事業槻木地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査概要報告書	茅野市教育委員会
1994-143	滝之脇遺跡	県営圃場整備事業芹ヶ沢地区に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-144	千沢城下町遺跡	国道256号線改良工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-145	阿久尻遺跡	県営金沢工業団地建設に伴う造成工事に係る埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	茅野市教育委員会
1994-146	一宮市博物館だより 第17号	特別展「一宮の名宝(IV)」	一宮市博物館
1994-147	石川れきはく No.30	春季特別展「はにわ」	石川県立歴史博物館
1994-148	Report 9	キロスズメバチの巣と巣の内部構造	大磯町郷土資料館
1994-149	あなたと博物館 No.78	第34回伝統工芸新作展	松本市立博物館・日本民俗資料館
1994-150	森のしんぶん 1994年5月号 No.51	自然も使い捨てOK?	牛久自然観察の森
1994-151	雑木林のおとしぶみ	スプリング・エフェメラル	牛久自然観察の森
1994-152	野尻湖博物館だより No.34	野尻湖に里帰りするホシツリモ	信濃町立野尻湖博物館
1994-153	博物館だより 第18号	西教寺と天台真盛宗の秘法	大津市歴史博物館
1994-154	北方民族博物館だより 第13号	疑似餌	北海道立北方民族博物館
1994-155	浦幌町郷土博物館報告 第43号		浦幌町郷土博物館
1994-156	坂本義川さんの人物像	学んで作る本	五味省七
1994-157	世田谷区史料叢書 第9巻		世田谷区立郷土資料館
1994-158	科学館のたより No.23		箱根町立大涌谷自然科学館
1994-159	大涌谷自然科学館調査研究報告第12号		箱根町立大涌谷自然科学館
1994-160	川の自然観察	ガイドブック6	大涌谷自然科学館
1994-161	ハヶ岳連峰(ビデオ)	空撮登山ガイドシリーズ8	武藤プロダクション
1994-162	高山植物(図鑑)	野外ハンドブック8	小野幹雄 木原浩

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1994-163	生命 1	海からの創世	NHK取材班
1994-164	考古学千夜一夜		佐原真
1994-165	白馬岳ネイチャーウォッチング	北アルプスの自然観察登山	石丸哲也
1994-166	関東山地カモシカ保護地域特別調査報告書	平成4・5年度	群馬・埼玉・東京・山梨・長野県教育委員会
1994-167	三郷文化 48	1994 春	三郷村教育委員会
1994-168	山と博物館 第39巻 第5号		大町山岳博物館
1994-169	牛久自然観察の森事業実地報告書	平成5年度	牛久自然観察の森
1994-170	葵 No.15	平成6年春	徳川美術館広報課
1994-171	一宮市博物館年報(3)	平成3・4年度	一宮市博物館
1994-172	文化資料館調査研究報告2		茅ヶ崎市文化資料館
1994-173	板橋区立郷土資料館年報 第6号	平成4年度版	板橋区立郷土資料館
1994-174	板橋の絵図・絵地図		板橋区立郷土博物館 吉田政博
1994-175	アイヌ文化を学ぶ		財団法人アイヌ無形文化伝承保存会
1994-176	資料館だより No.87	鉄砲道由来	茅ヶ崎市文化資料館
1994-177	平成5年度港区指定文化財		港区教育委員会
1994-178	港区立港郷土資料館だより 第24号	校庭で発見された近代・近世の上水道	港区立港郷土資料館
1994-179	港区文化財調査集録 第2集		港区教育委員会
1994-180	黎明 Vol.12 No.1	島津義久書状	鹿児島県歴史資料センター黎明館
1994-181	博物館の外国人利用者の受入態勢	平成5年度	(財)日本博物館協会
1994-182	博物館ボランティア活性化のための調査研究報告書	平成5年度	(財)日本博物館協会
1994-183	博物館研究 Vol.29 No.5	平成5年度新館紹介	(財)日本博物館協会
1994-184	大磯町における発掘調査の記録Ⅲ	大磯町文化財調査報告書第41集	大磯町教育委員会
1994-185	博物館準備だより No.153	消えゆく相模原の野草	相模原市教育委員会博物館建設事務所
1994-186	相模川水系の水生昆虫Ⅰ		相模原市教育委員会
1994-187	下九沢の獅子舞	獅子舞調査報告書第四集	相模原市教育委員会
1994-188	古山の組織と運営	相模原市民俗調査研究書	相模原市教育委員会
1994-189	上溝の市場と商家	平成6年3月	相模原市教育委員会
1994-190	研究報告第3集	分布と地域	相模原市教育委員会博物館建設事務所
1994-191	伊那谷の自然 第53号	土石流と氾濫の記録	伊那谷自然友の会
1994-192	民俗資料選集22	対馬の釣鉤製作習俗	文化庁文化財保護部
1994-193	世田谷区立郷土資料館だより No.20	最後の代官・大場信愛の肖像	世田谷区立郷土資料館
1994-194	長野県信濃美術館美術調査 第4号		長野県信濃美術館
1994-195	倉敷市立自然市博物館報 5	平成3～4年度	倉敷市立自然市博物館
1994-196	自然史博物館だより No.14	シノリガモ	倉敷市立自然史博物館
1994-197	倉敷市立自然史博物館研究報告 第9号		倉敷市立自然史博物館
1994-198	倉敷のいきもの	第10回特別展「倉敷のいきもの」解説	倉敷市立自然史博物館
1994-199	ニューズレター 映像と生涯学習/博物館	シンポジウム「動く映像とミュージアム」 準備号2	孝寿聡・岡田一男
1994-200	倉敷市生物目録		倉敷市立自然史博物館
1994-201	義民かわら版	天保三年の稲穂と芒踏み磨き	貞享義民記念館
1994-202	研究紀要 Vol.1		富山県「立山博物館」
1994-203	富山県「立山博物館」年報	一九九四年第三号	富山県「立山博物館」
1994-204	平成5年度企画展守矢文書と中世の村		茅野市神長官守矢史料館
1994-205	自然博物館だより Vol.12 No.2	ガンガゼ	和歌山県立自然博物館
1994-206	山と博物館 第39巻第6号	鹿島槍ヶ岳	大町山岳博物館
1994-207	研究紀要 第16号		埼玉県立歴史資料館
1994-208	埼玉の武者絵馬		埼玉県立歴史資料館
1994-209	葵 No.16	福君江戸下向行列図	徳川美術館
1994-210	博物館準備だより No.156		相模原市教育委員会博物館建設事務所
1994-211	たてはく 第9号		富山県「立山博物館」
1994-212	博物館研究 Vol.29 No.6		(財)日本博物館協会
1994-213	ハーモニー No.7	ハチとともに生きる	兵庫県立人と自然の博物館
1994-214	生命 2	進化の不思議な大爆発 魚たちの上陸作戦	NHK取材班
1994-215	山が楽しくなる地形と地学	YAMABOOKS 19	広島三朗
1994-216	神戸市立博物館年報 No.9	平成3年度	神戸市立博物館
1994-217	神戸市立博物館研究紀要第9号		神戸市立博物館
1994-218	神戸市立博物館研究紀要第10号		神戸市立博物館
1994-219	板橋区立郷土資料館紀要第10号		板橋区郷土資料館
1994-220	長野市立博物館第34回特別展 まつるふさぐもやす	道祖神・祈りとかたち	長野市立博物館
1994-221	地域文化 No.29	ウォルター・ウェストン	「地域文化」編集室

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1994-222	藤村記念館だより第73号		藤村記念館
1994-223	山と博物館 第39巻7号	日本山岳画協会展	大町山岳博物館
1994-224	大町山岳博物館 総合案内		大町山岳博物館
1994-225	博物館ノート No.36	渋湯組の夜警	(財)日本のあかり博物館
1994-226	浜松市博物館だより 通巻第44号		浜松市博物館
1994-227	浜松市博物館だより 通巻第45号		浜松市博物館
1994-228	浜松市博物館だより 通巻第46号		浜松市博物館
1994-229	浜松の漁の道具	博物館資料集3	浜松市博物館
1994-230	浜松市博物館館報VI		浜松市博物館
1994-231	浜松市博物館情報 第13,14,15号		浜松市博物館
1994-232	浜松市博物館情報 第16,17,18号		浜松市博物館
1994-233	浜松市博物館情報 第19,20,21号		浜松市博物館
1994-234	浜松市博物館情報 第22,23,24号		浜松市博物館
1994-235	資料館だより 第12号		各務原市歴史民俗資料館
1994-236	飯田市美術博物館 年報 第3号	平成4年度	飯田市美術博物館
1994-237	飯田市美術博物館文書目録II		飯田市美術博物館
1994-238	飯田市美術博物館研究紀要 第4号		飯田市美術博物館
1994-239	美博だより Vol.23	飯田市美術博物館ニュース	飯田市美術博物館
1994-240	美博だより Vol.24		飯田市美術博物館
1994-241	美博だより Vol.25		飯田市美術博物館
1994-242	美博だより Vol.26		飯田市美術博物館
1994-243	あなたと博物館 No.79	松本市立博物館ニュース	松本市立博物館ほか
1994-244	古代陶器の変遷—信濃への流れ—		上田市立信濃国分寺資料館
1994-245	石川れきはく No.32	特別展「写経と版経」	石川県立歴史博物館
1994-246	生命 3	花に追われた恐竜 大空への挑戦者	NHK取材班
1994-247	森にかよう道—知床から屋久島まで—		内山節
1994-248	科学取りもの帖		森本雅樹
1994-249	行ってみたい全国の博物館		文園社編集部
1994-250	三郷村黒沢の自然(ビデオ)		三郷村教育委員会
1994-251	博物館準備だより No.155		相模原市教育委員会博物館建設事務所
1994-252	資料館だより No.88		茅ヶ崎市文化資料館
1994-253	博物館だより 第19号		大津市歴史博物館
1994-254	博物館研究 Vol.29 No.7		(財)日本博物館協会
1994-255	港区立港郷土資料館だより 第25号		港区立港郷土資料館
1994-256	長岡市立科学博物館研究報告 第29号		長岡市立科学博物館
1994-257	長岡市立科学博物館報 No.64	生物研究発表特集号	長岡市立科学博物館
1994-258	会報 No.34	諏訪と黒曜石研究を邁進するにあたり	諏訪考古学研究会
1994-259	自然博物館だより Vol.12 No.3	植物の葉脈標本	和歌山県立自然博物館
1994-260	葵 No.17	平成6年秋	徳川美術館広報課
1994-261	碓氷美術館報 第15号	「原田恭平(聚文)像」	(財)碓氷美術館
1994-262	博物館準備だより No.157	秋の特集号	相模原教育委員会博物館建設事務所
1994-263	伊那谷の自然 第55号	里山の自然と共存できる町づくり	伊那谷自然友の会
1994-264	湖を読む	自然景観の読み方10	岩熊敏夫
1994-265	博物館研究 Vol.29 No.9		(財)日本博物館協会
1994-266	長野市立博物館だより 第28号		長野市立博物館
1994-267	長野市立博物館だより 第29号	信濃の山岳信仰	長野市立博物館
1994-268	山梨県立考古博物館だより No.32	入館者五十万人達成	山梨県立考古博物館
1994-269	古墳時代の甲冑	第12回特別展	山梨県立考古博物館
1994-270	MuseumData No.26	静岡県立登呂博物館 参加体験型ミュージアムへの改装	(株)丹青研究所情報開発研究部
1994-271	地域文化 No.30		(財)八十二文化財団
1994-272	石川れきはく No.33	秋季特別展 金沢城	石川県立歴史博物館
1994-273	富士吉田市博物館だより No.3	親子土器作り教室	富士吉田市歴史民俗博物館
1994-274	信濃の山岳信仰	第35回特別展	長野市立博物館
1994-275	博物館研究 Vol.29 No.8		(財)日本博物館協会
1994-276	古代望見		山梨県立考古博物館
1994-277	山梨県立考古博物館だより No.30	第11回特別展「山梨の経塚」	山梨県立考古博物館
1994-278	山梨県立考古博物館だより No.31	企画展「坂井遺跡50年展」	山梨県立考古博物館
1994-279	漆文化—縄文・弥生時代—		国立歴史民俗博物館
1994-280	資料館ガイドブック11	埼玉の瓦塔	埼玉県立歴史資料館

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1994-281	うなぎ沢・陣馬	平成6年度埋蔵文化財緊急発掘調査報告	飯島町・飯島町教育委員会・飯島町 土地開発公社
1994-282	柳田國男と世田谷	柳田國男のふるさと観を中心に	高見寛孝
1994-283	柳田國男と世田谷 ー柳田國男のふるさと観を中心にー	第8回柳田國男ゆかりサミット記念特別展	世田谷区教育委員会民家園係
1994-284	たてはく 第10号	人と自然の情報交流誌	富山県[立山博物館]
1994-285	博物館だより 第20号	芭蕉と近江の門人たち展を開催	大津市歴史博物館
1994-286	山と博物館 第39巻 第10号	フォッサマグナ展	大町山岳博物館
1994-287	ぼろー襦袢ー	紅絹からのメッセージー西相模の仕事着	大磯町郷土資料館
1994-288	宮坂勝とその周辺	平成6年度長野県博物館協議会巡回展	日本民俗資料館
1994-289	年報	平成5年度	大磯町郷土資料館
1994-290	ハーモニー No.8	保全と共生	兵庫県立人と自然の博物館
1994-291	戸隠村地質化石館だより No.21	来館者からの手紙	戸隠村地質化石館
1994-292	戸張孤雁その彫刻と小田原	特別展	小田原市郷土文化館
1994-293	天理参考館報 第7号		天理大学付属天理参考館
1994-294	古裂會 Vol.3	AUCTION CATALOGUE	(有)古裂會
1994-295	事業概要 平成6年度版	(財)富山市ファミリーパーク公社	(財)富山市ファミリーパーク公社
1994-296	写真集ちよっと昔のせたがや		世田谷区立郷土資料館
1994-297	世田谷区立郷土資料館だより No.21	ー写真展ーちよっと昔のせたがや	世田谷区立郷土資料館
1994-298	歴史の道調査報告書 X X X VII	有賀峠道	長野県教育委員会
1994-299	歴史の道調査報告書 X X X VIII	初期中山道	長野県教育委員会
1994-300	歴史の道調査報告書 X X X IX	御嶽街道	長野県教育委員会
1994-301	歴史の道調査報告書 X X X X	極楽峠道	長野県教育委員会
1994-302	諏訪のお寺様マップ		(株)エース企画
1994-303	塩山が生んだ“立志伝中の人” 眞下晩菰・専之丞展	歴史民俗資料室第32回企画展	塩山市教育委員会・塩山市中央公民館
1994-304	廣門山法傳寺と上野一雲	歴史民俗資料室第33回企画展	塩山市中央公民館
1994-305	平成の文化財 平成元年～5年に 指定された文化財を公開	歴史民俗資料室第34回企画展	塩山市教育委員会・塩山市中央公民館
1994-306	結び	ものと人間の文化史6	額田巖
1994-307	妙見信仰調査報告書(三)		千葉市立郷土博物館
1994-308	廣重	特別展図録	日本浮世絵学会
1994-309	甲府市史 通史編 第2巻 近世		甲府市市史編纂委員会
1994-310	甲府市史 通史編 第4巻 現代		甲府市市史編纂委員会
1994-311	甲府市史 別編Ⅲ 甲府の歴史		甲府市市史編纂委員会
1994-312	甲府市史 別編Ⅳ 年表・索引		甲府市市史編纂委員会
1994-313	区政のあゆみ	宮川新井区	茅野市宮川新井区
1994-314	第9回特別展 長野盆地の生い立ち		長野市立博物館分館茶臼山自然史館
1994-315	長野市立博物館収蔵資料目録 自然4	長野市立博物館収蔵資料目録 自然4	長野市立博物館分館茶臼山自然史館
1994-316	長野市立博物館収蔵資料目録 歴史2	長野市立博物館収蔵資料目録 歴史2	長野市立博物館
1994-317	伊那谷の自然		伊那谷自然友の会
1994-318	あかり展	あかりを使うとき・ひと・ばしょ	日本民俗資料館
1994-319	博物館研究 Vol.29 No.10		(財)日本博物館協会
1994-320	大地が語る信州の4億年		信州大学「信州の4億年」編集委員会
1994-321	Museum Data No.25		(株)丹青研究所 研究センター
1994-322	あなたと博物館 No.80		松本市立博物館・日本民俗資料館
1994-323	三郷文化 50	1994秋 特集記念号	三郷村教育委員会 郷土研究会
1994-324	グルーミング Vol.5-1		(財)富山市ファミリーパーク公社
1994-325	平成5年度 諏訪市博物館年報		諏訪市博物館
1994-326	最新日本刀全集 2001年版		本阿弥常政
1994-327	郷土資料展示室だより No.21		厚木市教育委員会社会教育課博物館準備係
1994-328	厚木のチョウ・日本のチョウ	博物館収蔵資料展	厚木市教育委員会
1994-329	博物館研究 VOL.29 NO.11		(財)日本博物館協会
1994-330	縄文時代以降の松戸の海と森の復元	松戸市立博物館古環境展示のための 自然科学調査の成果	松戸市立博物館
1994-331	信州の大遺跡		樋口昇一・桐原健・宮下健司
1994-332	伊那谷の自然 第56号	臼井原は飯田盆地のへそ	伊那谷自然友の会
1994-333	桐博だよりKIRI VOL.2	箆篋と桐の関係	桐の博物館
1994-334	生命 4	奇跡のシステム「性」 昆虫達の情報戦略	NHK取材班
1994-335	北方民俗博物館だより 第15号		北海道立北方民俗博物館
1994-336	資料館報 第14号		
1994-337	野尻湖博物館 博物館だより No.35		信濃町立野尻湖博物館
1994-338	野尻湖博物館研究報告第2号(1994)	沿州海の第四系予備調査報告	信濃町立野尻湖博物館
1994-339	信濃町立博物館10年の歩み	1984～1994	信濃町立博物館
1994-340	博物館準備だより No.158		相模原市教育委員会博物館建設事務所
1994-341	山と博物館 第39巻11号		大町山岳博物館

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1994-342	茅ヶ崎文化資料館 資料館だより No.89	第12号 平成5年度 徳川美術館だより 大天狗松明の舞い	茅ヶ崎市文化資料館
1994-343	博物館準備だより No.159		相模原市教育委員会博物館建設事務所
1994-344	磐梯山噴火記念館だより VOL.2		磐梯山噴火記念館
1994-345	自然博物館だより Vol.12 No.4		和歌山県立自然博物館
1994-346	和歌山県立自然博物館 館報		和歌山県立自然博物館
1994-347	葵 No.18		徳川美術館
1994-348	博物館ノート No.37		(財)日本のあかり博物館
1994-349	大津市歴史博物館 博物館だより 第21号		大津市歴史博物館
1994-350	神奈川自然資料 16		神奈川県立博物館
1994-351	平成4年度博物館講座 講義集Ⅱ		遠野市立博物館
1994-352	特別展「北の文化」	アイヌのくらしと祈り	遠野市立博物館
1994-353	博物館教室ガイドブック ふるさと遠野		遠野市立博物館
1994-354	特別展「東北の郷土人形」		遠野市立博物館
1994-355	特別展 江戸四宿		特別展 江戸四宿実行委員会
1994-356	近世きもの万華鏡—小袖屏風展図録		国立歴史民俗博物館
1994-357	近世の武家社会		国立歴史民俗博物館
1994-358	描かれた祭礼		国立歴史民俗博物館
1994-359	映像と生涯学習 博物館		(財)下中記念財団
1994-360	田子・山千寺の民俗		長野市誌編纂委員会民俗部企画調整部 企画課市誌編纂室
1994-361	茅野 第38号	創立20周年記念号	茅野市郷土研究会
1994-362	港郷土資料館館報 12		港区立港郷土資料館
1994-363	山と博物館 第39巻 第8号		大町山岳博物館
1994-364	博物館準備だより No.156		相模原市教育委員会博物館建設事務所
1994-365	三郷文化 49		三郷村教育委員会
1994-366	四日市市立博物館常設展示図録		四日市市立博物館
1994-367	北方民族博物館だより 第14号		北海道立北方民族博物館
1994-368	北海道立北方民族博物館研究紀要 第3号		北海道立北方民族博物館
1994-369	あそび・ゲーム・おもちゃ		北海道立北方民族博物館
1994-370	あかり その変遷		金箱正美
1994-371	日本大学獣医学部資料館 資料館報 No.3	第8回特別展図録	日本大学獣医学部資料館

寄贈図書目録 1995年

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1995-001	博物館準備だより NO. 160	酒	相模原市教育委員会博物館建設事務所
1995-002	自然史博物館だより NO. 15	動くナウマンゾウの母子	倉敷市立自然史博物館
1995-003	自然史博物館だより NO. 16	勘三郎洞窟	倉敷市立自然史博物館
1995-004	山と博物館 第39巻 第12号	年頭の槍ヶ岳にて	大町山岳博物館
1995-005	大隅流の建築	柴宮長左衛門矩重伝	矢崎秀彦・伊藤富夫
1995-006	ECOMUSEUM	エコミュージアムの理念と海外事例報告	(株) 丹青研究所
1995-007	Museum Date NO. 27	移動博物館・移動美術館	(株) 丹青研究所
1995-008	港区立港郷土資料館だより 第26号	特別展 下町の考古学	港区立港郷土資料館
1995-009	長野市立博物館だより 第30号	アケボノゾウ化石	長野市立博物館
1995-010	たてはく 第11号	かもしか園騒動記	富山県 [立山博物館]
1995-011	博物館研究 Vol. 29 NO. 12	新設博物館施設概要	(財) 日本博物館協会
1995-012	地域文化 NO. 31	ながの -アスペンミュージックフェスティバル	「地域文化」編集室
1995-013	藤村記念館だより 第74号	落成記念日講演会「女したたかに美しく」	藤村記念館
1995-014	北方民族博物館だより 第16号	木偶	北海道立北方民族博物館
1995-015	山と博物館 第40巻 第1号	冬の遠見尾根	大町山岳博物館
1995-016	博物館準備だより NO. 161	アリヅカムシ	相模原市教育委員会博物館建設事務所
1995-017	れきはく NO. 34	特別展「郷土人形と玩具」	石川県立歴史博物館
1995-018	伊那谷の自然 第57号	伊那谷自然友の会10年の歩み	伊那谷自然友の会
1995-019	総社市埋蔵文化財調査年報 4	平成5年度	総社市教育委員会
1995-020	わたしたちの村、戸隠 -水と大地のシンフォニー		田辺智隆 宮下英子 坂本満
1995-021	地質化石館だより NO. 22	大成功だった・戸隠化石まつり・94	戸隠村地質化石館
1995-022	豊科近代美術館報 第1号	平成四年度	豊科近代美術館
1995-023	豊科近代美術館報 第2号	平成五年度	豊科近代美術館
1995-024	あなたと博物館 NO. 81	信濃の陶器展	松本市立博物館・民俗資料館
1995-025	博物館研究 Vol. 30 NO. 1	新春所感	(財) 日本博物館協会
1995-026	博物館実習報告 第10号		お茶の水女子大学学芸員課程委員会
1995-027	日本議会政治の歩み特別展第2回展示目録	帝国議会の開設から明治末年まで	憲政記念館
1995-028	地球のしずくたち	スミソニアン博物館所蔵の鉱物と宝石	ジョン・サンブソン・ホワイト
1995-029	長野県立歴史館 常設展示図録		長野県立歴史館
1995-030	長野県立歴史館だより Vol. 1		長野県立歴史館
1995-031	いま博物館で 創刊号	諏訪市博物館ニュース	諏訪市博物館
1995-032	三郷文化 51	1995冬	三郷村教育委員会
1995-033	山と博物館 第40巻第2号		大町山岳博物館
1995-034	日本の自然地域編 4 中部		貝塚爽平・大場秀章 ほか
1995-035	今日からはじめるバードウォッチング		松田道生・徳永歴亜
1995-036	野鳥を読む		松田道生
1995-037	春日部ゆかりの文人たち (二)	近代の作家・俳人たち	春日部市郷土資料館
1995-038	資料館だより NO. 90	最近収集の民俗資料	茅ヶ崎市文化資料館
1995-039	博物館研究 Vol. 30 No. 2	(財) 日本博物館協会会長就任にあたって 徳川義寛	(財) 日本博物館協会
1995-040	鳥の形とくらしII	あしのはたらき	我孫子市鳥の博物館
1995-041	長野市立博物館紀要第2号	1994	長野市立博物館
1995-042	世田谷区立郷土資料館資料館だより No. 22	近世の絵画展	世田谷区立郷土資料館
1995-043	近世の絵画	館蔵	世田谷区立郷土資料館
1995-044	緑山美術館 VOL. 5	大地震の不安	(財) 緑山美術館
1995-045	長峰遺跡	平成三年度県ほ場整備事業丸山地区に伴う 緊急発掘調査	原村教育委員会
1995-046	雁頭沢・下原山茂佐久保遺跡	平成四年度県住宅建設に伴う 緊急発掘調査報告書	原村教育委員会
1995-047	御射山遺跡 (第4次発掘調査)	配送センター建設に伴う 緊急発掘調査報告書	原村教育委員会
1995-048	恩膳西遺跡 (第4次発掘調査)	堆肥センター建設に先立つ 緊急発掘調査報告書	原村教育委員会
1995-049	阿久遺跡 (第7次発掘調査)	平成5年度範囲確認調査報告書	原村教育委員会
1995-050	動く映像とミュージアム No. 16	映像と生涯学習 博物館リニューアル	動く映像とミュージアム編集委員会
1995-051	図解山城探訪諏訪篇		宮坂武男
1995-052	長野市立博物館だより 第31号	長野県から恐竜の足跡化石発見	長野市立博物館
1995-053	富士見町博物館だより 第1号		富士見町高原のミュージアム ほか

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1995-054	山と博物館 第40号 第3号		大町山岳博物館
1995-055	自然博物館だより Vol.13 No.1		和歌山県立自然博物館
1995-056	博物館ノート No.38	下平のどんと焼き	(財)日本のあかり博物館
1995-057	死	宮崎学 写真集	宮崎学
1995-058	生命 5	ヒトがサルと別れた日 ヒトは何処へいくのか	NHK取材版班
1995-059	瑞浪市化石博物館 20年のあゆみ	1974-1994	瑞浪市化石博物館
1995-060	瑞浪市化石博物館研究報告 21	BULLETEN OF THE MIZUNAMI FOSSIL MUSEUM	瑞浪市化石博物館
1995-061	大自然の不思議 鳥の生態図鑑		石田健 ほか
1995-062	大自然の不思議 動物の生態図鑑		今泉忠明 ほか
1995-063	大自然の不思議 昆虫の生態図鑑		青木重幸 ほか
1995-064	森の博物館		稲本正
1995-065	城山の自然とともに	富山市ファミリーパーク開園10周年記念	富山市ファミリーパーク
1995-066	グルーミング Vol.5-2		(財)富山市ファミリーパーク公社
1995-067	西湖の横穴墓	平成6年度企画展	秦野市立桜土手古墳展示館
1995-068	秦野市立桜土手古墳展示館だより Vol.8		秦野市立桜土手古墳展示館
1995-069	秦野市立桜土手古墳展示館だより Vol.9		秦野市立桜土手古墳展示館
1995-070	ハーモニー No.9	共に生きる	兵庫県立人と自然の博物館
1995-071	薫 I	ものと人間の文化史	宮崎清
1995-072	薫 II	ものと人間の文化史	宮崎清
1995-073	ちの町史		竹村美幸・伊藤岩弘・細田貴助
1995-074	図説高島城と諏訪の城		浅川清栄
1995-075	大石の民俗	長野市民俗文化財調査報告書 1	長野市立博物館
1995-076	葵 No.19	徳川美術館だより	徳川美術館広報課
1995-077	伊那谷の自然 第58号	伊那谷の活断層と地震	伊那谷自然友の会
1995-078	富士吉田市歴史民俗博物館展示解説		富士吉田市歴史民俗博物館
1995-079	富士吉田市博物館だより No.4	富士講の御身披	富士吉田市歴史民俗博物館
1995-080	博物館準備だより No.162	モノに対する思い入れ	相模原市博物館準備係
1995-081	博物館準備だより No.163	植物とのふれあいを	相模原市博物館準備係
1995-082	博物館研究 Vol.30 No.3	金剛界曼荼羅	(財)日本博物館協会
1995-083	Report 10	大磯町郷土資料館だより	大磯町郷土資料館
1995-084	Report 11	大磯町郷土資料館だより	大磯町郷土資料館
1995-085	人と自然 第3号		兵庫県立人と自然の博物館
1995-086	人と自然 第4号		兵庫県立人と自然の博物館
1995-087	厚木市荻野の動物 I	厚木市博物館資料集	丹沢動物調査団
1995-088	厚木市荻野の植物 I	厚木市博物館資料集 No.2	丹沢植物調査団
1995-089	神奈川県立生命の星・地球博物館 展示解説書		神奈川県立生命の星・地球博物館
1995-090	郷土資料展示室だより No.22		厚木市教育委員会博物館準備係
1995-091	生命 海からの創世 (ビデオ)	NHKスペシャル 40億年はるかな旅 1	NHK
1995-092	生命 進化の不思議な大爆発 (ビデオ)	NHKスペシャル 40億年はるかな旅 2	NHK
1995-093	山と博物館 第40巻第4号	古幡和敬写真展「岳をめぐりて」	大町山岳博物館
1995-094	Let's try 信濃路1		ランス・A・リントナー
1995-095	沈黙の警鐘	信州の自然は今	上島義弘
1995-096	ウィークエンド野遊び冬編		おくやまひさし
1995-097	森の動物・昆虫学のすすめ	森林インストラクター入門	西口親雄
1995-098	地域文化 No.32	小林一茶	(財)八十二文化財団
1995-099	ループルの至宝 (展示図録)		ループル彫刻美術館
1995-100	信州のけものたち		両角徹郎 両角源美
1995-101	信濃路の自然観察		長野県自然教育研究会
1995-102	北上山地の畑作習俗	民俗資料選集 23	文化庁文化財保護部
1995-103	諏訪の自然観察ハンドブック		諏訪教育会自然研究部
1995-104	諏訪神社謎の古代史	隠された神々の源流	清川理一郎
1995-105	弥生の日輪	秦徐福伝説と古代天皇家	飯野孝宥
1995-106	塩尻市史	第2巻 歴史	塩尻市史編纂委員会
1995-107	浜松市博物館だより 47号, 48号		浜松市博物館
1995-108	浜松市博物館だより 49号		浜松市博物館
1995-109	世田谷区史料叢書 第十巻		世田谷区立郷土資料館
1995-110	富樫庶流旗本坪内家一統系図並由緒 (三)	各務原市資料調査報告書第十八号	各務原市歴史民俗資料館
1995-111	浜松市博物館情報 25号 26号		浜松市博物館

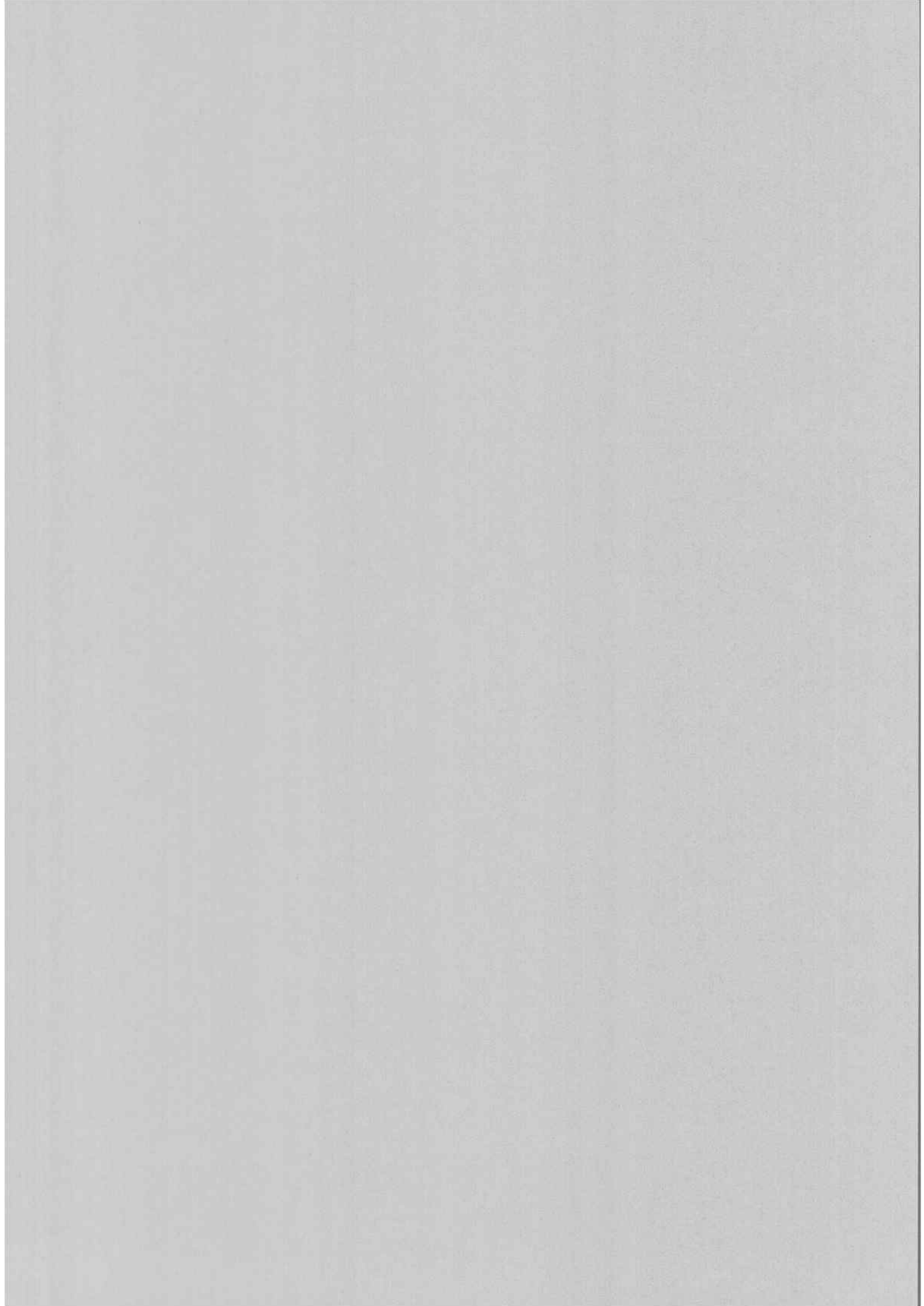
受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1995-112	浜松市博物館情報 27号 28号		浜松市博物館
1995-113	浜松市博物館情報 29号 30号		浜松市博物館
1995-114	浜松市博物館情報 31号 32号		浜松市博物館
1995-115	浜松市博物館情報 33号 34号		浜松市博物館
1995-116	浜松市博物館情報 35号 36号		浜松市博物館
1995-117	地質化石官だより No. 23	地震と防災	戸隠村地質化石館
1995-118	塩尻市誌 別冊	塩尻市の年表 集落の歴史・索引	塩尻市誌編集委員会
1995-119	図説 藁の文化		宮崎清
1995-120	久御山町史 第一巻		久御山町史編集委員会
1995-121	久御山町史 第二巻		久御山町史編集委員会
1995-122	久御山町史 史料編		久御山町史編集委員会
1995-123	理科らしくない理科	生活の理科サロン	小出力
1995-124	微生物で害虫を防ぐ		渡部仁
1995-125	家庭で楽しむ理科遊び		宮田光男
1995-126	諏訪の気象	諏訪測候所50年誌	長野地方気象台
1995-127	日本の野鳥 羽根図鑑		笹川昭雄
1995-128	信濃之国一の宮・諏訪大社御柱祭	玉川・豊平本宮一奉曳記録集 平成4 壬申年	保延又次・永由桃介
1995-129	信濃町立野尻湖博物館博物館だよりNO. 36	第7回陸上発掘おこなわれる	信濃町立野尻湖博物館
1995-130	信濃町立野尻湖博物館博物館だよりNO. 37	全国から330人が集まった第8回発掘まつり	信濃町立野尻湖博物館
1995-131	藤村記念館だより第76号	父藤村の思ひ出と書簡	藤村記念館
1995-132	雨境峠―祭祀遺跡と古道―	立科町文化財調査報告書第5集	雨境峠祭祀遺跡群発掘調査団
1995-133	山と博物館 第40巻 第7号	山の花展開催にあたって	大町山岳博物館
1995-134	藪沢	5500年前の耳飾り製作 ムラ跡の調査	大町市教育委員会
1995-135	写真でみる外来雑草		小島裕子ほか
1995-136	浦幌町郷土博物館報告 第44号		浦幌町郷土博物館
1995-137	博物館研究 Vol. 30 No. 4		(財)日本博物館協会
1995-138	くらしの中のわら製品	博物館資料集 4	浜松市博物館
1995-139	浜松市博物館館報 VII		浜松市博物館
1995-140	資料館だより 第13号	堅穴住居	各務原市歴史民俗資料館
1995-141	各務原市の農村舞台	各務原市資料調査報告書第19号	各務原市歴史民俗資料館
1995-142	板橋区立郷土資料館年報 第7号	平成五年度版	板橋区立郷土資料館
1995-143	信濃の風土と歴史 1	歴史館さんぽ	長野県立歴史館
1995-144	長野県立歴史館たより 1995年春号 Vol. 2	絵図にみる信濃	長野県立歴史館
1995-145	長野県立歴史館たより 1995年夏号 Vol. 3	戦国時代の民衆	長野県立歴史館
1995-146	長野県立歴史館研究紀要 第1号		長野県立歴史館
1995-147	小田原市郷土文化館研究報告 No. 31 (人文科学No. 16)		小田原市郷土文化館
1995-148	がいほうみなみかじやま1984-1992		藤沢市教育委員会
1995-149	藤沢市史資料 第三十九集	六会村関係・町村合併資料	藤沢市教育委員会
1995-150	藤沢市文化財のしおり		藤沢市教育委員会
1995-151	藤沢市文化財調査報告書 第30集		藤沢市教育委員会
1995-152	石川れきはく No.35	真脇遺跡と縄文文化	石川県立歴史博物館
1995-153	あなたと博物館 No. 82	第35回伝統工芸新作展	松本市立博物館・日本民俗資料館
1995-154	愛媛県歴史文化博物館だより 創刊号	愛媛県歴史文化博物館落成式	愛媛県歴史文化博物館
1995-155	美博だより VOL. 28	遠山谷の仮面	飯田市美術博物館
1995-156	美博だより VOL. 29	悪夢のあと	飯田市美術博物館
1995-157	科学館のたより NO. 24	ヤマボウシとその仲間たち	箱根町立大涌谷自然科学館
1995-158	ニューズレター動く映像とミュージアム	第1回自然史映像研究会報告	「動く映像とミュージアム」編集委員会
1995-159	わたしの戦後50年		市民新聞グループ
1995-160	橋津組大庄屋日記 (三)	肥前島原豊州領	別府大学付属博物館
1995-161	一宮市博物館博物館だよりNo. 18	漁の技術史―木曾川から伊勢湾へ―	一宮市博物館
1995-162	一宮市博物館博物館だよりNo. 19	藍華やぐー染めと織り―	一宮市博物館
1995-163	長野県文化財目録		長野県教育委員会
1995-164	長野県指定文化財調査報告 第14集		長野県教育委員会
1995-165	有田川の淡水魚	魚をとりまく環境の変化	和歌山自然博物館
1995-166	東京都の自然 第21号		東京都高尾自然科学博物館
1995-167	キクのなかま	自然観察シリーズ2	東京都高尾自然科学博物館
1995-168	第11回特別展「昆虫の色と形の驚異」	世界の珍虫たち	倉敷市立自然史博物館
1995-169	宇野確雄コレクション(4)	倉敷市立自然史博物館収蔵資料目録第4号	倉敷市立自然史博物館

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1995-170	倉敷市立自然史博物館研究報告第10号		倉敷市立自然史博物館
1995-171	自然史博物館だより No. 17		倉敷市立自然史博物館
1995-172	三郷文化 52	1995春	三郷村教育委員会
1995-173	歴史博物館準備だより Vol. 1		香川県教育委員会歴史博物館建設準備室
1995-174	北方民俗博物館だより 第17号	ナイフ	北海道立北方民族博物館
1995-175	北方民族の船	北の海をすすめ	北海道立北方民族博物館
1995-176	博物館だより 第22号	「一街道の民画一大津絵」を開催	大津市歴史博物館
1995-177	黎明 Vol. 13 No. 1	鹿児島県歴史資料センター黎明館だより	鹿児島県歴史資料センター黎明館
1995-178	藤村記念館だより 第75号		藤村記念館
1995-179	古山のくらしと言ひ習わし	相模原市民俗調査報告書	生涯学習部 博物館建設事務所
1995-180	大島の獅子舞	獅子舞調査報告書第五集	生涯学習部 博物館建設事務所
1995-181	研究報告第4集	変化	生涯学習部 博物館建設事務所
1995-182	神奈川県立自然保護センター報告 第12号		神奈川県立自然保護センター
1995-183	南湖郷土誌	資料館叢書11	茅ヶ崎市文化資料館 南湖郷土誌編集委員会
1995-184	資料館だより No. 99	文化資料館展示物の紹介(考古編)	茅ヶ崎市文化資料館
1995-185	文化資料館調査研究報告3		茅ヶ崎市文化資料館
1995-186	山と博物館 第40号第5号	引っ越しで考えたこと	大町山岳博物館
1995-187	研究紀要 1995.3 Vol.2 Bulletin		富山県[立山博物館]
1995-188	富山県[立山博物館]年報・第4号		富山県[立山博物館]
1995-189	たてはく 第12号	祖師伝図(チベット・マンダラ)	富山県[立山博物館]
1995-190	史跡 平出遺跡		塩尻市立博物館
1995-191	瓦塔物語		はまみつを・竹田幸雄
1995-192	塩尻の遺跡と遺物		平出遺跡考古博物館
1995-193	史跡 ひらいで		平出遺跡考古博物館
1995-194	平出遺跡考古博物館歴史民俗資料館 紀要第11号		塩尻市立博物館
1995-195	古代・中世の祈りの世界	平出遺跡考古博物館ノート8	塩尻市立博物館
1995-196	伊那谷の自然 第59号	伊那谷の活断層と地震2	伊那谷自然友の会
1995-197	桜土手古墳展示館だより Vol. 10	土偶	秦野市立桜土手古墳展示館
1995-198	いま博物館で 第2号	諏訪市博物館ニュース第2号	諏訪市博物館
1995-199	博物館準備だより No. 164	段丘崖の貴重な植物	博物館建設事務所
1995-200	博物館準備だより No. 165	相模原が浅い海の底だったころ	博物館建設事務所
1995-201	長野県埋蔵文化財センター 年報 10		(財)長野県埋蔵文化財センター
1995-202	長野県埋蔵文化財センター 年報 11		(財)長野県埋蔵文化財センター
1995-203	長野県埋蔵文化財ニュース No. 39	長野市和田東山3号古墳の調査	(財)長野県埋蔵文化財センター
1995-204	長野県埋蔵文化財ニュース No. 40	県下初の郡符木簡—更埴市屋代遺跡—	(財)長野県埋蔵文化財センター
1995-205	長野県埋蔵文化財ニュース No. 41	巨礫にビットをうがつ遺構	(財)長野県埋蔵文化財センター
1995-206	赤い土器のクニ	長野県立歴史館開館記念企画展	(財)長野県埋蔵文化財センター
1995-207	博物館研究 Vol. 30 No. 5	「御物」	(財)日本博物館協会
1995-208	山と博物館 第40巻 第6号	上空から見えた都市の表情	大町山岳博物館
1995-209	自然博物館だより Vol. 13 No. 2	タカラガイ	和歌山県立自然博物館
1995-210	歴博 第71号	現代社会と歴史学ヒト、戦いをはじめる	国立歴史民俗博物館
1995-211	「映像以前・映像以後」	博物館・郷土資料館・教育委員会文化財 保護課/生涯学習課100館見学調査レポート	㈱博物館映像学研究所
1995-212	博物館準備だより No. 166	家に映る生活の歴史	博物館建設事務所
1995-213	山梨県立考古博物館だより No. 33	第12回特別展「古墳時代の甲冑」	山梨県立考古博物館
1995-214	山梨県立考古博物館だより No. 34	春季特別展「縄文人のくらし」	山梨県立考古博物館
1995-215	長野市立博物館だより 第32号	善光寺参詣曼荼羅	長野市立博物館
1995-216	愛媛県歴史文化博物館だより 第2号	平成7年度博物館学習講座のご案内	愛媛県歴史文化博物館
1995-217	地域文化 No. 33	あんずの香の庭深いふるさと	(財)八十二文化財団
1995-218	芝新銭座町御高礼物揚場諸事記録	港区の古文書 一	東京都港区教育委員会
1995-219	研究紀要 3	港区立港郷土資料館	港区教育委員会(港郷土資料館)
1995-220	平成6年度港区指定文化財		港区教育委員会社会教育課文化財係
1995-221	港区立港郷土資料館だより 第27号	「大名屋敷の年中行事」	港区立港郷土資料館
1995-222	葵 No. 20	白羅紗地唐獅子牡丹文火事羽織	徳川美術館広報部
1995-223	博物館研究 Vol. 30 No. 6	「人生は戦いなり」グスタフ・クリムト	(財)日本博物館協会
1995-224	市立市川考古博物館年報 第21号	平成4年度	市立市川考古博物館
1995-225	市立市川考古博物館年報 第22号	平成5年度	市立市川考古博物館
1995-226	中部地域における博物館・資料館等リスト	平成6年度版	(財)中部産業活性化センター
1995-227	歴史の道調査報告書XXXX I	女街道	長野県教育委員会

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1995-228	歴史の道調査報告書XXXXII	秩父道	長野県教育委員会
1995-229	歴史の道調査報告書XXXXIII	祢津街道	長野県教育委員会
1995-230	歴史の道調査報告書XXXXIV	杖突街道	長野県教育委員会
1995-231	長野県の民俗芸能	長野県民俗芸能緊急調査報告書	長野県教育委員会
1995-232	ハーモニー No. 10	兵庫県南部地震博物館の取り組み	兵庫県立人と自然の博物館
1995-233	日本産蛾類標本 (米田コレクション)	兵庫県立人と自然の博物館収蔵資料目録 第1集	兵庫県立人と自然の博物館 系統分類研究部
1995-234	MuseumDate No. 29	博物館を再考するー結集、討議のすすめー	榊丹青社研究所情報開発研究部
1995-235	桂川水系を歩く	歴史散歩講座	富士吉田市歴史民俗博物館
1995-236	東京湾変遷模型原図	東京都江戸東京博物館調査報告書第1集 常設展示製作に伴う調査報告1 (大型模型1)	東京都江戸東京博物館
1995-237	ヤミ市模型の調査と展示	東京都江戸東京博物館調査報告書第2集 常設展示製作に伴う調査報告2 (大型模型2)	東京都江戸東京博物館
1995-238	東国の国分寺	国家鎮護の寺々	上田市立信濃国分寺資料館
1995-239	石川れきはく No. 36	銃後の人々ー折りと暮らしー	石川県立歴史博物館
1995-240	松戸市立博物館年報 第1号	平成5年度	松戸市立博物館
1995-241	稲と魚	水田をめぐる漁・猟・採集	松戸市立博物館
1995-242	博物館準備だより No. 167	夏の星座	博物館建設事務所
1995-243	伊那谷の自然 第60号	伊那谷の活断層と地震3	伊那谷自然友の会
1995-244	博物館研究 Vol. 30 No. 7	「若きカフカス人」	(財) 日本博物館協会
1995-245	館報 第3号		春日部市郷土資料館
1995-246	埼玉の歴史	むかし下総 江戸武蔵 今は埼玉春日部市 へくにごかいぐんざかいへ	春日部市郷土資料館
1995-247	美博だより Vol. 27	井村コレクション	飯田市美術博物館
1995-248	美博だより Vol. 30	ガラスの道	飯田市美術博物館
1995-249	飯田市美術博物館 飯田市上郷考古博物館年報 第4号	平成5年度	飯田市美術博物館
1995-250	飯田市美術博物館研究紀要 第5号		飯田市美術博物館
1995-251	伊那谷の造地形史 ー伊那谷の活断層と第四紀地質ー	飯田市美術博物館調査報告書3	松島信幸
1995-252	三郷文化 第53号		三郷村教育委員会・三郷村郷土研究会
1995-253	信州新町化石博物館総合案内		信州新町化石博物館
1995-254	山と博物館 第40巻 第8号		大町山岳博物館
1995-255	Museum Data No. 28	21世紀型博物館をめざして	
1995-256	芹沢けい介ー春夏秋冬ー	生誕100年記念展	静岡市立芹沢けい介美術館
1995-257	長野市立博物館収蔵資料目録 自然5		長野市立博物館分館 茶臼山自然史館
1995-258	長野市立博物館紀要第3号		長野市立博物館
1995-259	長岡市立科学博物館研究報告 第30号		小熊博史
1995-260	長岡市立科学博物館報 No. 66	生物研究発表特別号	長岡市立科学博物館
1995-261	長岡市立科学博物館報 No. 67	平成6年度収集歴史資料	長岡市立科学博物館
1995-262	博物館準備だより No. 68	最終号	相模原市教育委員会博物館建設事務所
1995-263	博物館研究 Vol. 30 No. 8		(財) 日本博物館協会
1995-264	メディアの現在	電子生活入門戦略型録	山根一眞 ほか
1995-265	農耕と文明	講座「文明と環境」第3巻	梅原猛・安田善憲
1995-266	森の標本箱	新しい森の遊び	佐々木孝夫 ほか
1995-267	いきものたちのシグナル		信濃毎日新聞社編集局
1995-268	ビデオ 深田久弥の日本百名山13		NHK
1995-269	自然博物館だより Vol. 13 No. 3		和歌山県立自然博物館
1995-270	伊那谷の自然 第61号	伊那谷の活断層と地震	伊那谷自然友の会
1995-271	博物館研究 Vol. 13 No. 9		(財) 日本博物館協会
1995-272	山と博物館 第40巻 第9号		大町山岳博物館
1995-273	自然史博物館だより No. 18		倉敷市立自然博物館
1995-274	自然史博物館だより No. 19		倉敷市立自然博物館
1995-275	図鑑日本のワシタカ類		盛岡照明 ほか
1995-276	あなたと博物館 No. 83	松本市立博物館ニュース	松本市立博物館・日本民俗資料館
1995-277	あなたと博物館 No. 84	松本市立博物館ニュース	松本市立博物館・日本民俗資料館
1995-278	秦野の文化財 第30集		秦野市教育委員会
1995-279	秦野の文化財 第31集		秦野市教育委員会
1995-280	資料館だより No. 92	ちがさきの仏様①	茅ヶ崎市文化資料館
1995-281	博物館ノートNo. 39	新野の切り子灯籠 ー長野県下伊那郡阿南町ー	(財) 日本のあかり博物館
1995-282	百竹亭コレクション	近代詩歌と美の世界	松本市文化課・松本市立博物館
1995-283	歴博 第72号	現代社会と歴史学民衆の武力	国立歴史民俗博物館

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1995-284	苦難の日々も	国立の戦中・戦後をふりかえる	くにたち郷土文化館
1995-285	書き換えられる歴史像	平出遺跡考古博物館ノート9	塩尻市立平出遺跡考古博物館
1995-286	平出遺跡考古博物館紀要第12集		塩尻市立博物館
1995-287	床尾中央遺跡	平成6年度交通安全施設等整備事業 平出床尾線工事埋蔵文化財包蔵地発掘 調査報告書	塩尻市教育委員会
1995-288	東山・下り坂遺跡	市民いこいの森整備事業に伴う 緊急発掘調査報告書	塩尻市教育委員会
1995-289	たてはく 第13号	霊山巡詣一立山にみる遊・憂・悠一	富山県〔立山博物館〕
1995-290	たてはく 第14号	今蘇る、「別界」のヴィジョン	富山県〔立山博物館〕
1995-291	資料館だよりNo. 93	茅ヶ崎の祭囃子	茅ヶ崎市文化資料館
1995-292	博物館研究 Vol. 30 No. 10	松に鶴と波の屏風	(財)日本博物館協会
1995-293	むらの記録	上植野区有文書からみた近代	向日市文化資料館
1995-294	歴史手帳 第11巻10号	信濃の道	中村安孝
1995-295	歴史手帳 第20巻11号	学芸員問題を考える	白鳥聡
1995-296	歴史手帳 第23巻5号	中世の城・館・まち	白鳥聡
1995-297	長野市立博物館だより 第33号	ようこそ博物館へ 博物館祭	長野市立博物館
1995-298	日本アルプスと近代詩歌	平成七年度特別展	窪田空穂記念館
1995-299	北海道立北方民族博物館研究紀要 第4号		北海道立北方民族博物館
1995-300	大河アムールの民・ナーナイ	アムール民族芸術博物館収蔵資料展	北海道立北方民族博物館
1995-301	北方民族博物館だより 第18号	石版画	北海道立北方民族博物館
1995-302	碌山美術館報 第16号	新収蔵品「農夫」	(財)碌山美術館
1995-303	葵 No. 21	国宝曼珠院本古今和歌集	徳川美術館広報課
1995-304	富士吉田市博物館だより No. 5	歴史散歩桂川水系を歩く	富士吉田市歴史民俗博物館
1995-305	探訪伊那谷の古墳		飯田市上郷考古博物館
1995-306	いま博物館で 第3号	諏訪市博物館ニュース第3号	諏訪市博物館
1995-307	愛媛県歴史文化博物館だより 第3号	夏休みの博物館	愛媛県歴史文化博物館
1995-308	石原後遺跡	総社市埋蔵文化財発掘調査報告 14	総社市教育委員会
1995-309	総社市埋蔵文化財調査年報 5		総社市教育委員会
1995-310	年報	平成6年度	大磯町郷土資料館
1995-311	石川れきはく No. 37	加賀藩主前田斉泰	石川県立歴史博物館
1995-312	松戸市立博物館常設展示図録		松戸市立博物館
1995-313	長野県立歴史館たより 1995年秋号 Vol. 4	信濃における戦国争乱の世界	長野県立歴史館
1995-314	地域文化 No. 34	奇想天外 木曾川	(財)八十二文化財団
1995-315	山と博物館 第40巻第10号	山川雄一郎スケッチ集	大町山岳博物館
1995-316	地質化石館だより No. 25		戸隠村地質化石館
1995-317	ハーモニー No. 11	河川	兵庫県立人と自然の博物館
1995-318	兵庫県立人と自然の博物館 館報1994		兵庫県立人と自然の博物館
1995-319	牧野富太郎と西相模の自然	大磯町郷土資料館秋季特別展	大磯町郷土資料館
1995-320	動く映像とミュージアム No. 18	文化財と動く映像記録 自然史映像研究会	「動く映像とミュージアム」編集委員会
1995-321	阿部光典ゲンゴロウ類コレクション 標本類目録	神奈川県立博物館自然部門資料目録第8号	神奈川県立生命の星・地球博物館
1995-322	特別展図録チョウとガの世界		神奈川県立生命の星・地球博物館
1995-323	信州の地質めぐり		地学団体研究会松本支部
1995-324	信州の歴史と文化	山と平と文学と	信州大学「信州の歴史と文化」編集委員会
1995-325	絶滅野生動物の辞典		今泉忠明
1995-326	大津歴博だより No. 23	近江の古代を掘る一土に刻まれた歴史一	大津市歴史博物館
1995-327	港郷土資料館館報 No. 13	平成六年度版	港区立港郷土資料館
1995-328	古墳時代の飾り馬	馬利用のはじまりを探る	松戸市立博物館
1995-329	お庭焼 初代吉向展	吉向焼須坂開窯150年記念	須坂市立博物館・(財)田中本家博物館
1995-330	港区立港郷土資料館だより 第28号	終戦50年特集号	港区立港郷土資料館
1995-331	藤村記念館だより 第77号	島崎正樹全歌集	藤村記念館
1995-332	一宮市博物館博物館だより No. 20	川合玉堂郷土が誇る近代日本画の巨匠	一宮市博物館
1995-333	北方民族博物館だより 第19号	大河アムールの民・ナーナイ	北海道立北方民族博物館
1995-334	朝井閑右衛門展	画家と文人の集った街から	小田原市郷土文化館
1995-335	ジャの道は蛇	蕨蛇の祭と信仰	世田谷区立郷土資料館
1995-336	世田谷区立郷土資料館資料館だより No. 23	ジャの道は蛇	世田谷区立郷土資料館
1995-337	和歌山県立自然博物館館報 第13号	平成六年度	和歌山県立自然博物館
1995-338	農村と教育		世田谷区教育委員会 生涯学習部管理課民家園
1995-339	天理参考館報 第8号	1994年度	天理大学付属天理参考館

受付No.	書名・雑誌名	副題・特集	著者・編者
1995-340	伊那谷の仏教文化Ⅱ	飯田市と下伊那北部	飯田市美術博物館
1995-341	豊かな歴史遺産を今に活かそう	全史協30年のあゆみ	全国史跡整備市町村協議会
1995-342	浜松市博物館だより Vol. 14 No. 1	モノから見る年中行事ー屋台ー	浜松市博物館
1995-343	浜松市博物館だより Vol. 14 No. 2	モノから見る年中行事ーのぼりー	浜松市博物館
1995-344	黎明 Vol. 13 No. 3	徳川家康下付「異国渡海朱印状」	鹿児島県歴史資料センター黎明館
1995-345	事業概要 平成7年度版	(財)富山市ファミリーパーク公社	(財)富山市ファミリーパーク公社
1995-346	グルーミング Vol. 5-3	ワオキツネザル	(財)富山市ファミリーパーク公社
1995-347	貞享義民を訪ねて		三郷村教育委員会 貞享義民記念館
1995-348	私の足あと		小林充利
1995-349	日本書紀①	新編日本古典文学全集 2	小島・直木・西宮・蔵中・毛利
1995-350	三郷文化 第54号	月と戯れる	
1995-351	諏訪神社上社神長官守矢家文書目録		茅野市神長官守矢史料館
1995-352	山と博物館 第40巻第11号	猫の周りに流れる時	大町山岳博物館
1995-353	信濃における戦国争乱の世界	1995年秋季企画展図録	長野県立歴史館
1995-354	Museum Data No. 30	自然史博物館はいま	㈱丹青研究所情報開発研究部
1995-355	「善光寺町」の民俗	長野市誌民俗調査報告書第三集	長野市誌編さん委員会民俗部会
1995-356	博物館研究 Vol. 30 No. 11	愛宕権現図	(財)日本博物館協会
1995-357	クロニク戦国全史		池上・池・小和田・黒川・小林・三木・峰岸
1995-358	博物館の基本	MUSEUM BASICS	Timothy Ambrose/Crispin Paine
1995-359	伊那谷の自然 第62号	伊那谷の活断層と地震5	伊那谷自然友の会
1995-360	伊勢原市立子ども科学館年報	平成7年度	伊勢原市立子ども科学館
1995-361	葵 No. 22	丸木橋図三所物	徳川美術館広報部
1995-362	東京都江戸東京博物館研究報告 第1号		東京都江戸東京博物館都市歴史研究室
1995-363	牟礼越遺跡	大野郡三重町所在の旧石器・縄文時代遺跡	別府大学付属博物館
1995-364	大津歴博だより No. 24	近世大津の画人たち	大津市歴史博物館
1995-365	歴博 第74号	現代社会と歴史学 列島文化の多様性	国立歴史民俗博物館
1995-366	信濃の説話Ⅱ	現代口語訳信濃古典読み物叢書15	駒込幸典
1995-367	柏原の石造文化財		柏原遺跡保存会
1995-368	信州の西洋館		藤森照信 増田彰久
1995-369	郷土の巨匠岩橋英遠展	相模原市立博物館開館記念特別展	相模原市立博物館
1995-370	長野市立博物館だより第34号	特別展「時宗の美術と文芸」	長野市立博物館
1995-371	博物館ノートNo. 40	小布施の油屋	(財)日本のあかり博物館
1995-372	自然博物館だより Vol. 13 No. 4		和歌山県立自然博物館
1995-373	歴博 第73号	現代社会と歴史学 食料不足	国立歴史民俗博物館
1995-374	秦野市立桜土手古墳展示館だより Vol. 11	鏝	秦野市立桜土手古墳展示館
1995-375	秦野の古代遺跡 Ⅱ	寺山遺跡	秦野市立桜土手古墳展示館
1995-376	厚手式土器の故郷	土器でみる諏訪と秦野	秦野市立桜土手古墳展示館
1995-377	厚手式土器の故郷	土器でみる諏訪と秦野	秦野市立桜土手古墳展示館
1995-378	美術館・博物館は「いま」	現場からの報告24	湯本豪一
1995-379	続 美術館・博物館は「いま」	機構・運営の理想と現実	湯本豪一
1995-380	信濃の現代版画Ⅲ		須坂版画美術館
1995-381	博物館研究 Vol. 30 No. 12	平成7年度新設博物館施設概要	(財)日本博物館協会
1995-382	十返舎一九 信濃紀行集	木曾街道之記 善光寺草津道之記 信濃紀行	十返舎一九 喜多川月磨 歌川国丸 歌川豊国



平成 17 年度茅野市八ヶ岳総合博物館事業報告

1. 入館者数 4月1日～3月 まで 入館者 13,747人(前年比1,719人増)

2. 企画展

- (1)写真展「スマイレ王国 信州」 4月28日(木)～6月19日(日)
信州のスマイレをテーマに写真約80点を借用し、諏訪及び信州の植物研究の普及に努めることを目的に展示
入館者 2,878人
- ・自然観察会 5月1日(日)
講師 今井健樹、伊東昭介(「信州のスマイレ」著者) 参加者 44名
 - ・ギャラリートーク 5月15日(日) 参加者 38名
 - ・スマイレの標本を作ろう 6月5日(日) 参加者 27名
- (2)特別展「中央本線 茅野・青柳駅開業100年記念 茅野の鉄道」
前期7月30日(土)～9月19日(月) 後期10月1日(土)～12月4日(日)
茅野・青柳駅が開業から100年経つのを記念して、鉄道から見た茅野市の近代化に視点を置き、歴史的な変遷を前期と後期に分けて展示
入館者 3,953人(前期)1,857人(後期)2,096人
- ・展示解説 8月21日(土) 9月11日(日) 10月2日(日) 11月6日(土)
解説者 館学芸員 参加者 計 33名
 - ・講演会 7月19日(月)
講師 笠原 薫(鉄道友の会長野支部副支部長) 参加者 17名
 - ・鉄道写真を撮ろう 10月8・9日(土・日)
講師 樋口公男(諏訪鉄道倶楽部会員) 参加者 4名
 - ・茅野の鉄道史跡を歩こう 10月23日(日)
講師 館学芸員 参加者 12名
- (3)研究・創意工夫展 (市内小中学校 夏休み理科研究・絵画及び工作展)
1月14日(土)～2月10日(金) 入館者 1,127人
市内小中学校10校参加の作品展。出品数232点
- ・工作・絵画部門
 - 茅野市長賞 登内洋輔 (宮川小学校3年) 森の友だち
 - 教育委員会賞 河西裕紀 (豊平小学校6年) ぼくのおりたたみいす
 - 博物館長賞 上條夏菜 (永明小学校2年) つよい大きなひまわり
 - 審査員特別賞 武藤雅人 (永明小学校5年) 縄文のビーナス
 - 武藤 葵 (永明小学校6年) ビーナス&じょうもんの家
 - 長峯美穂 (玉川小学校6年) 折り紙で三角サイコロすだれ
 - ・研究部門
 - 茅野市長賞 宇佐美聡真(宮川小学校6年) おじぎ草の研究
 - 教育委員会賞 山本秋汰 (湖東小学校4年) 植物は夜、ねるのかな?
 - 博物館長賞 小平 航 (米沢小学校6年) 駒形遺跡の研究
 - 審査員特別賞 依田若菜 (米沢小学校5年) 水の汚れを調べよう

3. ふるさと講座

- (1)養川せぎを訪ねて～滝之湯せぎ～
5月21日(土)-講義- 講師:武居幸重 参加者 22名
5月22日(日)-現地見学- 講師:武居幸重 参加者 20名
- (2)養川せぎを訪ねて～大河原せぎ～
8月28日(日)-現地見学- 講師:小池春夫 参加者 75名
9月12日(月)-現地見学- 講師:小池春夫 参加者 33名

(3) 天気予報の仕組み

7月16日(土)-講義- 講師: 松田耕治 (松本測候所職員) 参加者 10名

7月17日(日)-現地見学- 講師: 藤松 淳 (松本測候所職員) 参加者 6名

(4) 北八ヶ岳自然観察会 -坪庭~北八ヶ岳七ツ池-

7月23日(土) 講師: 白鳥保美 参加者 42名

(5) もっと寒天を知ろう

1月21日(土)-寒天工場見学- 講師: 小池春夫 参加者 38名

1月22日(日)-料理実習- 講師: 館職員 参加者 26名

4. 博物館活用指定学級 19学級 470名参加

7月5日	泉野小学校6年	30名	『縄文土器作り』	講師: 尖石考古館職員
9月28日	湖東小学校4年	30名	『坂本養川について』	講師: 笠原郁子
10月6日	北山小学校4年1組	32名	『坂本養川について』	講師: 笠原郁子
10月27日	金沢小学校3年1組	26名	『天草からところてん作り』	講師: 笠原郁子
11月2日	玉川小学校2年4組	38名	『大豆からお豆腐作り』	講師: 笠原郁子
11月8日	宮川小学校4年3組	28名	『坂本養川について』	講師: 大谷勝己
11月9日	永明小学校4年1組	33名	『坂本養川について』	講師: 笠原郁子
11月10日	玉川小学校2年3組	29名	『大豆からお豆腐作り』	講師: 笠原郁子
11月11日	宮川小学校4年4組	28名	『坂本養川について』	講師: 大谷勝己
11月15日	宮川小学校4年1組	28名	『坂本養川について』	講師: 大谷勝己
11月17日	永明小学校4年2組	32名	『坂本養川について』	講師: 笠原郁子
11月18日	永明小学校4年3組	32名	『坂本養川について』	講師: 笠原郁子
11月22日	永明小学校4年4組	32名	『坂本養川について』	講師: 笠原郁子
11月25日	宮川小学校4年2組	29名	『坂本養川について』	講師: 大谷勝己
11月30日	米沢小学校4年1組	34名	『坂本養川について』	講師: 笠原郁子
12月1日	玉川小学校2年1組	29名	『大豆からお豆腐作り』	講師: 笠原郁子
12月2日	玉川小学校2年2組	31名	『大豆からお豆腐作り』	講師: 笠原郁子
1月19日	豊平小学校3年	49名	『天草からところてん作り』	講師: 笠原郁子

5. 古文書解説事業 講師: 細田貴助 (博物館専門委員)

(1) 古文書相談会 4月16日 ~ 10月15日 6回 参加者のべ22名

(2) 古文書解説講座 1月28日 ~ 2月26日 8回 参加者 42名

6. 天体観測室の公開事業

(1) 星空観望 講師: 大谷勝己

北部生涯学習センターで実施 20回予定8実施 参加者のべ136名

(2) 天文講演会 講師: 若宮崇令 (横浜国立大学講師 川崎市少年自然の家職員)

3月17日(金) 「宇宙観の変遷」 参加者23名

7. ロビー体験コーナー 参加者 508名 * 博物館活動発表展年度内の入館者 1,051名

4月9日(土)	はたおり	指導: 博物館ボランティア会員
4月10日(日)	はたおり	指導: 博物館ボランティア会員
4月23日(土)	まゆ人形づくり	指導: 北沢千登勢 (博物館職員)
4月24日(日)	館内スケッチ	
5月7日(土)	はたおり	指導: 博物館ボランティア会員
5月8日(日)	はたおり	指導: 博物館ボランティア会員
5月29日(日)	竹細工-びくを作ろう-	指導: 竹松安治 (茅野市宮川)
6月11日(土)	はたおり	指導: 博物館ボランティア会員
6月12日(日)	はたおり	指導: 博物館ボランティア会員

7月9日(土)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
7月10日(日)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
8月2日(火)	昆虫標本作り	指導：福田勝男(茅野市玉川)
8月3日(水)	昆虫標本作り	指導：福田勝男(茅野市玉川)
8月9日(火)	動物の組木	指導：中村くすみ(茅野市宮川)
8月9日(火)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
～14日(日)		指導：博物館ボランティア会員
8月10日(水)	かや織り	指導：佐藤ミチ子(茅野市豊平)
8月11日(木)	花炭作り	指導：岡野勇二(茅野市北山)
8月12日(金)	小瓶作り	指導：北沢千登勢(博物館職員)
8月13日(土)	ペットボトルロケット	指導：小池春夫(博物館館長)
9月10日(土)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
9月11日(日)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
9月25日(日)	木工-干支作り-	指導：中村くすみ(茅野市宮川)
10月8日(土)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
10月9日(日)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
10月30日(日)	小鳥のえさ台づくり	指導：小池春夫(茅野市宮川)
11月12日(土)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
11月13日(日)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
11月19日(土)	つる細工-リーフ形トレー-	指導：両角源美(茅野市宮川)
11月20日(日)	竹細工-びくを作ろう-	指導：竹松安治(茅野市宮川)
11月12日(土)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
11月13日(日)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
12月10日(土)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
12月11日(日)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
12月18日(日)	しめ飾り作り	指導：平沢忠由(茅野市泉野)
1月7日(土)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
1月8日(日)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
1月29日(日)	ひな人形作り	指導：大久保久子(茅野市宮川)
2月11日(土)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
2月12日(日)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
2月25日(土)	親子囲碁教室	指導：原 充(茅野市玉川)
2月26日(日)	わら馬作り	指導：平沢忠由(茅野市泉野)
3月4日(土)	博物館活動発表展	
～4月9日(日)		
3月11日(土)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
3月12日(日)	はたおり	指導：博物館ボランティア会員
3月18日(土)	植物や昆虫を点描で	
～19日(日)	描いてみよう	指導：茅野靖夫(博物館館長)
3月26日(日)	はたおり(イベント内で実施)	指導：博物館ボランティア会員

8. 岳麓文芸館事業

(1) 「島木赤彦遺墨リレー展」

第一期 6月4日(土)～8月4日(木)

第二期 8月12日(金)～10月10日(月)

第三期 10月18日(金)～12月18日(日)

郷土が生んだ歌壇の巨匠、島木赤彦の没後80年を記念して、文学作品や条幅書簡類などを、未公開の作品を含めて三期に分けて展示

入館者 6,596人 (第一期)2,447人 (第二期)1,937人 (第三期)2,212人

・展示解説 6月12日(日) 9月10日(日) 11月20日(日)

解説者 館職員 参加者 計 76名

- ・現地探訪「茅野の赤彦を訪ねて」 9月4日(日)
講師 北澤敏郎 参加者 33名
- ・講演会 12月11日(日)
講師 北澤敏郎 参加者 60名
- (2)「矢崎虎夫・原天明-水墨画と俳句がおりなす世界-」
平成18年1月9日(月)～平成19年1月20日(土)
- ・展示解説 1月22日(日)
解説者 原 天明 参加者 計 52名

9. 各種事業

- (1) “こいのぼり” あげ 4月13日(水)～5月10日(火)
- (2) 茅野高等学校「総合的学習」の受け入れ(2学年6名) 4月27日から11月9日(7回)
- (3) 市立玉川小学校合唱団の出演による第1回ミュージアムコンサートの実施
12月17日(土) 入館者 445人
- (4) 元旦・博物館まつり 1月1日(日)
一部小泉山元旦登山(約215人参加)
二部博物館まつり(約300人来館)
- (5) 子供放送局の受信

10. 博物館ボランティア活動

- (1) 天文友の会 北部生涯学習センターにおいて星空観測と天文望遠鏡取扱い方学習
- (2) 探鳥会 4月3日(日) 運動公園周辺 17名参加
5月3日(火) 竜神池周辺 20名参加
12月23日(金) 神長官守矢史料館 12名参加
2月11日(土) 諏訪湖周辺 12名参加
- (3) はたおり ボランティア用はたおり機での実演と来館者のはたおり指導
- (4) 山浦の語りべ 「山浦の語りべ」編集
- (5) 自然 茅野市の里山の岩石、植物、昆虫などの調査
- (6) 文芸 拓本収集、文学碑探索、学習会など文芸に関する調査研究

11. その他

- (1) 博物館協議会
- (2) 博物館専門委員会
- (3) 博物館・文化財課だより「八ヶ岳通信」第24号発行
- (4) 博物館学習会員 263名受付
- (5) 紀要発行

博物館協議会委員名簿

<平成17・18年度>

委員長	篠原敬博	副委員長	飯田美智子
委員	丸茂伊一	委員	津久井英晴
委員	湯田坂正一	委員	両角井文雪
委員	佐藤礼和喜	委員	今五味
委員	松田石		
委員	仙		

八ヶ岳総合博物館専門委員名簿

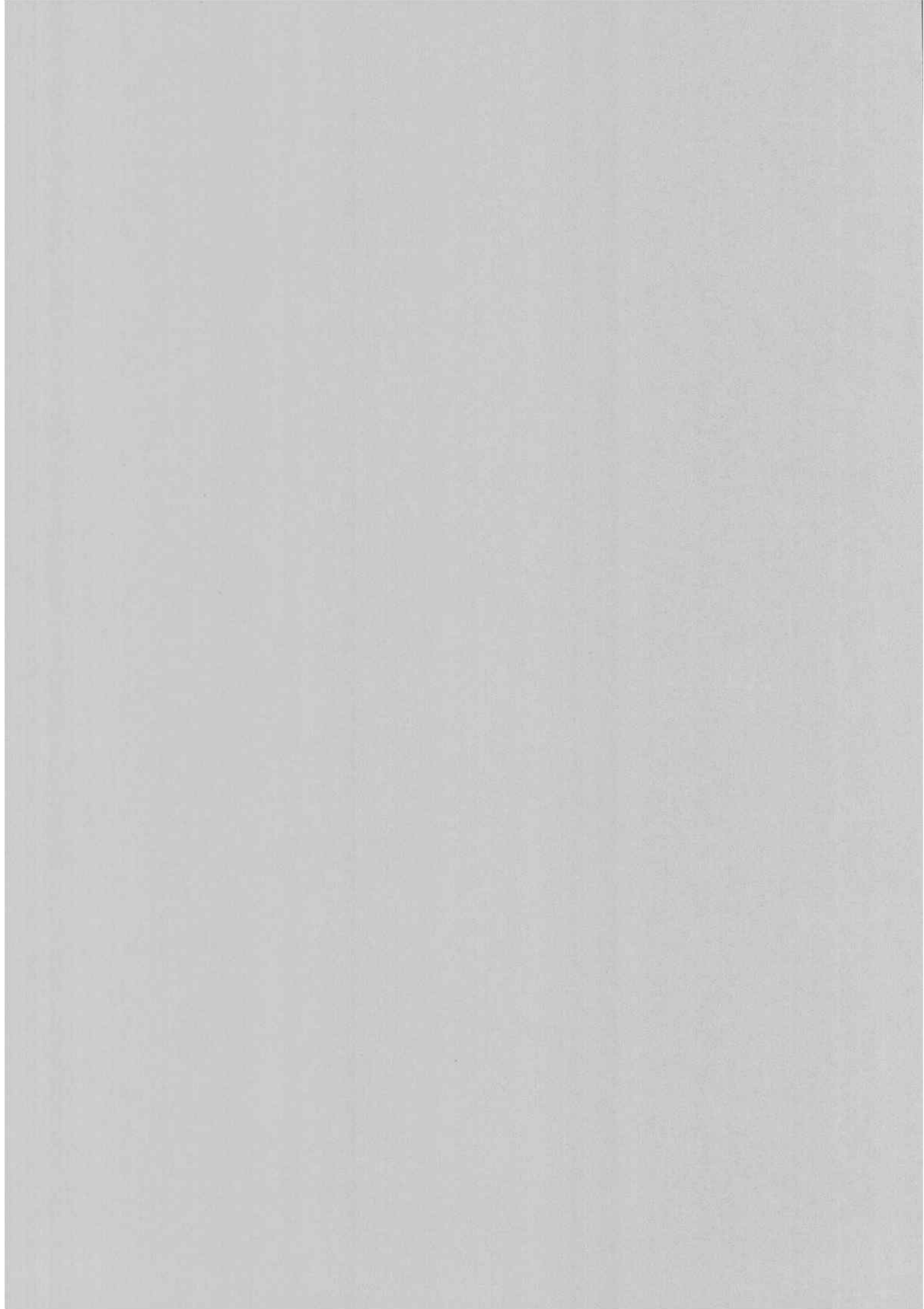
<平成17・18年度>

自然(動物)	下	山	良	平	自然(天文)	今	井	文	明
自然(植物)	岩	波		均	自然(陸水)	浜			篤
人文(歴史)	細	田	貴	助	人文(民俗)	牛	山	市	弥
人文(民俗)	牛	山	圭	吾	人文(文芸)	北	澤	敏	郎
人文(文芸)	篠	原	圓	平	人文(文芸)	原			充

八ヶ岳総合博物館職員名簿

館長	小池 春夫 (4月1日～9月30日)
	茅野 靖夫 (10月1日～3月31日)
係長	宮坂 和登
主任(学芸員)	大谷 勝己
主事(学芸員)	笠原 郁子 (神長官守矢史料館兼務)
臨時職員	吉田 一雄
臨時職員	北澤 千登勢
臨時職員	長田 ひろ子

The first part of the paper discusses the importance of understanding the cultural context of the research. It highlights the need for researchers to be sensitive to the values and beliefs of the communities they are studying. This is particularly important in the field of education, where cultural differences can significantly impact learning outcomes. The paper then moves on to discuss the challenges of conducting research in diverse cultural settings. It notes that researchers often face difficulties in establishing rapport with participants and in interpreting their responses. To address these challenges, the paper suggests several strategies, including the use of local researchers and the development of culturally appropriate research instruments. The final part of the paper discusses the importance of ethical considerations in cross-cultural research. It emphasizes the need for researchers to obtain informed consent from participants and to ensure that the research is conducted in a way that respects the dignity and rights of all individuals involved.



病気になるまでして、それでやめてその時に同僚でいた先生が郡視学で、それじゃ広丘へ来いというので教員に戻ったとこういうことだ。そこでまた今言ったような恋愛事件を起す。しかし赤彦は桔梗ヶ原の二年というものはすっかりまた歌が新しく変わったんだ。恋愛ということはそういう面で道義的で言えばそれはまづいかもしれないけれども、赤彦のためには一時進展、そこで変わっちゃった。相当変わっちゃった。それでまた結局は最後のように赤彦のよさつてものはまた一皮向けて、だから恋愛は赤彦にとつては道義的にいえばいろいろ言われるかもしれないけれども、よかつたところということがいえるんじゃないかな。そうしてその恋愛のこれはかなり手紙のやり取りでね、相手だって長生きをして、赤彦がやった手紙なんか持つてゐるんだ。それを戦後、赤彦は大正十五年に死んじゃつたけれど、戦後まで持つていてそれを本に表しているんだ。静子は。そうだからどんな手紙が行つたか、みんな分かつちやつた。戦後は秘密にするわけにはいかない。赤彦は秘密にしておきたかつた。まあ『火切』なんだから、切火というのはその恋愛の火を消すために渡つたではないかという説があるが、私もそれに近いな。そうでなければなんであんな所へいつたかわからない。すすきの島へね、教員になりたいって言つたことも赤彦は言つたらしいけど、それも否定できない。そうして東京へ帰つてきた。赤彦は八丈島へは、やっぱり好きな人と女性があつたり、追つかけて来るんだ東京まで。赤彦っていう人はね、やはり非常に歌も上手いし教育者だけれども、人に好かれる女性に好かれるっていう人らしいね。魅力があるんだな。魅力がある。そういう風に言つたほうがいいんだね。

鍛錬道つていつてほんとに鍛えに鍛えて勉強して努力したがそれだけ立派になつた。同じよく比較される斎藤茂吉。これは天才。今まで誰も歌つたことのないような様子をばんばんと歌つてゐる。そして第一歌集のあらたまなんていうのは当時出たときに、みんなが一般の歌会だよ、あのアララギばかりじゃない他の人だつて皆びつくりして、すごい歌だつた。第一歌集で一番早く名前が出ちやつた。天才。茂吉は天才、赤彦は努力の人。まあ私の歌はあつちこつちで、申し訳ないけれども、まあそんなとこだないくら平々凡々、もう時間。ちやうど十分ばかりあるけど、もう過ぎたかな。さて、それじゃ、私の知つてゐる事はお話するが、知らない事は知らない。(質疑無し)

〔進行係より〕

それでは最後になりますが、赤彦の肉体的な面、赤彦らしさという事を付け加えていただいて終わりにしたいと思います。

私はほんとに赤彦について、親父からもうちよつと聞いとけばよかつたけれども、あるとき赤彦があんなに偉くなるとは思わなかつたつて一言いつたかなあ。つまり師範学校の時からの交わりで、一生死ぬまでも仕えていたんだが、やつぱり死んでからあんなに偉くなるとは思わなんだ。天才ではないが、鍛錬努力の人だなあ。

それからやつぱり人間として、小さいときはごたごたつたけれども、やつぱり鍛錬に鍛錬をして、人間ができてたんじやないかなあ。それからさつきも言つたが、やつぱり恋愛事件もひとつだな。思い切つて大胆とい

えば大胆だが、たとえばだよ、いよいよ東京へ乗り込んでいくと、郡視学やめて、四月の始めだ。東京へすぐ行くと思つたら、長野へ回つて、軽井沢で彼女と泊まつてゐる、宿屋で。ということははつきり関係があつた。それから彼女とはどうも彼女の歌集を見ると、歌集のもようでは子供があつたらしい。それは闇になつたけれどもね、生まれてはこなんだけれども、どうも子供がいた。それは彼女にはつきり幾つかの事が、私が言つてゐるじゃなくて、つねに研究家が言つてゐる。歌集で、そういう。子供までゐる、それをおろしたか、流産か知らんけどね。だからよつぽど力をいれていて、いずれは彼女と一緒にゐるといふことも言つてゐるんだよ、赤彦自身が。そういうのが残つちやつてゐる。それは彼女が残した。まあ切つても切れない縁だつたかもしれないし、まあそれが赤彦を偉大にした一つだろうな。

単に女だから、女性に魅力があるつていう薄っぺらなものではなくて、しんのそこから彼女を愛してゐたのかもしれない。しかし表向きはやつぱりどうしても切火だよ。きらなきや。それはおつたらしい。まあ人の気持ちの奥深くまではわからないけれどもね、かなりそういう面があつたんじゃないかと思うね。まあ偉大なる人でしょねえ。常人ではない。単なる努力家でもない。やつぱり心の広いそういう人だつたかもしれない。私は本当に少年の時代でね。一度も会つた事無いから、そういうものを通して、親父の話をそれもちよいとばかり聞いたぐらいでね、いけないけれども、そんなところで以上で話を終わります。(拍手)

あつた。ほんとに知らない人でも風貌で察知をしたんだね。そうして旅館へ連れて行つて歌会をやる。それから次の日に湖水へ行つて舟に乗つて遊ばせる。それでヒムロやそういう人たちが大勢はじめて合つた。そうして終つた後で左千夫を連れて志都児は北山へ上つた。そして今の親湯、親湯と書いて親湯ね。なにか志都児とそのうちと親せきと聞いたから、そんな関係もあつた。あそこで幾晩も泊まつて、左千夫はね。そうしてそこで歌を作つて、その時に作つた歌が蓼科詠というので十首ばかり、そして書いて、今度は温泉が終つて幾日かいて志都児のうちに泊まつているんだ。その時にその蓼科の歌十首ばか、それは今大事にして市の文化財に、まあ私が主だけれども文化財に申請して、それも目玉のひとつかな。そういうようで志都児がいるからそれで四回から五回来ているんだ。左千夫は。それでいつでも志都児のところの、泊まる所はそこ。だから左千夫とその関係とは来てくれたあるいはヒムロ同人たちがみんな弟子になつたのはその手引きになつたのは志都児ということになるな。左千夫がこれだけ指導してくれたのは、ヒムロのためにもよかつたけれども、志都児のおかげということになるかもしれないな。まあそれもアララギが九十年で終わつちやつた。これは九十冊で終わつちやつた。そして今は四つに分裂して同じアララギで主義主張は全く同じ。写生道だ、叙述だ。他の派もいろいろある分れなんでもいいことを分かれちやつたんだ。残念だけれども九十年で終巻。まあその後、私は今さっき言つた宮地先生の「新アララギ」、そういうような全国で二番目に大きいかな、何千人いるかな、まあ私もその一員ということになる。それからまだいろいろ言いたい、

赤彦のもう一面だが、童謡集がある。第一童謡集、第二の童謡集、第三の童謡集。私どもは小学校のとき副読本として読んだ。今でもね、下諏訪の赤彦記念館で童謡を小学校の生徒から全国の大人にかけて募集して毎年その童謡集を募集して作っている。だからその脈々として、そういういいものを今でも赤彦を慕う童謡ということ、私どもは今言つたように小学校の時に昭和童謡集を読んで、副読本だな。そのひとつにね、これは今その童謡集の選をね、私ももういやだつて言つて頼まれて毎年やっているんだが、その選を選者の一人としてやつたら、今日はね、その一つで貰つたものだが、貰つたもので有名なものがある。赤彦が書いたもの、これはコピーだがね。諏訪の殿様つて題だな。諏訪の殿様ばたも好きで、宵に九つ朝七つ、二つ残して袋に入れて、馬に乗るとばたと落とし取るにや取られず捨てるにや惜ししそこで家来しゅ皆目をつぶる家来まなこはつぶりもしょうが木の上のからすの目はつぶられぬ屋根にからすが見てござるとある。それは私は選者のお礼として三枚もらつた。だからこの一枚はこの館へ寄付するで、館長さんまたよかつたら、コピーだけど、もちろんコピーと決まっているけれども、よかつたらいつかの時にまた。これは余分があるからここへ寄贈します。そのいきさつも書いてあるかな。

それからもうちょっと時間があるから一言あるところだな。八丈島へ、東京に行つてからだよ、なぜ八丈島へ行つたか、今でも分からない。説がある。あそこでもう一度教員をやろうと思つた。あの、八丈島でそれはどうか。もう一つはこれはかなりしつかりした、あそこで作つた歌を『切火』とした。歌集の名前

を。切火とはなんだろう。おそらく火を切る、火というのは桔梗ヶ原の学校、広丘小学校だな。その時に恋愛事件があるわけ。それは赤彦が校長で行つた時に、たまたま女子師範を出た娘が、その恋愛の相手、これは牛屋という今でもある、その広丘の牛屋という大きい家に赤彦が下宿をする。そうすると女子師範を出た静子もその牛屋へ泊まるんだが、それは場所は庭のほうに離れがあつて、そこで自炊。けれども毎晩のうちに赤彦を訪問して歌を教わつたりしているうちにいわゆる恋愛の気持ちになつた。それがなかなか赤彦も歌にも作っているし、そのうちに職員やあるいは村の人たちにもそういうことが分かる、まあ恋愛がいけないわけではないが、立場上やつぱり校長と女子職員の恋愛ということ、かなり赤彦は堂々としていたけれどもやつぱり村の人達や職員がまずい事もあるんだな。けれども赤彦はそんな時はもう子供もこつちに置いて一人でやっているからで、子供だつてかなり大きくなっている、そして幾人か子供があるからね、まあそういうことは赤彦は苦にしない。結局ねえ、苦にしないけど、やつぱ苦にしたんだ。それでこの学校をやめちゃう。これはしょうがないかなあ。

前にいた玉川小から高島の学校へ転任の時には、岩垂今朝吉先生のとこへ行つた時は教頭だな。校長じゃないよ、まだ教頭だ。けれどもいろいろの、岩垂先生というのはね、堅物でしかし論語はできるし、学問はうんとした人。赤彦は信州的だ、非常に新しい。非常に新しい教育をめざして、革新的だ。だから合わないんだな。それでやめちやつたんだ。そして鶏飼を一年やつていくうちに、鶏飼つたつてほんとに専門じゃないから、結局失敗しちゃつて、みんな鳥は死んだり

教員でいて、また最後は校長でいて三回だ。当時の学校はこんな立派な先生が玉川や高島にいた。まあうちの親父喜重も、うちの親父はだから師範学校に入つたときに、四年生に赤彦がいた。それからだ。ずうつと死ぬまで同じ教員の道だから、兄貴として仕えた、兄事（けいじ）つていうんだがね。親父の関係だけれども、そうして米沢小学校二年のときじゃないかな、師範学校出て。お袋いなかったから、早く死んだからって親父ができればずっと諏訪の地でと嘆願に行つたそう。師範学校へ。そうしたら米沢小学校、芹ヶ沢のうちだからすぐ近くでよかつたが、そこに二年いた。その時にもう玉川に來た赤彦が、両角君來ないかといつてひつぱつた。玉川に來ないかといつてほれじゃあといつたわけだね。師範学校からの友達だからね。そうして親父も歌を勉強する。俳句も岩本から勉強する。そうして、その玉川で一番大事なのは彌牟庵だ。いわゆる彌牟庵というこれがあるわけ。たまたま宿直室にねむの木があつたので、それで彌牟庵歌会といつて、その岩本木外や赤彦や親父の両角喜重、雉夫つていうのはさつきいつたが赤彦がつけてくれた号だが、それから北山から幾人か來て、両角竹舟郎、両角福とか、篠原志都児とかそれから村の青年、そういうものがその宿直室へもちろん放課後だね、夜になるけども、その彌牟庵歌会と言つてそういう歌会をやつたわけ。そのことが非常によかつた。息が合つた。親方は木外。木外は先輩だから、年がな。木外は俳句をやり、赤彦は短歌をやつて指導する。そのことはあそこ展示室に私が歌碑彌牟庵跡碑というので大きいので書いてあるから、石刷りであるから、それを読めば誰がどんな事をしたかわかるし、もつと詳しくはヒムロやいろいろな参考書

に彌牟庵のことが書いてある。まあそうしてそこでヒムロという雑誌を出した。だから内容は短歌と俳句なんだ。そうしたらそれから半年後だよ、東京で伊藤左千夫が馬酔木、その次にアララギを発行した。だからヒムロよりも半年遅れてアララギが伊藤左千夫。そうしたらヒムロの人たち同人達は、会費も住所も全部左千夫のそこへ送つて全く統合したわけ。東京のアララギの方が半年後だよできてから、それでも先生は伊藤左千夫。伊藤左千夫はその前からヒムロの指導もしていた。それがよかつただな。それだから同じ先生だからそれではひとつになつてもいい、赤彦もそう思つたわけである。財産も会費も全部入れて一緒にやりましょう。こうやつてだからヒムロというのはそのヒムロの彌牟庵跡が先だからして、そういうことがアララギの一番元をなしたのはやつぱりここだと。今ヒムロというのはそのとき統合して無くなつたが、戦後森山汀川が戦後のいろいろの事情でできなくなつたからして、別に全国にその地区地区の歌会を作つた。そして汀川がやはり土屋文明の名前で、土屋文明が森山汀川、おめえやつてくれと、甲信越のヒムロ達だ。今でも信越や甲州の人も入つてゐるが、そこで氷室という歴史をそこで書いてゐる。アララギのそれではなぜアララギの左千夫がヒムロの指導してくれるかという事をひとこと言わなきゃいけない。

湯川に篠原圓太、これが志す都の児と書いて志都児とよむ、もちろん男だよ。その孫が篠原圓平先生、それは健在でゐる。そのおじいさんが篠原志都児。それは私ももちろん知らないけれど、うちの親父なんかもよく知つてゐるけれども、それもさつき言つた彌牟庵歌会に來ていたんだ。そして左千夫にも歌を見てもら

つていた。そうしたところが篠原圓太、つまり篠原志都児は戦争で従軍するわけ、その従軍する時に左千夫も知つてゐてその時に励ましの歌なんかも幾つか作つて、志都児にやつた。そして志都児は満州、朝鮮のちよつと満州だな、戦争に参加したけれどもすぐのようだな、ほとんど戦闘はしななでしよう。脚氣になつて帰されちゃうわけ。そうして東京の陸軍病院へ入院する。そうしたら左千夫が志都児の見舞いに、それはこつちにいるときにすでに篠原志都児の立派な事を歌で知つていて、それから戦争の時には、出兵の時には激励をした手紙や書いたものや歌をやるなどを、よく左千夫の頭の中にあり、陸軍病院へ來た時に真つ先に見舞いに行つた。それに感謝して、それも脚氣だから案外早く治つたのか、退院になる。そうして退院のときに、すぐにうちに帰らないで左千夫の家を訪ねて三日ばかりいたらしい。その時によくよくほんとの弟子になつたということでしょうかね。まだ赤彦たちは左千夫とは指導は受けたが、行き会つていない。まつきに左千夫と會つたのは志都児。そういうことで左千夫と志都児の関係はこれは一般に愛弟子と言つてゐるとおり、本当にかわいがつて指導した。そして三日ばかりして自宅に歸つて來る。そしてまもなく左千夫が諏訪へ遊びに來るわけだが、初めて。それは志都児がいたから。そこで諏訪の歌会をやつたり湖で遊んだり、それはおそろく左千夫がいかに愛弟子として愛していたか、赤彦はそのときに初めて會つてゐるんだ。そうして上諏訪へ來たら赤彦は知らないで、出迎えていたけどわからない、馬車が來からどうも馬車に乗つてゐる人が左千夫ではないかと声を掛けたら左千夫で

岩垂先生の風貌を見てください。ひげを作って、いつでも着物で、懐が大きいから懐へ本を入れて通った。着物で袴で。たまたま私の親父両角喜重がその下にいて、高島小学校で、諏訪の湖南小学校の校長になったのが、二十九歳かな。うちの親父が高島へ来て、岩垂先生の下に来た。

今度は校長ではなく、今で言うなら教頭に。しかも、住んだうちが、岩垂先生のうちと長屋で隣だった。私が三つ四つくらい。ちょうど高島のお城の堀の傍らに長屋があつて、一家そろつてその長屋へ。私はおぼろげながら岩垂先生の風貌を知つたが、これは幸せであつた。そして岩垂先生に、わたしのすぐの妹は、そのふところに抱かれて育つた。そして赤彦が高等科二年を終わると、岩垂先生は育英会という、英才を育てる今で言う塾で育英会に入ることになる。

この大先生に教わつたのは奇縁である。縁というより他はないが、ほんとに幸せだ。赤彦が玉川小学校から転任して、岩垂校長の元に仕えると岩垂校長は、ほんとの生徒の時の野生児にはびっくりした岩垂先生も今度は教員として、こんなによくやるものかと喜んだ。小学校のときはこうで困つたと、弁当の中へは勝手に蛙を入れてみたり。まあほんとにいろいろごたをしたらしいけれども、こんなに変わるのも珍しいと言つて岩垂先生も言つたつていうからそういうだね。赤彦は高等科を終えると今度は育英塾を、これは期間があんまり長くなかつたようだったが、それから今度は泉野小学校や玉川小学校で代用教員をやる。それも元気がよすぎて、浅茅先生は、これじゃいけないということで、下古田の分教所の雇教員をやつた。代用教員をね。そしてその時にまた勉強をみてもらつたんだらう

ね、そして師範学校へ行つた。そういうことで今度は師範学校へ行けば、友達がたくさんいていい友達があつて、歌の勉強ができる。歌もちよつとは、旧派だけれどもね、代用教員時代に親父や友人などが歌を作つていた。旧派の歌だから、ほんとにやつたのは万葉集で、したのは師範学校へ入つてから。そしてそこで万葉の勉強をしたわけだな。そうして卒業をして池田小学校へ北安曇郡の会染学校つて言つたかな、そこでも勿論万葉の勉強をしたけれども、今度は初めて教員と



講演会のようす

してすばらしいことをやる。生徒観察簿、つまり受け持つた生徒の一人一人について成績簿じゃないんだよ、生徒の観察簿である。この子は将来何になるのが一番いいか、特色だけを成績ではなく、そういう生徒観察簿を今では？そういう生徒については、あるいは学校の子どもについては、次に後で行つた桔梗が原の学校でも奨善会といつて、児童に勧めるいわゆる修辭といえは堅過ぎるけれども、やつぱり児童のためにいい言葉を残している。それもすばらしい。つまり教員としてもほんとに、全体としてはわずかだったかもしれないが、非常にいい教育をしている。だから赤彦ひとりではないが前からの信州教育といわれたひとつになるわな、のちに信濃教育会の雑誌の編集をやつた教員としてもすばらしい。それから師範からやつた万葉集、そして池田小学校でたまたま亡くなった生徒の遺憾の歌、万葉流で涙ぐんでるようないい歌を作っている。ここで万葉集と一緒に勉強した。だから教員としては非常に優秀で信州的なんだな、非常に信州的。池田小学校では野球が好きで、野球でよその学校へ出かけて行つてやつたり、運動もやるしまたそういう勉強もする。子どももよくみてやる。亡くなった子どもなんかをいたむ実には有名な万葉調のうた。それから池田小学校に二年いて、玉川小学校へ転任する。これがよかつただな。玉川小学校へきたらちようど同じ年に小井川小学校から岩本木外が転任する。これはもうすでにかなり有名な俳人で、ホトトギスなんかね。のちに子規に会つてるよ。東京へ行つて子規に勉強して諏訪の俳句について一日話をしている。そういうこともあるわけだ。岩本木外、これは俳人。赤彦は、玉川小学校では早く言えば三回目なんだな。代用教員でいて、

りに良い物だし、歌人としても二、三年の経験だけだから。結局、今、茅野市で寒天の間屋をやっている地紙世という今井さん、もう亡くなったが、その奥さんが今井野菊という。これは歌人なんだ。今井野菊さんは私によくよくつきあってくれたし、赤彦の弟子だった。彼女はえらかったぞ。女学校一年の時にアララギに入会して、赤彦に教わっているんだ。それからねえ、四賀でやった赤彦の歌会に野菊さんも参加している。これははいわね。だからして、アララギをおして赤彦の弟子になつていたわけ。そんなことで、なぜ竹内さんが、地紙世、野菊さんに渡したか なぜということにはわからない。竹内さんも余りにも良い物だし、どうしようもなかったじゃないかなあ。そこで野菊さんに渡す。そうして野菊さんはすぐに、「これはただ置いちゃいけない」ということで、それで京都まで出かけていつて表装したのが、今の屏風。それから保管をしていて、大事にして、門外不出にしている。屏風になつて、蔵へしまつておいた。そういうことを私は知っているから、私がこの市の美術館長・初代の館長の私が、赤彦の遺墨展をやりたいとその目玉として今の屏風を今井さんに頼んだら、貸してくれた。これが初めての展覧となつた。今から六十年前のことだった。

もつとも地紙世は私とは遠いけれども親戚になるわけ。今井さんの姪を私の二番目の兄がもらっているわけだ。そんなことで、遠い親戚筋だと言うことで、私も汀川の弟子、野菊さんも汀川の弟子だった。赤彦の弟子でもあったが、赤彦は東京へ行っちゃう。そんなことで私はちよくちよく今井家へ行ったことがある。そして展覧会が終わったときに、私の口から漏れたのは、「こんなにすばらしいものが、もし博物館にあつたら、良い作品だし、宝になるなあ」ということをついで口を滑らしていた。

今の当主の久栄さんが、ずっと何年か頭の中から離れなかつた。そして、あそこの茅野市民館ができたので道を直したりして、あの住宅が動くらしいことで、それではあそこは引越さなくてはいけない、どうしようかと言っているうちに、私をよんで、「北澤先生、あなたにあげる」というわけ。私もそんな物をもらつても蔵はないし、これは困つたなあ。道路計画を進める市長には行き会はないという。それでは、私がもらうということにして、寄贈の名前は今井さんと、岳麓文芸館へお願いしたらどうかといつたら、それならいいと。そこでここへ、それで一昨年に、ここへ、宝として、目玉として、とこういふいきさつである。

いきさつはその程度にして、これから、赤彦のいろいろについて話を進めると、赤彦という人は、教育者として非常に優れている、歌人としてはみんなご存じのとおり。生まれたところは 上諏訪の角間。そこに公園の碑があつてね。そこに、昔は生家があつた。今はなくなつたが、生家は展示の写真にあるから見た人もあるが、非常に粗末なもの。そして、お父さんもずっと、塚原浅茅と言つて、これは廃藩置県になる前はおけ職として諏訪藩に仕えていた。おけ職と言うには桶を作るのだから、ごく貧しい。士族と言えば士族なんだけれど。そんな生家の写真を見てもつましい暮らしぶりわかる。廃藩置県になり教員になつて、この下古田の分教場の先生として、一家転任する。そうして赤彦の、そうね、士族だけれど、もとはやつぱ甲州から来たらしいな。そして、もうひとつのことは、

このうちの家系は、建築の立川流。立川流と言えば、建築、彫刻の長野県ばかりでなく、よその県でも相当知られている。立川義昭も亡くなったけれど、その人も立派で彫刻をやっていたなあ。芸術の家系も、塚原家には流れている。例えば、おけ職で腕が良くてこういうところをカンナをかけて、板と板を合わせるとピタッと付いて離れなかつたというから、だから非常に腕も良かった。そういう家系だった。それで芸術的センスが赤彦にも続いていた。

さて、少年時代の赤彦は、まあ元氣旺盛、野生児、そして、ごた。そして、その当時だから、戦争もあつて、軍人になろうと思つた。今、体験の森なんて言っている小泉山だなあ、毎日のように登つたという。すぐその古田というところから、すぐ登つて小泉山へ。鍛錬のために、軍人になるため、毎日のように登つた。けれども、父は分教場の教員で軍人になることに反対したんだなあ。戦争より軍人より「師範学校へいつてくれや」というように。それは師範学校へ入る前のことだなあ。

学校はどんな具合であつたか。小学校は、分教場では親父から直接教わつた。そして当時は高等科というのは高島学校のほかになかつた。尋常科を終わつた赤彦は、高等科へ行くために、下古田から上諏訪の高島校まで毎日二年間通つた。弁当を持つて。これはえらいことだなあ。まだ中央線は通らない。そうすると毎日通つて行き帰りに、野生児だからごたをする。いたずらをする。まあそういうことを二年間。その時の高島小学校の恩師が岩垂今朝吉。これは大物。諏訪の教育会の非常に大事な人物だ。今回の遺墨展にその写真が私が出してある。見ていただいたと思うが、その

ろから島木赤彦。このころから赤彦という号をよく使うようになった。また、全体が特殊の情景で寂、寥といった方がよいかな。寂寥の世界だ。静かな寂の世界だな。まあ、非常に歌としても今までと違った考え方。そして、この字をご覧になったと思いますけれども、非常に素晴らしい字。本当に、まあ、赤彦の初期、中期、晩期とこういうように見ても、もう最高の歌でこの時が脂が乗った時じゃないかな。そんなふうに字もいい。歌もいいと。もう最高の一連です。『切火』という歌集に出ている。赤彦の歌集は幾冊あったかな。その中の『切火』という歌集にある。そして 五首についてですね。

それでは、どうしてこの館に、そんな屏風がきたかというそのいきさつをちょっと申し上げたいと思います。まあ、今日は赤彦の没後八十年を記念してこの第一期、第二期、第三期まで。若いときと中年と晩年と、まあ晩年と言っても五十歳で亡くなっているんだけど。それをここへ展示をして、六月から十二月まで長期にわたって、来たわけだ。

まず第一にあげたいのは、当館の目玉の一つ。この六曲半双屏風の五首。このものは、天下一品とっていいでしょうね。日本中にないでしょ。これだけの大きいもの、これだけの立派な屏風。歌といい。字もいいね。まあ、値段で言うわけにもいかないでしょうが、私の師事している新アララギの宮地伸一先生は、一千万円は下らないだろうと言っています。

それでは、この作品が何故当館に来たかということをごくかいつまんで、その経緯をお話したいと思います。

赤彦が玉川小学校の校長より抜擢されて、諏訪の郡視学になった。その時のことであるが、諏訪の郡視学と言えど先ほど茅野館長さんからお話がありましたけれども、郡の教育で一番大事な仕事である。もちろん諏訪郡全体の教育あるいは人事そういうような。その時に伊藤左千夫、これも赤彦の非常に大事な先生で教えをいただいた。その伊藤左千夫は、大正二年八月に亡くなっちゃう。そうすると、その頃いた茂吉とか文明とか、特に茂吉はアララギは廃刊したらいいじゃないかと反対をした。ところが赤彦は聞かない。よしそれなら、俺は郡視学の職を投げ打つてものといつて、翌年の四月郡視学の大事な仕事を捨てて、そして上京し、結局は茂吉、文明、麓、中村憲吉とそんな大勢優秀なのがいたのだけれども、それが赤彦を助けて、そしてアララギの発行に努力した。こういういきさつがある。そのことの前に、郡視学の時に赤彦が、豊平小学校、すぐその私もそこへは勤めたことがあります。そこへ授業参観に行ったことがある。郡視学として、その時に、初めて授業担当者の竹内泰比呂先生に会った。これは、アララギの会員を二、三年やって、やめちゃった先生だから、どこの人だか私は知らない。ちょっと調べたけれどわからない。とにかく竹内先生の綴り方の授業について赤彦がいろいろ話したあとで、その竹内先生が赤彦にいくつか歌を書いてもらいたいと頼んだ。赤彦は、「ほんじゃまあ、よしよし」ということで約束をした。

それから郡視学をやめて東京で、アララギをやるようになった。大正三年かなあ。ちょっと諏訪の高木へ帰ったことがある。そのことを聞いて、竹内先生は、もう一度高木へ行ってちょっと会いたい。そして会っ

てみたら、「おうよしよし」といつていろんな話をしてきた。終わりのころ、先生お約束したあの歌を書いてくれないかと言うと、「おうよしよし」と、承知した。竹内先生は上諏訪へ飛んで帰って全紙を十枚買ってきたんだなあ。赤彦が大きい硯を出して、それから竹内先生は墨を擦り、奥さんも来て墨を擦り。とにかく、十枚買ってきた。

それで、赤彦はどの歌を書こうと思ったら『切火』のその年のすずきの歌五首、椿の歌五首だ。すずきの歌と椿の歌と結局十枚書いたんだなあ。竹内先生がその時の様子を文章に残してある。それを見るとね。まあ、すべるようにたちまち五枚書いた。すべるように。一句一句は、生の一匹の魚がぴんぴんとはねているような。私の話しの後にもう一度見てきてくれるといいと思います。素晴らしいですね。

そして ついでに椿の歌も五首書いたから。ちょうど十首になった。残りはバラバラになつてあつちこつちへ行つたらしいがね。それは、わからない。赤彦のうちには一枚残っている。あとの椿の歌は誰かどうかにいったらしい。

そうして終わってから、「こんな大きさというのは初めてだろうと。こんなでかいものは初めてだ」と。そして丁寧に新聞紙にくるんでね、それで渡すわけだ。「こりやまああ、書き初めの書き終わりだよ」と付け加えたという。

さて竹内先生はどうしかたかというと、新聞紙にくるんで五枚持つていったが、さつきいったように、二年か三年くらいでアララギをやめている。だから、赤彦に認められたが、私が調べたところによると、歌は、まあ、ちょっとやったと言うだけだなあ。だからまあ

没後八十年 島木赤彦遺墨リレー展 記念講演会 「赤彦を語る」

日時：平成十七年十二月十一日（日） 午後一時三十分から三時まで
講師：北澤敏郎さん



講師：北澤敏郎さん

るかも

（同じうたの繰り返し）

これは、赤彦が八丈島へ、信州を出て、東京のアララギをやるということでしたが、出てすぐこの八丈島へ渡った訳であります。この時の歌だな。心現なすというの、ぼうつとしたというような感じだなあ。船を降りて。そこはどこだかという真つ青なスキのなかに入ったことであるなあというこういうような心境だね。

いとどしく青美静もる芒の中一人ぼつたり行きとどまらず

（同じうたの繰り返し）

いとどしくは、大変いいという意味でしょうかねえ。ひとりでぼつたりと降りたんだなあ。船から。そこは、真つ青なスキの中へひとりぼつたりと。この一人ぼつたりと言うような言い方が、一つの赤彦の感慨になるのでしょうか。そして、行き留まらずだから、ぼちぼち ぼちぼちとあるいていくというこういう感じでしょうか。

青々し芒の中に一匹の牛を追越しはるかなる道

（同じうたの繰り返し）

ずっと道が続いている。たまたま真つ青なスキの中

に、牛が一匹いたんだね。その牛を追越して、道は遙かに続いている。なんか深閑とした静かなそういう情景でしょうかねえ。

（同じうたの繰り返し）

でかい言い方なんだなあ。背景を言っているんだね。前は、しますすぎ。同じすすぎでも、島にあるすすぎですますすぎという言葉を使っているんでしょうね。いは接頭語だから特別に意味はないけれども、寂しいとしたあおいすすぎの中 さびしむ男。その背景をでかいこというわけ。これで、広々とした大柄な気持ちが聞こえてくる。

すすきの島吾のりて来し一つ船けぶりを吐きて去る

にかあるらし 島木赤彦

（同じうたの繰り返し）

まあ、すすきの五首だな。

すすきの島吾のりて来し一つ船けぶりを吐きて去るにかあるらし 島木赤彦

船が煙りを吐いて去っていくその様子を詠んで、この五首のすすきの歌を完結しているわけだね。だから、船から降りて、ぼうぼうとしたすすぎの中を歩く。そして、最後は、自分の乗った船がまた帰っていくという、こういう歌。島木赤彦と書いてあります。このこ

ご紹介いただきました北澤敏郎でございます。

私の足がもう弱くなつて大変ですので、今日は申し訳ないけれども、座ってお話をしたいと思ひます。

さて、今日は赤彦を語るといふ演題でお話いたします。

一番先にはだねえ。本館の一番の目玉と思われる赤彦の五首の金屏風。これについてまずお話をしたいと思ひます。

まあ、私が読んで、それについて少し解説しようと思ひます。

船を出でし心現^{こころうつ}なし 真青なる芒乃中に入り^{こころうつ}にけ

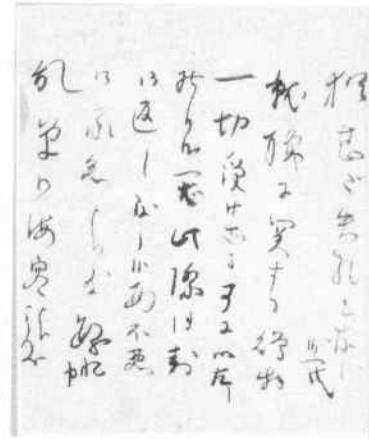
額

・霧あかりかくおぼろなる土の上に

とほく別る人やあるらん

△一期▽

…書簡額 甚だ失礼と存じ候え共…



(赤彦36歳)

(読み下し)

猶甚だ失礼と存じ候え共、就職に関する贈物一切受けざる事にいたし居り候え、此の際同封御返し致し候。□悪しからず御承知下され度く、繁忙中乱御海容下され度く候。

(解説)

就職依頼のお礼を断わる内容 △一期▽

書簡

・封書 「病める友よ」等、4通

△一期▽

・葉書 「今夜は下宿にて」等、3通

△二期▽

「今一つ申して」等、10通

△一期▽

「話し度なつた」等、5通

△二期▽

・「高原君歓迎歌会」等、4通

△三期▽

・絵葉書 「東の雲の」等、2通

△一期▽

「木曾郡紅葉下」 1通

△二期▽



(赤彦34歳)

書籍・冊子類

・歌集『氷魚』他

△全期▽

・研究書、赤彦自著『万葉集の鑑賞及び其批評』

△全期▽

・赤彦についての参考書、20冊

△全期▽

・歌誌『アララギ』創刊号・赤彦記念号・

△全期▽

最終号・新アララギ創刊号

△全期▽

・広丘小奨善会の新校訓・同校職員会誌・

△全期▽

・学校日誌 各1冊、学事報告書 3冊

△一・三期▽

・赤彦小学生時の地理ノート

△一・三期▽

(高島小、中等科3年)

△一・三期▽

・玉川小父兄懇談会談話要項・親のしつけ・

児童嬢方・福島少佐

△一・三期▽

・歌誌『アララギ』原稿

(十一月集・二月集・三月集・四月集) 4冊 △三期▽

その他

・色紙(裏に写真) 1枚 △一・二期▽

・写真 彌牟庵当時の人々の写真等、10枚 △全期▽

特別参考品

・玉川村の歌

△全期▽

・赤彦の肖像画

△全期▽

・正岡子規・伊藤左千夫の書、写真各1枚

△全期▽

・岩垂今朝吉の書、写真

△全期▽

・玉川小学校新築校舎柱立式の写真

△全期▽

※△内は展示期間



赤彦恩師の岩垂今朝吉書

屏風

全期

軸

菜洗う手も□明るみにけり

蓼の丹(に)莖にとけて沁むかな

△
期
▽

△
期
▽

ほろりほろりとたどき知らなく へ一期▽

一期

△
期
▽

日数思ひつつ灯をともしかも

隣のおとのはや聞えおり

△二期▽

^全期^

▼

二人つみつ相恋ひにけり
△一期ノ

ふきよせられし夕光りかな
△二期△

きこゆ山門そとの赤松林
△二期

うしろは椿の木

△二期△

牡丹の冬芽皮をかぶれり
△二期▽

照り輝けど風のすすしさ △二期▽

大君の御馬の前に増荒雄の鉾執ることを幸と思へ

高麗の山もろこしの野辺草枕旅の歌幸君に多かれ

二期△

△二期△
松の落葉はかたよりにけり

さむきにおどろく湯の窓をあけて △三期△

土用の風の吹く音聞けば

まさやかにして浮き雲に似たり

三期△

泥をかうむりて動かぬ魚くつ
△三期△

三日月の影波に映ろふ
△三期△

△三期△

梅雨近くして雲おほくなれり
△二期▽

△二期▽

・夏の夜の朝あけ毎に伸びてある

全期

・詩
湖の向うの草山の

・野の水の遠しらあけに照り残る

君のまたたき草にまじれり 八一 期

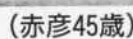
くは畠ゆすり秋の風吹く

くは畠ゆすり秋の風吹く

盆うた聞かぬ盆の夜さびし
△二期△

火桶のうへに手を寄せにけり
△一期ノ

火桶のうへに手を寄せにけり
△一期ノ



(読み下し)

○ 船を出でし心現なし真青なる

○ 芒の中に入りけるかも
一人ぼつたり行きたとどまらず

○ 青々し芒の中に一匹の牛を追ひ越しはろかなる道
島すすきい行き寂しむ身ひとりの

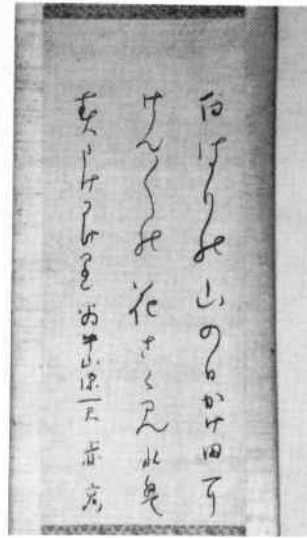
○ 芒の島あが乗りて来し一つ船
うしろに大きな海光り見ゆ

けぶりを吐きて去るにかあるらし

島木赤彦

(2) 作品に見える書体の変化について

① 赤彦二十歳代の書



(読み下し)

白はりの山の日かげ田にげんげんの
花咲くみれば春たけにけり

赤彦

(解説)

青年期は流麗な草書体、二十歳頃の特徴。玉川小学校卒業式当日、赤彦が教え子たちに揮毫した。この書(条幅)は牛山源一に為書きしたもの、明治三十五年赤彦二十六歳と推定される。

② 赤彦三十歳代(推定)の書

諏訪の湖山に日は出て鏡なす
照り輝けど風のすすしき

(読み下し)

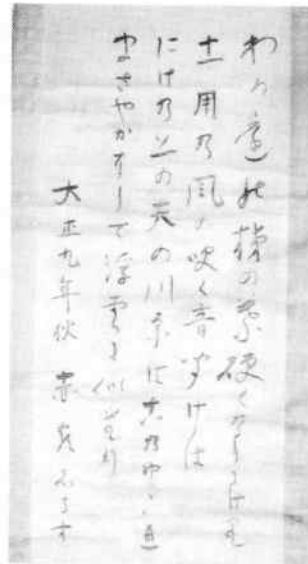
諏訪の湖山に日は出て鏡なす

照り輝けど風のすすしき 赤彦

(解説)

壮年前期は筆力みなぎる個性的な書体へと変化を示す好例、創作年不詳。

③ 赤彦四十歳代の書



(読み下し)

わが庭の柿の葉硬くなりけり

土用の風の吹く音聞けば

にはの上の天の川原はこのようべ

まさやかにして浮雲に似たり

大正九年 秋 赤彦 志るす

(解説)

茅野市立豊平小学校蔵。豊平小学校で赤彦の講演会終了後、揮毫された。赤彦はもう少し太い筆があればと言いつつ、二枚書いたという。意気旺盛にして味わ

いある書体。

おわりに

帯川豊太郎宛書簡「新任郡視学の模様をしらせる」にあらわれた新進教師としての心情。「病める友(豊太郎)よにみられる親身の友情。両角喜重に宛てた書簡に伺える新境地。八丈島での暮しぶりを伝え気分をリフレッシュできたのか、「小生も少しは新しい心に住み得べきか」と伝える等々、従来の赤彦像に多少なりとも厚みを加えることができたのではなからうか。

諏訪の地には、現在もアララギ系グループ他短歌の愛好家が多いのは、赤彦の蒔いた種子が百年を経て、根をはり着実な成長を続け、文芸活動の裾野が拡がりをみせているからであろうか。

このたびの赤彦遺墨展は、遠来の見学者も多く好評を博し、お蔭様で無事終了することができた。偏に地域の方々の親身のご協力と温かい励ましのたまものと感謝あるのみである。今後とも新しい情報なりご感想なりを随時ご教示いただければ幸いである。

このたびの企画展を通して、赤彦の貴重な最高傑作「六曲半双金屏風」を誇りとすると同時に、大切に護り後世に引き継ぐことは、当文芸館に果せられた重要な任務のひとつと改めて考えさせられた次第である。

凡例 年齢は満年齢で表記した。

敬称は省略した。

語るのは日常のこと。現在も新校訓の色紙をつくり毎年卒業記念品として巣立ちゆく子ら全員に贈呈している(大和義史校長談)。

校訓の実施にあたって「校訓を生かすかどうかは、一に教師の手にかかっている。ただ条文で子どもたちを機械的に拘束するようなものであつてはならず、児童と教場で交わり、庭で交わり、卒業後も交わつてこそ教師である。教師の生命はそうにして生ずるのだ」と教職員にとくに要望したという(徳永文一「歌人・教育者 島木赤彦」)。

付記 「新校訓」額の完成は昭和十八年。広丘小学校蔵の、額の裏には左記の通り墨書されている。

昭和十七年度高等科卒業生記念品として贈る

昭和十八年八月 廣丘国民学校

(門外不出)

(6) 歌誌『アララギ』の最終校正原稿 第三期展示(解説)

『アララギ』の最終校正原稿群から

今回の赤彦遺墨展では、校正原稿のうち大正十四年十一月集・大正十五年二月集・同三月集・同四月集を初公開した。赤彦が自ら朱を入れた原稿は生々しく、八十年の時の流れを感じさせない。この間、第二次世界大戦の激動期を経て資料が現存しているのは幸運といわねばなるまい。(個人蔵)

なお、赤彦編集の『アララギ編集便』の執筆者が、大正十四年十二月号から左記のように、藤澤古實に引き継がれている。赤彦の病状悪化によるものと思われる。大正十四年十月号 編集兼発行者 編集便執筆者

久保田俊彦

久保田俊彦

十一月号

〃

〃

十二月号 藤澤古實
大正十五年新年特別号 〃
三月号 〃
四月号 久保田俊彦
五月号 〃 藤澤古實 高田浪吉

① 『アララギ』最終校正原稿 大正十四年十月号



(赤彦49歳)

② 歌誌『アララギ』 大正十四年十月号 表紙



四、赤彦の書から

(1) 赤彦の六曲半双屏風について

歌人北澤敏郎によると、「大正四年(赤彦39歳)の暑中、下諏訪高木の家にて竹内泰比呂の為に唐紙に歌を書く。歌は新刊の歌集『切火』の中から芒の歌と椿の歌を十枚の全紙に書かれた。赤彦は「だいぶ大きいな、こんな大きい字は書き初めの書き終りかも知れないよ」と言われたという。うち五枚は竹内に、一枚は息子久保田健次に。

昭和八年七月、竹内の五枚は今井平左衛門に渡り、同野菊夫人が所蔵する。屏風は一枚ずつ五面、残る一面は白地である。屏風の価値について、「日本中にこれ程の大作は無く、字も赤彦の最も脂の乗り切った時ですばらしい」という貴重なものである。

平成十五年(2003)、息子久榮が北澤敏郎を通して茅野市に寄贈され、当館所蔵となった。



六曲半双金屏風 (赤彦39歳)

経緯を初めて和男から耳にした孫宏は早速自宅土蔵に入り、昭和四年信毎紙に包まれた赤彦の書簡類を持ち出してきた。封書一通、葉書十六枚であった。まさに八十余年ぶりに目の目をみたのであった。岩下は書簡を借りコピーをとり研究成果を「帯川豊太郎宛書簡に見る赤彦」と題して、平成元年六月十七日諏訪教育会館にて研究発表をした。

昭和六十三年には郷土史研究家塩沢一保も機関紙『茅野』第二十五号に「赤彦書簡紹介」を発表している。以上が未公開となっていた理由とその後の経過である。

(4) 両角喜重(雉夫宛軸装書簡 第二期展示



両角喜重宛 (赤彦38歳)

(読み下し)

拝啓種々御心配下され申譯無之候着島以来
丈夫に暮し居り候間御安心下され度候島の風
物すべてよろしく毎日温き空気に浴し居り候
明日の船便にて事によれば帰京すべく然らざれば
今一便船のばし十一月末か十二月はじめに帰

り可申帰京すれば直ぐはがきにて御知らせ可申上
十七日頃迄にハガキ行かねば猶島に居りと
御承知下され度候毎日単衣にて暮し居り候
椿の花さきはじめ候魚を買いて芒の中を
帰り候 こんな単純な生活致し居り候
これから小生も少しは新らしき心に住み得べきか
と存じ候御心配かけますどうか御許し
下され度候
遅き故是にて失敬する
葦穂に右御知らせ下され度候

葦穂は小生病気かと思ひし様子也
病気には無之候間御申聞かせ下され度候

(解説)

大正三年十一月十三日、八丈島より両角喜重宛封書。
葦穂は赤彦の弟、塚原葦穂。

(5) 広丘小学校の新校訓 第二期展示



(赤彦34歳)

(読み下し)

新校訓

奨善會

我等が学校に学ぶは正しく強く美しき心を得ん
がためなり。正しく強く美しき心は生きるより誰も
みな

持てる心なれども、学ぶにより、養ふにより、修むるに
よりに益々その光を現すに至るべし。光を現さ
んとする奮励にあらば、三十年五十年の後には
遂に秀れたる人材ともなりぬべし。されば我等
学校にありて大凡左の事柄を心得べし。

一、我等の眼は常に輝き、我等の耳は常に
聴く、我等の口は用なき時常に閉づべし。

一、我等の手足は動く時風の如く疾く、休む
時林の如く静なるべし。

一、正しきを見ては之に赴かんを思ひ、難きを見ては
之を貰かんを思ひ、弱きを見ては之を助けんを思
ひ、公事を見ては力を致さんと思ふ。我等の心は
幼けれども斯くの如く活けり。

一、一身治りて一級治り、一級治りて一校治る。一校
治るの心は、一家一郷一國治るの心なり。我等の
身は小さけれども斯くの如くして一國に關せり。

一、巧言令色鮮し仁といへり、剛毅朴訥仁に近しい
へり。言はその巧ならんより寧ろ確かなれ。容は
その美しからんより寧ろ清かれ。

明治四十三年五月 日 廣丘小学校奨善會

(解説)

明治四十三年、赤彦は広丘小学校校長二年目(33歳)
の年に、教授法、復習・訓練の必要を示し、奨善會(児
童會)の新校訓を制定した。主旨は、児童の個性伸長、
自治の育成を強調したもので、いまも変わることなく
同校の教育理念となっている。「歴代の校長が赤彦を

(読み下し)

病める友よ。

帝都の炎熱今や君が身

に幾多の煩苦を与えつつあらん

湖畔水湧き所手長山上に立

つて遙かに思を東方五十里

の天に寄す

正しき者わ斯く病めり。

嗚呼友よ。

友わ病に臥しつつ猶児童

について考慮せり教育

に付て考慮せり而して

その身の依然として病床

に横たわりつつあるを悲し

む。

友よ。

願わくは天の如何ともなすべか

らざるを悟つて何卒平静

にその心を持せよ。

忍耐せよ。天に対して忍

耐せよ。ああ友よ余わ

深夜机辺に頰杖つきつつ

君を思う。昨、手を執つ

て布半楼上に君と飲

めり今や東西五十里

相隔て相語るべからず。

学校に君居らず。何かに

つきて相寂し

温泉に入るに君在らず

酒飲むにつき心寂し

友よ

平静なれ

忍耐なれ

学校の友等皆壮健

事に従えり

子供皆元氣よし御

安心アレ

此の手紙を書くとき今井

栄君と相語る。感慨忡々

平静なれ

忍耐なれ

七月十日夜

帯川兄

高島の古城を

死守する数輩

わ君に対して只

額を鳩むるのみ。

友よ。

(解説)

帯川は、明治八年七月米沢村(現茅野市米沢)五味太

郎兵衛二男として誕生。二十四年(16歳)帯川平右エ門

の養嗣子となる。三十四年(26歳)諏訪高等小学校に転

任。三十七年(29歳)同校に久保田が玉川小より転任に

なり、友人同士の二人は同僚として勤務することにな

ったが、帯川は三十九年(31歳)東京高田病院にて他界

した。帯川の病状が急であることを妻むめ興から知ら

されたものであろう。久保田の帯川を思う切々たる友

情があふれている。

(3) 豊太郎宛書簡がなぜ未公開のままであったのか。

平成六年三月二十一日の長野日報紙に寄せた郷土史

研究家五味和男の文章を概略して、書簡未公開の理由

を明らかにしたい。――師範で数学を専攻した帯川は

久保田とは文学活動を通じた仲間ではなかったが(：

の個所は編者加筆)、性格が合ったのか、師範在学の
ときから親しい交際が始まり、豊太郎没まで兄弟以上
の付き合いがあった。

昭和五十年代後半、長峰中学校岩下貞保教諭が『赤
彦全集』中から「学友帯川豊太郎」の字句を見出し調査
に手がつけられた。豊太郎没後八十年がたっていた。
岩下が訪れた塩沢の帯川宏(豊太郎の孫)家で、豊太郎
生家を継ぐ前述の五味和男を交じえて知られざるエピ
ソードが現われることになった。

豊太郎死亡の時、豊は胎児であつたから、事情を知
る由もなかった。死因は急性結核であつた。養父母は
結核を極度に恐れ、豊太郎宛の書簡は全部焼却しやう
とした。亡き夫に來た思い入れのある書簡が焼却され
るのを心配したむめ興未亡人は、豊太郎生家の義兄五
味敬太郎に相談、書簡類を預かってもらふことにし、
五味家土蔵の鴨居の上に保管されることとなった。

やがて、昭和四年息子豊が長野師範の卒業を機に、
件の書簡類を敬太郎がむめ興に返却したという。この



襦袢庵当時の人々
後列左から3番目、両角喜重
前列左から2番目、赤彦(24歳)

現地探訪「茅野の赤彦を訪ねて」

九月四日(日)、午前中

講師北澤敏郎、参加者35名

☆ 第三期Ⅱ壮年後期。

四十歳代、没年まで(大正五年〜大正十五年)。

『アララギ』最終校正原稿の初公開他。

展示期間、十月十八日(火)〜十二月十八日(日)

展示解説、十一月二十日(日)、二回

記念講演会「赤彦を語る」、午後

講師北澤敏郎、参加者64名

三、初公開品について

赤彦遺墨展は、かつて茅野市美術館(北澤敏郎館長、当時)が主催して開催された。爾来、二十年が過ぎ、節目に当たる今回の企画で初公開品から少しでも何か新しい赤彦像を観ることができればと考えた。



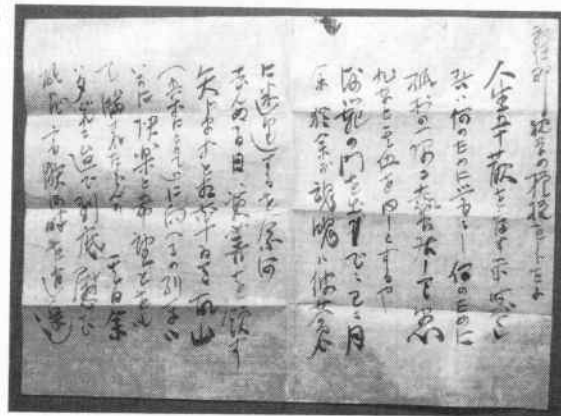
明治31年3月10日
諏訪郡出身の教員長師生一同
最後列右から2番目、帯川豊太郎
同 3番目、久保田俊彦
(21歳)

南信日日新聞紙上に平成三年一月一日から五月二十日まで、茅野慶次(諏訪市文化財審議委員、当時)の「島木赤彦 知られざる青年時代の書簡類(久保田俊彦・帯川豊太郎)」が十二回にわたり掲載された。しかし、

その実書簡は今回の遺墨展が初公開である。本稿では特徴ある二通を取り上げる。

(1) 帯川豊太郎宛書簡(その一)

第一期展示



書簡「人生五十歎」(赤彦22歳)

(読み下し)

新任郡視学の模様をしらせる

人生五十歎を宿す幾時ぞ。

吾ハ何のために営々し、何のために

孤村の一隅に蟄居して愚

輩と其伍を同じくするや。

師範の門を出でて已に二月

余猶余が魂魄ハ彼(の)蒼

に迷遇するを奈何。

去んぬる日貴書を領す。

矢じま等と相率ゐて故山

(吾等にとりてハ)に向へる列車ハ

いかに快樂と希望とを以

て満されたらんか。其日余

ハタぐれにまで到底慰む
能はず。高瀬河畔を逍遙
して遠き遠き北天を望ミ藤
村作るところの離別のうたを
うたひつくして薄暮宗家
ニかへり申候。

(解説)

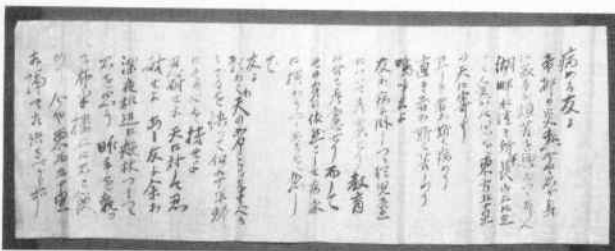
久保田と帯川の二人は明治三十一年三月、共に長野師範を卒業。久保田は北安曇郡池田小学校に、帯川は南佐久郡田口小学校にそれぞれ赴任した。上書簡は同年五月六日のもの。

久保田は自分を新任視学(指導主事)に見立てて感懐と安曇地域の同窓の動静などを帯川に知らせている。

(2) 帯川豊太郎宛書簡(その二)

第一期展示

「病める友よ」



豊太郎への見舞状(赤彦30歳)

没後八十年 島木赤彦遺墨リレー展

期間 平成十七年六月四日(日)～十二月十八日(日)

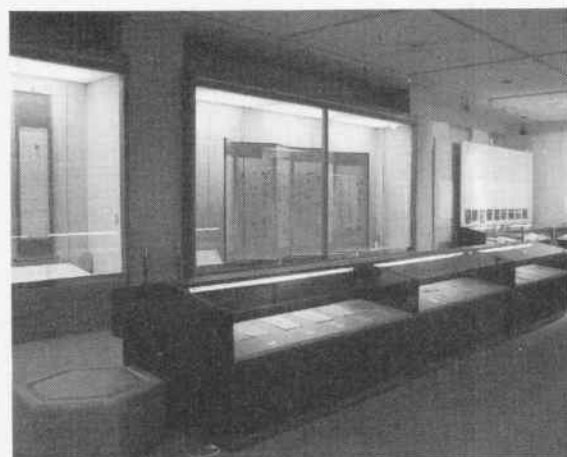
主催・会場 茅野市八ヶ岳麓文芸館

はじめに

平成十七年(2005)は、赤彦没後八十年にあたる。当文芸館(茅野市八ヶ岳総合博物館併設)では、これを機会に「島木赤彦遺墨リレー展」を企画開催した。



文芸館展示会場入口



展示会場、中央奥に六曲半双金屏風

一、企画展の目標
帯川豊太郎宛及び両角喜重宛各書簡、塩尻市立広丘小学校の新校訓、歌誌『アララギ』の最終校正原稿など、未公開の作品が相当数あることが判明した。赤彦研究はすでに幅広く深まっているが、今回は特にその未公開の赤彦作品を、可能な限り数多く展示することに力を置いた。
赤彦が師と仰ぐ正岡子規および伊藤左千夫の書簡、岩垂今朝吉の書など特別出品を加えると百点余の多くに達するので、全期間六ヶ月を三区分し、全て効果的に

に展示すべくリレー展の形を採った。

二、展示期間の三区分と期間中のイベント

☆第一期Ⅱ青年期

二十歳代(明治三十八年まで)、新進教師の時代。
長野師範以来の親友、帯川豊太郎宛の友情溢れる書簡数展を初公開他。

展示期間、六月四日(土)～八月四日(木)

展示解説、六月十二日(日)、二回

☆第二期Ⅱ壮年前期

三十歳代(明治三十九年～大正四年)。

広丘小学校新校訓、両角喜重宛書簡の初公開他。

展示期間、八月十二日(金)～十月十日(月)

展示解説、九月十日(土)、二回



展示解説



赤彦 35歳

目次

文芸部門

・赤彦遺墨リレー展・展示資料目録……………吉田 一雄（二）

・赤彦遺墨リレー展 記念講演会記録……………講師 北澤 敏郎（九）

年報

・平成17年度事業報告……………（34）

・寄贈図書目録 一九九三年から一九九五年まで……………笠原 郁子（12）

・茅野市の鉄道・展示資料目録……………大谷 勝己（1）

紀 要 第 14 号

2006年3月31日

編集発行 茅野市八ヶ岳総合博物館

〒391-0213 長野県茅野市豊平6983番地

TEL 0266 (73) 0300

FAX 0266 (72) 6119

紀 要

第 十 四 号
〈平成十七年度〉

茅野市八ヶ岳総合博物館